

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	3年
講義名	専門演習 I B-石塚
講義名(英字)	Specialized Seminar I
担当教員	石塚 一彌
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	研究テーマ: 管理会計 「管理会計」は、経営管理に役立つデータ(＝企業内部における業績評価や意思決定に資する)を提供するための会計である。本演習においては、実際の経営活動に的を絞り、これら経営活動に惹起する諸問題に対し「管理会計」をどのように把握し、使いこなしていくかを、経営者の立場に立って主体的に考え、管理会計上必要な問題探求能力と問題解決能力を養うことまでを目標とする。
	管理会計の基本的前提に関する知識の修得の有無の確認する

【到達目標】	管理会計に関する基礎的な理解の確認 管理会計に対する理解の深度の程度の確認											
【履修条件・受講推奨者】	◇会計の基本(授業としては、「会計学Ⅰ」、「会計学Ⅱ」)科目を履修していることが望ましい。履修していない場合には、会計全般に関する基本的な知識を会得していることが望まれる。											
【教育方法】												
【指定教科書・参考資料等】	◇教科書: 演習中に指示します。 ◇参考書: とくになし。											
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○				
	協働力	○	主張力	○	創造力							
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法							
	各講義に関する関与の度合い		50%		左記の項目を総合的に勘案して履修者の評価とする。							
	課題についてのプレゼンテーションの内容		50%									
	合計		100%									
【その他の注意事項】	◇成績評価としては、出席状況とゼミデスカッションにおける「貢献度」及び課題レポートの内容を重視する。											
	週	テーマ	学習内容									
	No1	管理会計の基礎(1)オリエンテーション	管理会計の基礎について再確認する。									
		予習内容(時間)	(2年生までで学修した「財務会計」の視点とは違う)経営者が活用する手段としての「管理会計」の意義・視点について、各自があらかじめ周辺の知識をおさえておく。								120	分
		復習内容(時間)	履修者各自の管理会計特有の思考を様々な質疑応答により確認する。そのため、履修者は自らの管理会計的思考についての弱点を早めにおさえる必要がある。								120	分
	No2	管理会計の基礎(2)	財務会計と管理会計の違いについての確認問題(業務的意思決定のプロフェッショナル・セミナーからの発展問題)を提示する。									
		予習内容(時間)	管理会計特有の論点について、どのような視点からいかなる計算を行うかについて、各自があらかじめ学習しておく。								120	分
		復習内容(時間)	各自確認問題を再度解き、計算内容及び計算手法を修得する。								120	分
	No3	管理会計の基礎(3)	財務会計と管理会計の違いについての確認問題(業務的意思決定のプロフェッショナル・セミナーからの発展問題)を提示する(続き)。									
		予習内容(時間)	管理会計特有の論点について、どのような視点からいかなる計算を行うかについて、各自があらかじめ学習しておく(続き)。								120	分
		復習内容(時間)	各自問題を解き、計算内容及び計算手法を修得する(続き)。								120	分
	No4	管理会計の基礎(4)	財務会計と管理会計の違いについての確認問題(業務的意思決定のプロフェッショナル・セミナーからの発展問題)を提示する(続き)。									
		予習内容(時間)	管理会計特有の論点について、どのような視点からいかなる計算を行うかについて、各自があらかじめ学習しておく(続き)。								120	分
		復習内容(時間)	各自問題を解き、計算内容及び計算手法を修得する(続き)。								120	分
	No5	管理会計の基礎(5)	財務会計と管理会計の違いについての確認問題(業務的意思決定のプロフェッショナル・セミナーからの発展問題)を提示する(続き)。									
		予習内容(時間)	管理会計特有の論点について、どのような視点からいかなる計算を行うかについて、各自があらかじめ学習しておく(続き)。								120	分
		復習内容(時間)	各自問題を解き、計算内容及び計算手法を修得する(続き)。								120	分

【授業計画】	No6	管理会計の基礎(6)	財務会計と管理会計の違いについての確認問題(戦略的意思決定のプロフェッショナル・セミナーからの発展問題)を提示する。		
		予習内容(時間)	管理会計特有の論点について、どのような視点からいかなる計算を行うかについて、各自があらかじめ学習しておく(続き)。	120	分
		復習内容(時間)	各自問題を解き、計算内容及び計算手法を修得する。	120	分
	No7	テーマ設定その1	プロフェッショナル・セミナーで得られた知識と、従前からの管理会計的思考を踏まえて、履修者各自が演習におけるテーマ設定の絞り込みを行う。		
		予習内容(時間)	ゼミの研究テーマについて、有価証券報告書等の資料をもとに、管理会計特有の論点をあらかじめ各自がピックアップしておく。	120	分
		復習内容(時間)	テーマ設定に際しては、個人レベルでの作業にするか、チーム別にするか等も併せて検討する。	120	分
	No8	テーマ設定その2	各自テーマ設定の絞り込みを引き続き行う。その際には、主に「有価証券報告書閲覧サイト」を活用する。		
		予習内容(時間)	各自が選んだ会社の有価証券報告書についてあらかじめ読み込みを行う。	120	分
		復習内容(時間)	各自が「有価証券報告書閲覧サイト」の利用について「慣れる」訓練を行う。	120	分
	No9	テーマ設定その3	各自が自ら設定したテーマを提示し、ゼミとしてのテーマ設定の絞り込みを行う。		
		予習内容(時間)	各自が、テーマの絞り込みの立脚点を再考しておく。	120	分
		復習内容(時間)	テーマ設定の絞り込みに際しては、特にその研究の実現可能性も併せて各自が検証作業を行う。	120	分
	No10	テーマ設定その4	絞り込んだテーマについて履修者全員がその内容を共有する。		
		予習内容(時間)	各自が「なすべき論点」をあらかじめまとめておく。	120	分
		復習内容(時間)	絞り込んだテーマについて履修者各自が「何をすべきか」を課題としてまとめる。	120	分
	No11	テーマ設定その5	テーマについて履修者が研究のアプローチについて、プレゼンテーションを行う。		
		予習内容(時間)	各自、絞り込んだテーマについての論点を調べ、プレゼンテーションのための準備を行う。	120	分
		復習内容(時間)	各自がテーマの論点について「自らの言葉で説明できる」ように再度確認する。	120	分
	No12	テーマ設定その6	履修者相互のディスカッションを通して、最終的なテーマについて「論理的・実践的な観点」から最終決定を行う。		
		予習内容(時間)	各自、「他者を説得することができるような」ディスカッションの準備を進めておく。	120	分
		復習内容(時間)	履修者各自が、テーマについて大所高所から再度検討すべき事項を考えておく。	120	分
	No13	テーマについての研究その1	テーマの論点について「何が問題なのかを一言で言える」ことを確認の上、研究の方法を考える。		
		予習内容(時間)	特になし。	120	分
		復習内容(時間)	テーマに関して、「何が問題なのか」を履修者全員が再度確認する。	120	分
	No14	テーマについての研究その2	過去の当該演習の研究内容を履修者に提示し、各自がそれぞれ検証の上、今回のテーマに参考となるべき内容、方法、その他について検討する。		
		予習内容(時間)	過年度のゼミ発表大会の資料を各自が検討し、問題点を指摘の上、プレゼンテーションができるように準備しておく。	120	分
		復習内容(時間)	各自がそれぞれのプレゼンテーションの内容について再吟味する。	120	分
	No15	テーマについての研究その3	履修者各自が、テーマについての文献を検討する。		
		予習内容(時間)	テーマに関する「文献レビュー」を各自があらかじめ実施しておく。	120	分
		復習内容(時間)	各自が行った「レビュー」についてそれぞれが再検討する。	120	分
	No16	テーマについての研究その4	履修者各自が、テーマについての研究方法を選択する。		
		予習内容(時間)	テーマに関する研究方法を各自があらかじめ検討しておく。	120	分
		復習内容(時間)	各自が行った研究方法をそれぞれが再検討する。	120	分
		テーマに関する研究その5	履修者各自が、テーマに関するリサーチ・クエスチョンを設定する。		

No17	予習内容(時間)	テーマに関するリサーチ・クエスチョンを各自があらかじめ検討しておく。	120	分
	復習内容(時間)	各自が行ったリサーチ・クエスチョンをそれぞれが再検討する。	120	分
No18	テーマに関する研究その6	履修者各自が、テーマに関する適切な情報・資料を収集する。		
	予習内容(時間)	テーマに関する情報・資料を各自があらかじめ収集しておく。	120	分
	復習内容(時間)	各自が収集した情報・資料の適切性を再検討する。	120	分
No19	テーマに関する研究その7	各自が収集した情報・資料を定性的もしくは定量的に分析する。		
	予習内容(時間)	履修者各自が、収集した情報・資料の分析を進める。	120	分
	復習内容(時間)	履修者各自が、収集した情報・資料の分析を進める。	120	分
No20	テーマに関する研究その8	履修者各自が、上記分析結果を検証・考察する。		
	予習内容(時間)	各自が分析結果を検証・考察し一定の結論をあらかじめ導いておく。	120	分
	復習内容(時間)	各自が分析結果を検証・考察し一定の結論を導く。	120	分
No21	テーマに関する研究その9	履修者各自が、今回の研究の問題点や限界等を振り返る。		
	予習内容(時間)	各自が今回の研究の問題点や限界ないし課題をあらかじめ考えておく。	120	分
	復習内容(時間)	各自が、今回の研究の問題点や限界を理解しかつ互いに共有する。	120	分
No22	テーマに関する研究その10	履修者各自が、今回の研究からいえるなんらかの「気づき」を共有する。		
	予習内容(時間)	各自が、今回の研究から得たなんらかの「気づき」を他のメンバーに伝えるための準備をしておく。	120	分
	復習内容(時間)	各自が、今回の研究から得たなんらかの「気づき」をお互いに共有する。	120	分
No23	今後の活動への展望その1	履修者各自が、今回の研究から得られた何らかの「気づき」を踏まえて、来年以降の(自らが進むべき)業界の研究への糧とする。		
	予習内容(時間)	来年以降の「業界研究」のための資料を収集し、まとめる。	120	分
	復習内容(時間)	来年以降の「業界研究」のための資料を収集し、各自今後の自分の進路の資料としてまとめる。	120	分
No24	今後の活動への展望その2	履修者各自が、業界研究についてのまとめを発表する。		
	予習内容(時間)	各自が発表する内容をあらかじめ用意する際には、今回の演習研究の方法を参考とする。	120	分
	復習内容(時間)	他のメンバーの発表について指摘すべき事項をまとめる。	120	分
No25	今後の活動への展望その3	履修者各自が発表した業界研究について、それぞれの吟味を行う。		
	予習内容(時間)	各自が指定された発表者の内容について、その「良い点悪い点」をあらかじめピックアップしておく。	120	分
	復習内容(時間)	発表者は指摘された内容について自ら再検討する。	120	分
No26	今後の活動への展望その4	履修者各自が来年度以降の自らの進路を検討するに際して、現時点における自らの「強み弱み」を検討する。		
	予習内容(時間)	各自が業界研究を踏まえて、自分自身の「強み弱み」を選別しておく。	120	分
	復習内容(時間)	各自が自身の適正や望む業界等を再考する。	120	分
No27	今後の活動への展望その5	履修者各自が自らの「強み弱み」についての対処法を検討する。		
	予習内容(時間)	各自が進む業界ないし企業において、自らの「強み」をいかに伸ばし、また「弱み」をどのように補っていくかについての対応を検討しておく。	120	分
	復習内容(時間)	各自が自身の適正や望む業界等を再考する(続き)。	120	分
No28	総まとめ	履修者各自がすべての演習全体を通しての疑問や問題を提示し、プレゼンテーションを実施する。		
	予習内容(時間)	各自が(相手を説得できるような)プレゼンテーションの内容を準備しておく。	120	分

	復習内容(時間)	すべての資料を再考した上で、自分自身の4年時に向けての展望を見据えておく。	120	分
--	----------	---------------------------------------	-----	---

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	3年
講義名	専門演習 I B-伊波
講義名(英字)	Specialized Seminar I
担当教員	伊波 和恵
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	研究テーマ:心理学、ストレスと心理社会的適応、コミュニケーション 本演習では、心理学、とくに心理社会的適応を基本テーマに知識習得を進めます。成人期～壮年期のビジネスパーソンが置かれている職場・家族を含む社会的対人的環境についての知識と理解を深め、ストレス・マネジメント、心理カウンセリングやコミュニケーションスキルについて学びます。 春学期はよりよい論文執筆ならびにチームプロジェクトのマネジメント方法について学びを深めます。秋学期は、グループワークやプレゼンテーションを通じて、各種調査法や企画立案を覚えるとともに、質疑応答やディスカッションのマナーと方法を身につけられるようにします。
	グループワーク(ディスカッション、プレゼンテーション)のスキルを向上させる

【到達目標】	レポート作成のスキルを向上させる チームワーク、チームプロジェクトに十分に慣れ、主体的に役割をとれるようになる											
【履修条件・受講推奨者】	・受講に際しては、グループメンバーでの協調性や社会性も重要です。その前提として、遅刻・無断欠席は厳禁です。											
【教育方法】	チームプロジェクトを主体とする。資料の収集、レジュメやプレゼンテーション資料の作成、ディスカッション、プレゼンテーションなどを頻繁に行う。											
【指定教科書・参考資料等】	とくになし。適宜指示する。											
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○				
	協働力	○	主張力	○	創造力	○						
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法							
	グループワーク(ディスカッション、プレゼンテーション)		40%		レポート課題40%・グループワーク40%・授業(ゼミ運営)への積極性20%							
	レポート執筆のために必要な基礎的な作法の理解と実践		40%									
	チームワーク、ゼミの中で果たす役割		20%									
	合計		100%									
【その他の注意事項】	・ゼミは原則休まず出席してください。共同ゼミを行うことがあります。やむを得ず休む場合は事前に連絡すること。 ・課外で活動する際は若干の費用がかかることがあります。											
	週	テーマ	学習内容									
	No1	オリエンテーション										
		予習内容(時間)	ゼミ論で取り組む、個人のゼミテーマにしたいことを考えておく。(ひとまず、心理・人・人間関係・社会に関することなら、何でもかまいません。)								120	分
		復習内容(時間)	指示したワークの準備を行う								120	分
	No2	ワーク										
		予習内容(時間)	指示したワークの準備を行う								120	分
		復習内容(時間)	指示した次回の準備を行う								120	分
	No3	グループワーク(1)	グループでの基礎的なワーク(全5回)									
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる								120	分
		復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる								120	分
	No4	グループワーク(1)										
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる								120	分
		復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる								120	分
	No5	グループワーク(1)										
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる								120	分
		復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる								120	分
	No6	グループワーク(1)										
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる								120	分
		復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる								120	分
		グループワーク(1)										

【授業計画】

No7	予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
No8	レポート作成(1)	グループワークのまとめレポート作成(提出)		
	予習内容(時間)	グループワークの反省を行い、要点をまとめておく	120	分
	復習内容(時間)	レポートを提出する	120	分
No9	グループワーク(2)	グループでの調べ学習＋調査ワーク(全5回)		
	予習内容(時間)	次回のワークの準備をする	120	分
	復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
No10	グループワーク(2)			
	予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
No11	グループワーク(2)			
	予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
No12	グループワーク(2)			
	予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
No13	グループワーク(2)			
	予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
No14	レポート作成(2) ゼミ論文レジュメ	グループワークのまとめレポート作成(提出)		
	予習内容(時間)	グループワークの反省を行い、要点をまとめておく	120	分
	復習内容(時間)	レポートを提出する	120	分
No15	グループワーク(3)	ゼミ発表大会準備(全9回)		
	予習内容(時間)	テーマについて考えてくる	120	分
	復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
No16	グループワーク(3)			
	予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
No17	グループワーク(3)			
	予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
No18	グループワーク(3)			
	予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
No19	グループワーク(3)			
	予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分

		復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	No20	グループワーク(3)			
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
		復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	No21	グループワーク(3)			
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
		復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	No22	グループワーク(3)			
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
		復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	No23	グループワーク(3)			
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
		復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	No24	グループワーク(3)反省会			
		予習内容(時間)	反省会に向けて、資料を整理し、自分の考えをまとめておく。	120	分
		復習内容(時間)	反省会のレポートを書く。	120	分
	No25	ゼミ論文	ゼミ論文執筆(全4回)		
		予習内容(時間)	必要な資料を整理しておく。	120	分
		復習内容(時間)	各自でゼミ論文の執筆を進める。	120	分
	No26	ゼミ論文			
		予習内容(時間)	各自でゼミ論文の執筆を進める。	120	分
		復習内容(時間)	各自でゼミ論文の執筆を進める。	120	分
	No27	ゼミ論文(提出)			
		予習内容(時間)	各自でゼミ論文の執筆を進め、提出する。	120	分
		復習内容(時間)	必要に応じて、修正を加える。	120	分
	No28	ゼミ論文(加筆修正)			
		予習内容(時間)	必要に応じて、修正を加える。	120	分
		復習内容(時間)	必要に応じて、修正を加える。	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	3年
講義名	専門演習 I B-円城寺
講義名(英字)	Specialized Seminar I
担当教員	円城寺 敬浩
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	「組織(主として企業組織)の持続的競争優位について考える」というテーマを軸にして、演習活動を通じて、企業経営で必要とされる知識や理論等を修得しながら、グローバル競争の中で、企業はいかにして持続的競争優位性を獲得することができるのかを探究していきます。演習は基本的にゼミ生皆の協働によって運営されます。その活動を意義あるものにするかどうかは、ゼミ生各々のゼミ活動への姿勢如何に関わってきます。演習への取り組みは時として楽ではこともあるかもしれませんが、お互いに切磋琢磨し、物事の本質を捉え、自ら問題を解決する力も演習活動を通じて身に付けてもらえればと考えます。ゼミ活動の基本は、専門書等の輪読/レジュメの作成と報告/ディスカッションとなります。
	研究テーマを自ら見つける能力を養う

【到達目標】	研究テーマを論理的に考察できる能力を養う																							
	研究テーマの発表およびディスカッションをしながら、論文として完成させる能力を養う																							
【履修条件・受講推奨者】	チームワークが重要になるので、遅刻や欠席（病気等で欠席せざるを得ない場合は事前連絡）は厳禁です。大人としての自覚を持って演習に参加するようにしてください。																							
【教育方法】	専門書等の輪読／レジュメ作成／報告／ディスカッションという内容で、能動的に活動することで、到達目標で示した能力を養ってもらいます。																							
【指定教科書・参考資料等】	教科書：最初の演習時に決定する予定です。 参考書：ヘンリー・ミンツバーグ編著、斎藤嘉則監訳『戦略サファリー 戦略マネジメント・ガイドブック』東洋経済新報社、1999年。																							
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>								自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○																	
協働力	○	主張力	○	創造力	○																			
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	評価項目と割合		評価方法																					
	研究テーマを自ら見つけることができるか	20%	ゼミはゼミ員同士のディスカッションを中心に進めることになるので、ゼミへの参加度を最重視し、各評価項目で総合的に評価します。																					
	研究テーマを論理的に考察することができるか	20%																						
	研究テーマの発表およびディスカッションをしながら論文を完成できるか	60%																						
	合計	100%																						
【その他の注意事項】	各回のゼミの学習内容および予習・復習の内容と時間は本ゼミを展開する上での一つの参考です。ゼミ展開は適宜、学習効果を高められるように工夫していきます。なお、無断欠席（遅刻も含む）した場合は評価が著しく下がる可能性があることに注意してください。																							
	週	テーマ	学習内容																					
	No1	春学期ガイダンス	本ゼミの活動内容等を確認します。																					
		予習内容(時間)	シラバスを確認する	120	分																			
		復習内容(時間)	話した内容の確認をする	120	分																			
	No2	研究方法論等	研究方法についての確認とゼミ生の関心領域の確認をします。																					
		予習内容(時間)	各自の研究テーマを考える	120	分																			
		復習内容(時間)	話した内容の確認をする	120	分																			
	No3	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。																					
		予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分																			
		復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分																			
	No4	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。																					
		予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分																			
		復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分																			
	No5	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。																					
		予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分																			
		復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分																			
	No6	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。																					
		予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分																			

【授業計画】

	復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分
No7	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分
No8	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分
No9	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分
No10	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分
No11	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分
No12	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分
No13	研究中間報告	各ゼミ生の中間報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分
No14	研究中間報告	各ゼミ生の中間報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分
No15	秋学期ガイダンス	秋学期のゼミ活動内容等を確認します。		
	予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分
No16	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分
No17	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分
No18	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分
	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		

No19	予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分
No20	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分
No21	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分
No22	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分
No23	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分
No24	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分
No25	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分
No26	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分
No27	研究最終報告	各ゼミ生の最終報告(ゼミ論)およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分
No28	研究最終報告	各ゼミ生の最終報告(ゼミ論)およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメの作成をする	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッションの内容を確認する	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	3年
講義名	専門演習 I B-小川
講義名(英字)	Specialized Seminar I
担当教員	小川 達也
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	研究テーマ: おもてなしのサービス戦略 現代企業が提供する「おもてなし」のサービスを中心に、事業の成長や成功を収めた要因を検討し、競争優位の戦略と事業の仕組み(ビジネスモデル)を考察します。 接客を伴うサービス業では、おもてなしの人材育成が重要になりますが、そこには企業特有のブランド・コンセプトに基づいた仕組みが存在します。 小川ゼミではこうした企業ごとに異なるビジネスモデルを学ぶ目的で企業を訪問し、インタビュー調査を通じて机上の理論だけでは得られない知識の修得も目指します。 単位を取ることが目的ではなく、大学生として充実した研究成果を残したい方にお勧めします。
----------------------------	---

	演習で取り上げた理論と知識を広く理解し、応用して説明できること																																																																																																																										
【到達目標】	プレゼンテーション(発表)やディスカッション(議論)のスキルを身につけること レジュメやレポート・論文を作成するスキルを身につけること																																																																																																																										
【履修条件・受講推奨者】	レジュメやレポート・論文はWordで作成し、プレゼンテーションはPowerPointのスキルが必要です。																																																																																																																										
【教育方法】	専門演習の主体は、ゼミ生自身にあります。ゼミ生自ら疑問を見出し、調査分析し、その疑問をどのように解決するのか、モノの考え方を学び、発表し議論を行う場となります。																																																																																																																										
【指定教科書・参考資料等】	議論や考察に必要な文献・資料を適宜紹介します。																																																																																																																										
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力	○	創造力	○																																																																																																						
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																																																																																																																					
協働力		主張力	○	創造力	○																																																																																																																						
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><td colspan="3">評価項目と割合</td><td colspan="4">評価方法</td></tr><tr><td>演習で取り上げた理論と知識を広く理解して説明できるスキル</td><td>30%</td><td></td><td colspan="4" rowspan="4">演習への積極的な参加姿勢を前提とし、総合的な学習・研究成果に基づいて評価します。</td></tr><tr><td>優れたプレゼンテーションやディスカッションのスキル</td><td>40%</td><td></td></tr><tr><td>優れたレジュメやレポート・論文を作成できるスキル</td><td>30%</td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td><td></td></tr></table>							評価項目と割合			評価方法				演習で取り上げた理論と知識を広く理解して説明できるスキル	30%		演習への積極的な参加姿勢を前提とし、総合的な学習・研究成果に基づいて評価します。				優れたプレゼンテーションやディスカッションのスキル	40%		優れたレジュメやレポート・論文を作成できるスキル	30%		合計	100%																																																																																														
評価項目と割合			評価方法																																																																																																																								
演習で取り上げた理論と知識を広く理解して説明できるスキル	30%		演習への積極的な参加姿勢を前提とし、総合的な学習・研究成果に基づいて評価します。																																																																																																																								
優れたプレゼンテーションやディスカッションのスキル	40%																																																																																																																										
優れたレジュメやレポート・論文を作成できるスキル	30%																																																																																																																										
合計	100%																																																																																																																										
【その他の注意事項】	演習の実施回数に対して出席回数が3分の2以上に限り評価します。 2回連続の欠席や、発表担当の際に欠席した場合には、単位取得が困難となるので注意してください。																																																																																																																										
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td colspan="5">学習内容</td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>ガイダンス</td><td colspan="5">自己紹介(アイスブレイク) 専門演習Ⅰの概要と年間計画について 個人の研究テーマ・研究目標の設定について</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="3">個人研究のテーマ設定と資料収集</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="3">個人研究の目標設定と資料収集</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>アカデミック・スキル①</td><td colspan="5">専門演習におけるリーディング・スキルについて</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="3">個人研究のテーマ設定と資料収集</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="3">ゼミで取り上げた内容の復習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>アカデミック・スキル②</td><td colspan="5">専門演習におけるライティング・スキルについて</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="3">個人研究に関する資料収集</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="3">ゼミで取り上げた内容の復習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>アカデミック・スキル③</td><td colspan="5">専門演習におけるプレゼンテーション・スキルについて</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="3">個人研究に関する資料収集</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="3">ゼミで取り上げた内容の復習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No5</td><td>サービス産業とは①</td><td colspan="5">専門分野の知識習得</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="3">個人研究の発表準備</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="3">ゼミで取り上げた内容の復習</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td></td><td>サービス産業とは②</td><td colspan="5">専門分野の知識習得</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							週	テーマ	学習内容					No1	ガイダンス	自己紹介(アイスブレイク) 専門演習Ⅰの概要と年間計画について 個人の研究テーマ・研究目標の設定について					予習内容(時間)	個人研究のテーマ設定と資料収集			120	分	復習内容(時間)	個人研究の目標設定と資料収集			120	分	No2	アカデミック・スキル①	専門演習におけるリーディング・スキルについて					予習内容(時間)	個人研究のテーマ設定と資料収集			120	分	復習内容(時間)	ゼミで取り上げた内容の復習			120	分	No3	アカデミック・スキル②	専門演習におけるライティング・スキルについて					予習内容(時間)	個人研究に関する資料収集			120	分	復習内容(時間)	ゼミで取り上げた内容の復習			120	分	No4	アカデミック・スキル③	専門演習におけるプレゼンテーション・スキルについて					予習内容(時間)	個人研究に関する資料収集			120	分	復習内容(時間)	ゼミで取り上げた内容の復習			120	分	No5	サービス産業とは①	専門分野の知識習得					予習内容(時間)	個人研究の発表準備			120	分	復習内容(時間)	ゼミで取り上げた内容の復習			120	分		サービス産業とは②	専門分野の知識習得											
週	テーマ	学習内容																																																																																																																									
No1	ガイダンス	自己紹介(アイスブレイク) 専門演習Ⅰの概要と年間計画について 個人の研究テーマ・研究目標の設定について																																																																																																																									
	予習内容(時間)	個人研究のテーマ設定と資料収集			120	分																																																																																																																					
	復習内容(時間)	個人研究の目標設定と資料収集			120	分																																																																																																																					
No2	アカデミック・スキル①	専門演習におけるリーディング・スキルについて																																																																																																																									
	予習内容(時間)	個人研究のテーマ設定と資料収集			120	分																																																																																																																					
	復習内容(時間)	ゼミで取り上げた内容の復習			120	分																																																																																																																					
No3	アカデミック・スキル②	専門演習におけるライティング・スキルについて																																																																																																																									
	予習内容(時間)	個人研究に関する資料収集			120	分																																																																																																																					
	復習内容(時間)	ゼミで取り上げた内容の復習			120	分																																																																																																																					
No4	アカデミック・スキル③	専門演習におけるプレゼンテーション・スキルについて																																																																																																																									
	予習内容(時間)	個人研究に関する資料収集			120	分																																																																																																																					
	復習内容(時間)	ゼミで取り上げた内容の復習			120	分																																																																																																																					
No5	サービス産業とは①	専門分野の知識習得																																																																																																																									
	予習内容(時間)	個人研究の発表準備			120	分																																																																																																																					
	復習内容(時間)	ゼミで取り上げた内容の復習			120	分																																																																																																																					
	サービス産業とは②	専門分野の知識習得																																																																																																																									

【授業計画】

No6	予習内容(時間)	個人研究の発表準備	120	分
	復習内容(時間)	ゼミで取り上げた内容の復習	120	分
	サービス産業とは③	専門分野の知識習得		
No7	予習内容(時間)	個人研究の発表準備	120	分
	復習内容(時間)	ゼミで取り上げた内容の復習	120	分
	おもてなしとホスピタリティ①	専門分野の知識習得		
No8	予習内容(時間)	個人研究の発表準備	120	分
	復習内容(時間)	ゼミで取り上げた内容の復習	120	分
	おもてなしとホスピタリティ②	専門分野の知識習得		
No9	予習内容(時間)	個人研究の発表準備	120	分
	復習内容(時間)	ゼミで取り上げた内容の復習	120	分
	おもてなしとホスピタリティ③	専門分野の知識習得		
No10	予習内容(時間)	個人研究の発表準備	120	分
	復習内容(時間)	ゼミで取り上げた内容の復習	120	分
	第1回個人研究発表会①	ゼミ内プレゼン大会(プレゼン、質疑応答、ペアレビュー)		
No11	予習内容(時間)	個人研究のレポート作成	120	分
	復習内容(時間)	個人研究のレポート作成	120	分
	第1回個人研究発表会②	ゼミ内プレゼン大会(プレゼン、質疑応答、ペアレビュー)		
No12	予習内容(時間)	個人研究のレポート作成	120	分
	復習内容(時間)	個人研究のレポート作成	120	分
	第1回個人研究発表会③	ゼミ内プレゼン大会(プレゼン、質疑応答、ペアレビュー)		
No13	予習内容(時間)	個人研究のレポート作成	120	分
	復習内容(時間)	個人研究のレポート作成	120	分
	第1回個人研究発表会④	ゼミ内プレゼン大会(プレゼン、質疑応答、ペアレビュー)		
No14	予習内容(時間)	個人研究のレポート作成	120	分
	復習内容(時間)	個人研究のレポート作成	120	分
	個人研究レポート経過報告	夏期休業中の課題の確認・提出		
No15	予習内容(時間)	個人研究のレポート作成	120	分
	復習内容(時間)	ゼミ発表大会におけるテーマの検討	120	分
	ゼミ発表大会準備①	ゼミ発表大会におけるテーマの選定・資料収集 役割分担とスケジュールの確認		
No16	予習内容(時間)	ゼミ発表大会におけるテーマの検討	120	分
	復習内容(時間)	選択したテーマの資料収集	120	分
	ゼミ発表大会準備②	小論文作成・資料収集(グループワーク)		
No17	予習内容(時間)	選択したテーマの資料収集・小論文の作成	120	分
	復習内容(時間)	選択したテーマの資料収集・小論文の作成	120	分
	ゼミ発表大会準備③	小論文作成・資料収集(グループワーク)		
No18	予習内容(時間)	小論文作成・資料収集	120	分
	復習内容(時間)	小論文作成・資料収集	120	分

	No19	ゼミ発表大会準備④	プレゼン資料の作成(グループワーク) 小論文をベースにしたシナリオの作成(グループワーク)		
		予習内容(時間)	プレゼン資料作成・資料収集	120	分
		復習内容(時間)	プレゼン資料作成・資料収集	120	分
	No20	ゼミ発表大会準備⑤	発表概要の作成(グループワーク) 小論文をベースにしたシナリオの作成(グループワーク) プレゼン資料の作成(グループワーク)		
		予習内容(時間)	プレゼン資料作成	120	分
		復習内容(時間)	プレゼン資料作成	120	分
	No21	ゼミ発表大会準備⑥	小論文・発表概要の作成と提出(グループワーク) シナリオの確認(グループワーク) プレゼン資料の作成(グループワーク)		
		予習内容(時間)	シナリオの確認・調整	120	分
		復習内容(時間)	シナリオの確認・調整	120	分
	No22	ゼミ発表大会準備⑦	ゼミ発表大会リハーサル①(プレゼン・質疑)		
		予習内容(時間)	プレゼン・シナリオの確認	120	分
		復習内容(時間)	リハーサルで見出された課題の解決	120	分
	No23	ゼミ発表大会準備⑧	ゼミ発表大会リハーサル②(最終確認)		
		予習内容(時間)	プレゼン・シナリオの確認	120	分
		復習内容(時間)	リハーサルで見出された課題の解決	120	分
	No24	個人研究レポート・プレゼン資料準備①	個人研究の発表準備		
		予習内容(時間)	個人研究の発表準備	120	分
		復習内容(時間)	個人研究の発表準備	120	分
	No25	個人研究レポート・プレゼン資料準備②	個人研究の発表準備		
		予習内容(時間)	個人研究の発表準備	120	分
		復習内容(時間)	個人研究の発表準備	120	分
	No26	第2回個人研究発表会①	ゼミ内プレゼン大会(プレゼン、質疑応答、ペアレビュー)		
		予習内容(時間)	個人研究のレポート作成	120	分
		復習内容(時間)	個人研究のレポート作成	120	分
	No27	第2回個人研究発表会②	ゼミ内プレゼン大会(プレゼン、質疑応答、ペアレビュー)		
		予習内容(時間)	個人研究のレポート作成	120	分
		復習内容(時間)	個人研究のレポート作成	120	分
	No28	第2回個人研究発表会③	ゼミ内プレゼン大会(プレゼン、質疑応答、ペアレビュー)		
		予習内容(時間)	個人研究のレポート作成	120	分
		復習内容(時間)	個人研究のレポート作成	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	3年
講義名	専門演習 I B-鬼木
講義名(英字)	Specialized Seminar I
担当教員	鬼木 一直
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	「情報システム学」 情報化社会と言われる昨今、企業において情報をどのように収集、解析、活用していくかが大変重要となってきました。本セミナーでは、情報システムを切り口として「会社では何をしているのか?」「何が求められているのか?」「どのように問題を解決していくのか?」などを議論し、企業社会についての理解を深めていきます。 また、Word、Excel、PowerPointなどを用い、コンピュータの基本操作も学びます。グループ学習などを通じて情報の収集力、発想力、プレゼンテーション能力などを身につけることを目標とします。
	情報システムの理解、Word、Excel、PowerPointの基本操作の修得

【到達目標】	チームで考える力の育成、コミュニケーション能力の向上 問題解決に向けた発想力の向上																																																																																																																																						
【履修条件・受講推奨者】	積極的に議論に参加できる方を推奨いたします。																																																																																																																																						
【教育方法】	アクティブラーニング形式の授業となりますので、主体的にかつ積極的な発言を求めます。																																																																																																																																						
【指定教科書・参考資料等】	指定教科書はありません。必要に応じてICT関連のテキストを貸し出します。																																																																																																																																						
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>							自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力	○																																																																																																																		
自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○																																																																																																																																
協働力	○	主張力	○	創造力	○																																																																																																																																		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><td colspan="4">評価項目と割合</td><td colspan="4">評価方法</td></tr><tr><td colspan="2">情報システムの理解、Word、Excel、PowerPointの基本操作の修得</td><td colspan="2">30%</td><td colspan="4" rowspan="4">セミナーでの態度(発言、積極性など)、貢献度、レポートなど総合的に判断します。</td></tr><tr><td colspan="2">チームで考える力の育成、コミュニケーション能力の向上</td><td colspan="2">40%</td></tr><tr><td colspan="2">問題解決に向けた発想力の向上</td><td colspan="2">30%</td></tr><tr><td colspan="2">合計</td><td colspan="2">100%</td></tr></table>							評価項目と割合				評価方法				情報システムの理解、Word、Excel、PowerPointの基本操作の修得		30%		セミナーでの態度(発言、積極性など)、貢献度、レポートなど総合的に判断します。				チームで考える力の育成、コミュニケーション能力の向上		40%		問題解決に向けた発想力の向上		30%		合計		100%																																																																																																					
評価項目と割合				評価方法																																																																																																																																			
情報システムの理解、Word、Excel、PowerPointの基本操作の修得		30%		セミナーでの態度(発言、積極性など)、貢献度、レポートなど総合的に判断します。																																																																																																																																			
チームで考える力の育成、コミュニケーション能力の向上		40%																																																																																																																																					
問題解決に向けた発想力の向上		30%																																																																																																																																					
合計		100%																																																																																																																																					
【その他の注意事項】	毎回、タイピング練習を行います。																																																																																																																																						
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td colspan="5">学習内容</td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>ガイダンス、自己紹介</td><td colspan="5">授業の進め方の説明、全員の自己紹介を行う</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="3">情報システムの基本確認</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="3">各自のテーマ内容調査</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>情報の検索、扱い方</td><td colspan="5">情報の検索手法、取り扱い方を学ぶ</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="3">タイピング練習、情報検索手法の確認</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="3">各自のテーマ内容調査</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>正しい情報の検索</td><td colspan="5">情報の価値、信頼性を学ぶ</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="3">タイピング練習、情報の信頼性確認</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="3">テーマ内容検討</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>テーマ選定</td><td colspan="5">各自、関心のあるテーマを選定し、調査する</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="3">タイピング練習、テーマの洗い出し</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="3">テーマ選定</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No5</td><td>テーマ検索</td><td colspan="5">各自選んだテーマを検索し、詳細調査を行う</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="3">タイピング練習、テーマに関するデータ収集</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="3">テーマ詳細調査</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No6</td><td>発表準備</td><td colspan="5">調査したデータをまとめ、発表の準備を行う</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="3">タイピング練習、データの整理</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="3">発表準備</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td></td><td>発表練習</td><td colspan="5">ゼミ内で調査結果を発表する</td></tr></table>							週	テーマ	学習内容					No1	ガイダンス、自己紹介	授業の進め方の説明、全員の自己紹介を行う					予習内容(時間)	情報システムの基本確認			120	分	復習内容(時間)	各自のテーマ内容調査			120	分	No2	情報の検索、扱い方	情報の検索手法、取り扱い方を学ぶ					予習内容(時間)	タイピング練習、情報検索手法の確認			120	分	復習内容(時間)	各自のテーマ内容調査			120	分	No3	正しい情報の検索	情報の価値、信頼性を学ぶ					予習内容(時間)	タイピング練習、情報の信頼性確認			120	分	復習内容(時間)	テーマ内容検討			120	分	No4	テーマ選定	各自、関心のあるテーマを選定し、調査する					予習内容(時間)	タイピング練習、テーマの洗い出し			120	分	復習内容(時間)	テーマ選定			120	分	No5	テーマ検索	各自選んだテーマを検索し、詳細調査を行う					予習内容(時間)	タイピング練習、テーマに関するデータ収集			120	分	復習内容(時間)	テーマ詳細調査			120	分	No6	発表準備	調査したデータをまとめ、発表の準備を行う					予習内容(時間)	タイピング練習、データの整理			120	分	復習内容(時間)	発表準備			120	分		発表練習	ゼミ内で調査結果を発表する				
週	テーマ	学習内容																																																																																																																																					
No1	ガイダンス、自己紹介	授業の進め方の説明、全員の自己紹介を行う																																																																																																																																					
	予習内容(時間)	情報システムの基本確認			120	分																																																																																																																																	
	復習内容(時間)	各自のテーマ内容調査			120	分																																																																																																																																	
No2	情報の検索、扱い方	情報の検索手法、取り扱い方を学ぶ																																																																																																																																					
	予習内容(時間)	タイピング練習、情報検索手法の確認			120	分																																																																																																																																	
	復習内容(時間)	各自のテーマ内容調査			120	分																																																																																																																																	
No3	正しい情報の検索	情報の価値、信頼性を学ぶ																																																																																																																																					
	予習内容(時間)	タイピング練習、情報の信頼性確認			120	分																																																																																																																																	
	復習内容(時間)	テーマ内容検討			120	分																																																																																																																																	
No4	テーマ選定	各自、関心のあるテーマを選定し、調査する																																																																																																																																					
	予習内容(時間)	タイピング練習、テーマの洗い出し			120	分																																																																																																																																	
	復習内容(時間)	テーマ選定			120	分																																																																																																																																	
No5	テーマ検索	各自選んだテーマを検索し、詳細調査を行う																																																																																																																																					
	予習内容(時間)	タイピング練習、テーマに関するデータ収集			120	分																																																																																																																																	
	復習内容(時間)	テーマ詳細調査			120	分																																																																																																																																	
No6	発表準備	調査したデータをまとめ、発表の準備を行う																																																																																																																																					
	予習内容(時間)	タイピング練習、データの整理			120	分																																																																																																																																	
	復習内容(時間)	発表準備			120	分																																																																																																																																	
	発表練習	ゼミ内で調査結果を発表する																																																																																																																																					

【授業計画】

No7	予習内容(時間)	タイピング練習、発表内容確認	120	分
	復習内容(時間)	発表練習	120	分
	発表練習	ゼミ内で調査結果を発表する		
No8	予習内容(時間)	タイピング練習、発表内容確認	120	分
	復習内容(時間)	発表練習	120	分
	発表練習	ゼミ内で調査結果を発表する		
No9	ゼミ全体のテーマ選定	個人ではなく、ゼミ全体のテーマ選定を行う		
	予習内容(時間)	タイピング練習、全体テーマ調査	120	分
	復習内容(時間)	テーマ選定	120	分
No10	テーマの絞り込み	どのようなテーマが適切なのか、話し合う		
	予習内容(時間)	タイピング練習、テーマの選別	120	分
	復習内容(時間)	テーマ選定	120	分
No11	テーマの決定	ゼミテーマを選定する		
	予習内容(時間)	タイピング練習、テーマの詳細確認	120	分
	復習内容(時間)	テーマ選定	120	分
No12	グループワーク	テーマの内容を細分化し、グループごとに検討する		
	予習内容(時間)	タイピング練習、テーマの詳細確認	120	分
	復習内容(時間)	内容調査	120	分
No13	テーマの深堀り	テーマの内容の精査、深堀りを進める		
	予習内容(時間)	タイピング練習、データの信頼性確認	120	分
	復習内容(時間)	テーマ内容精査	120	分
No14	グループごとのデータ整理	グループごとにデータを整理し、パワーポイントにまとめる		
	予習内容(時間)	タイピング練習、資料作成準備	120	分
	復習内容(時間)	資料作成	120	分
No15	Wordの基本操作修得	Wordのさまざまなスキルを学ぶ		
	予習内容(時間)	タイピング練習、Word操作の基本確認	120	分
	復習内容(時間)	Wordを用いた文書、表作成方法の確認	120	分
No16	Excelの基本操作	表、グラフ作成、データ集計のスキルを学ぶ		
	予習内容(時間)	タイピング練習、Excel操作の基本確認	120	分
	復習内容(時間)	テーマ内容検討	120	分
No17	データの信頼性	データの入手先の信頼度を知る		
	予習内容(時間)	タイピング練習、情報の信頼性確認	120	分
	復習内容(時間)	テーマ内容検討	120	分
No18	データの深堀り	データの内容、信憑性を精査する		
	予習内容(時間)	タイピング練習、データ検証手法の確認	120	分
	復習内容(時間)	データの精査	120	分
No19	グループワーク	内容によってグループに分かれ、詳細に検討、議論する		
	予習内容(時間)	タイピング練習、テーマ内容の理解	120	分
	復習内容(時間)	検討内容の整理	120	分

	No20	考察の整理	ゼミ全体で意見を出し合い、方向性をまとめる		
		予習内容(時間)	タイピング練習、データを整理する	120	分
		復習内容(時間)	考察の全体をまとめる	120	分
	No21	パワーポイント操作	パワーポイントの操作スキルを学ぶ		
		予習内容(時間)	タイピング練習、パワーポイントの基本操作の確認	120	分
		復習内容(時間)	パワーポイントの操作スキルの確認	120	分
	No22	発表資料作成	発表資料をパワーポイントにまとめる		
		予習内容(時間)	タイピング練習、発表資料の確認	120	分
		復習内容(時間)	発表資料の精査	120	分
	No23	発表資料のチェックと発表練習	資料の最終チェックと発表の練習をする		
		予習内容(時間)	タイピング練習、発表原稿の作成	120	分
		復習内容(時間)	発表の練習	120	分
	No24	発表練習	発表原稿を最終チェックし、発表練習を行う		
		予習内容(時間)	タイピング練習、原稿の最終確認	120	分
		復習内容(時間)	発表練習	120	分
	No25	発表の振り返り	自ゼミ、他ゼミの発表の内容を振り返る		
		予習内容(時間)	タイピング練習、発表内容の整理	120	分
		復習内容(時間)	発表内容の振り返り、整理	120	分
	No26	論文作成	論文の書き方を学び、論文を作成する		
		予習内容(時間)	タイピング練習、論文の書き方の確認	120	分
		復習内容(時間)	論文の確認	120	分
	No27	論文の確認	論文の体裁を整え、最終チェックを行う		
		予習内容(時間)	タイピング練習、論文の流れ確認	120	分
		復習内容(時間)	論文の完成	120	分
	No28	振り返り	全体を通した気づき、反省を整理し、今後の方針の検討を行う		
		予習内容(時間)	タイピング練習、気づきの整理	120	分
		復習内容(時間)	今後の方針検討	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	3年
講義名	専門演習 I B-佐藤(恵)
講義名(英字)	Specialized Seminar I
担当教員	佐藤 恵美
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	企業で必要とされるものは、能力、パーソナリティ、興味、動機づけ、リーダーシップ、人間関係など、たいてい“目に見えない”ものであり、これを概念化し、測定するのが心理学の分野である。本演習では、さまざまな業種の企業で必要とされている能力やパーソナリティについて、業種、国籍、文化、社会的背景による要因などから多角的に、専門書を読み、調査を行い、発表と議論を行う。ゼミのテーマはみんなで考え、半期ごとに新しいテーマに取り組む。前半は心理や経営に関する専門書の輪読を中心に、専門的な基礎知識や論理的な思考能力の習得を目指す。後半は文献や資料を講読し、各種調査を行い、データ処理の基礎的な方法と、テーマに沿ったプレゼンテーション能力を身につけていくことを目標とする。
	自己分析とキャリア・プランニング：生涯発達の観点から自分自身の能力、パーソナリティを自己分析し、自己のキャリアについて考える。現在の

	企業や組織の形態、そして業界研究を行いながら、働くことに関する意識を持ち、働くことに関するヴィジョンを持つことができるように自己のキャリア・プランニングを作成することを目標とする。									
【到達目標】	テキストの輪読とレジュメ作成：産業・組織心理学、社会心理学、パーソナリティ心理学等の専門的な基礎知識の習得のために、専門書を読みレジュメの作成を通して、論理的な思考能力の習得を目指す。各人が章を担当し、要点をまとめたレジュメを作成し、発表、これに基づいた質疑応答と討論ができることを目標とする。 共同研究と調査、発表：自分たちが考えた共同研究のテーマに沿って調査を行い、プレゼンテーションを使って説明できるようにする。文献や資料を検索し、各種調査を行い、概念形成やデータ収集を行い、一連のテーマに沿った資料を作成できるようにすることが目的である。主体的に共同研究テーマの課題について取り組むことで、協働で1つの作業を行うチームワークを学ぶことを目標とする。									
【履修条件・受講推奨者】	・欠席や遅刻は認めない。やむを得ず欠席する場合には、必ず連絡をすること。 ・各自の分担に責任を持って、積極的に参加することを望みます。同学年のみならず、学年をこえてコミュニケーションをとり、グループでの共同作業に参加できること。									
【教育方法】	対面による演習授業とする									
【指定教科書・参考資料等】	授業で指定する									
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力			
	協働力	○	主張力	○	創造力	○				
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法					
	自己分析とキャリア・プランニング			20%	レジュメ提出と共同調査研究					
	テキストの輪読とレジュメ作成			20%						
	共同調査研究			60%						
	合計			100%						
【その他の注意事項】										
	週	テーマ	学習内容							
	No1	ゼミの自己紹介、年間課題の確認	ゼミの自己紹介、年間課題の確認							
		予習内容(時間)	自己紹介の内容を考える						120	分
		復習内容(時間)	ゼミ生の名前と特徴を覚える						120	分
	No2	自己分析とキャリア・プランニング	自己の能力について把握する							
		予習内容(時間)	企業でどのような能力が期待されているか考える						120	分
		復習内容(時間)	行った能力検査について自己分析を行う						120	分
	No3	自己分析とキャリア・プランニング	自己のパーソナリティについて把握する							
		予習内容(時間)	企業でどのようなパーソナリティが期待されているか考える						120	分
		復習内容(時間)	行ったパーソナリティ検査について自己分析を行う						120	分
	No4	自己分析とキャリア・プランニング	自己の職業興味について把握する							
		予習内容(時間)	どのような職業環境があるか考える						120	分
		復習内容(時間)	行った職業興味検査について自己分析を行う						120	分
	No5	自己分析とキャリア・プランニング	能力、パーソナリティ、職業興味の自己分析から、どのような仕事をしていくか計画を立てる							
		予習内容(時間)	自己分析を総合して、仕事について考える						120	分

【授業計画】		復習内容(時間)	現在の職業環境と自己分析から自分に適した職業を考え、記述する	120	分
	No6	テキストの輪読とレジュメ作成	産業・組織心理学、社会心理学、パーソナリティ心理学等の専門書について、どの分野を読んでいくか、テーマを考える		
		予習内容(時間)	心理学が企業でどのように役立つか考える	120	分
		復習内容(時間)	自分の興味ある分野の本をいくつかピックアップする	120	分
	No7	テキストの輪読とレジュメ作成	テーマが決まったら、各自で担当する章を決め、重要部分に線を引いていく		
		予習内容(時間)	心理学が企業でどのように役立つか考える	120	分
		復習内容(時間)	担当する章の重要部分は何かを考える	120	分
	No8	テキストの輪読とレジュメ作成	重要部分を説明する文章を探し、Wordに入力、各自でまとめていく。		
		予習内容(時間)	重要部分を説明する文章を読み込む	120	分
		復習内容(時間)	重要部分を説明する文章を探し、Wordに入力、各自でまとめていく	120	分
	No9	テキストの輪読とレジュメ作成	重要部分を説明する文章を探し、Wordに入力、各自でまとめていく。このとき、いろいろなWordの手法を勉強し、わかりやすいレジュメを作成すること。		
		予習内容(時間)	重要部分を説明する文章を探し、Wordに入力、各自でまとめていく	120	分
		復習内容(時間)	重要部分を説明する文章を探し、Wordに入力、各自でまとめていく	120	分
	No10	テキストの輪読とレジュメ作成	重要部分を説明する文章を探し、Wordに入力、各自でまとめていく。このとき、いろいろなWordの手法を勉強し、わかりやすいレジュメを作成すること。		
		予習内容(時間)	重要部分を説明する文章を探し、Wordに入力、各自でまとめていく	120	分
		復習内容(時間)	重要部分を説明する文章を探し、Wordに入力、各自でまとめていく	120	分
	No11	テキストの輪読とレジュメ作成	各自、出来上がったレジュメを発表する。一人30分程度で発表し、質疑応答も含めて全45分程度とする。このとき、必ず一人1つの質問や意見を述べること。		
		予習内容(時間)	重要部分を説明する文章を探し、Wordに入力、各自でまとめていく	120	分
		復習内容(時間)	重要部分を説明する文章を探し、Wordに入力、各自でまとめていく	120	分
	No12	テキストの輪読とレジュメ作成	各自、出来上がったレジュメを発表する。一人30分程度で発表し、質疑応答も含めて全45分程度とする。このとき、必ず一人1つの質問や意見を述べること。		
		予習内容(時間)	重要部分を説明する文章を探し、Wordに入力、各自でまとめていく	120	分
		復習内容(時間)	重要部分を説明する文章を探し、Wordに入力、各自でまとめていく	120	分
	No13	テキストの輪読とレジュメ作成	各自、出来上がったレジュメを発表する。一人30分程度で発表し、質疑応答も含めて全45分程度とする。このとき、必ず一人1つの質問や意見を述べること。		
		予習内容(時間)	重要部分を説明する文章を探し、Wordに入力、各自でまとめていく	120	分
		復習内容(時間)	重要部分を説明する文章を探し、Wordに入力、各自でまとめていく	120	分
	No14	テキストの輪読とレジュメ作成	各自、出来上がったレジュメを発表する。一人30分程度で発表し、質疑応答も含めて全45分程度とする。このとき、必ず一人1つの質問や意見を述べること。		
		予習内容(時間)	重要部分を説明する文章を探し、Wordに入力、各自でまとめていく	120	分
		復習内容(時間)	重要部分を説明する文章を探し、Wordに入力、各自でまとめていく	120	分
	No15	前期のまとめ	前期に行った課題について、自分が到達できた目標を確認する		
		予習内容(時間)	前期に行った課題について、自分が到達できた目標を確認する	120	分
		復習内容(時間)	後期に向けて共同研究のテーマを3つ以上考えてくる	120	分
	No16	共同調査研究	夏休みに考えてきた共同調査研究のテーマを、各自3つ以上意見を出す。		
		予習内容(時間)	後期に向けて共同研究のテーマを3つ以上考えてくる	120	分
		復習内容(時間)	絞られたテーマの実現可能性を考える	120	分
		共同調査研究	多数のテーマの中から、テーマの実現可能性を考え、テーマと手続きを決める		

No17	予習内容(時間)	絞られたテーマの実現可能性を考える	120	分
	復習内容(時間)	共同研究のテーマに沿って文献や資料を検索する	120	分
No18	共同調査研究	共同研究のテーマに沿って文献や資料を検索する		
	予習内容(時間)	共同研究のテーマに沿って文献や資料を検索する	120	分
	復習内容(時間)	共同研究のテーマに沿って文献や資料を検索する	120	分
No19	共同調査研究	共同調査研究の調査を行う		
	予習内容(時間)	調査表を作成する	120	分
	復習内容(時間)	調査表を作成する	120	分
No20	共同調査研究	共同調査研究の調査とデータ入力を行う		
	予習内容(時間)	共同調査研究の調査とデータ入力を行う	120	分
	復習内容(時間)	共同調査研究の調査とデータ入力を行う	120	分
No21	共同調査研究	共同調査研究の発表をプレゼンテーションを各自の分担において作成する		
	予習内容(時間)	プレゼンテーションを各自の分担において作成する	120	分
	復習内容(時間)	プレゼンテーションを各自の分担において作成する	120	分
No22	共同調査研究	共同調査研究の発表をプレゼンテーションをまとめ、作成する		
	予習内容(時間)	プレゼンテーションを各自の分担において作成する	120	分
	復習内容(時間)	プレゼンテーションを各自の分担において作成する	120	分
No23	共同調査研究	共同調査研究の発表をプレゼンテーションに合わせ、PPTの最終調整を行う		
	予習内容(時間)	プレゼンテーションを作成する	120	分
	復習内容(時間)	プレゼンテーションを作成する	120	分
No24	共同調査研究	共同調査研究の発表をプレゼンテーションの練習を行う		
	予習内容(時間)	プレゼンテーションの練習を行う	120	分
	復習内容(時間)	プレゼンテーションの練習を行う	120	分
No25	共同調査研究	共同調査研究の発表をプレゼンテーションし、質疑応答を行う		
	予習内容(時間)	プレゼンテーションの練習	120	分
	復習内容(時間)	共同調査研究のまとめを行う	120	分
No26	共同調査研究	共同調査研究のまとめとして、自分が果たした役割と改善点について意見を交わす		
	予習内容(時間)	共同調査研究のまとめを行うので、自分の役割について考える	120	分
	復習内容(時間)	共同研究の意義について考える	120	分
No27	個人研究と面談	各自で産業・組織心理学、社会心理学、パーソナリティ心理学等の専門書を読み、本の内容をまとめ、自分意見を記述する。また、個人面談も行う。		
	予習内容(時間)	各自で産業・組織心理学、社会心理学、パーソナリティ心理学等の専門書を決める	120	分
	復習内容(時間)	各自で産業・組織心理学、社会心理学、パーソナリティ心理学等の専門書を読む	120	分
No28	個人研究と面談	各自で産業・組織心理学、社会心理学、パーソナリティ心理学等の専門書を読み、本の内容をまとめ、自分意見を記述する。また、個人面談も行う。		
	予習内容(時間)	各自で産業・組織心理学、社会心理学、パーソナリティ心理学等の専門書を読み、文章にまとめる	120	分
	復習内容(時間)	各自で産業・組織心理学、社会心理学、パーソナリティ心理学等の専門書を読み、文章にまとめる	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	3年
講義名	専門演習 I B-清水(良)
講義名(英字)	Specialized Seminar I
担当教員	清水 良樹
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	(内容) マクロ経済分析から投資対象を選別 (教授法) ・オシレーターを活用方法 ・グループワークによるマクロ経済(日本を含む国際経済)分析 ・グループワークによる企業分析 ・各グループによる分析結果報告(プレゼンテーション) ・質疑応答 ・投資先の決定→投資を实践 (研究テーマ)
----------------------------	--

	・マクロ経済分析から個人の資産形成(投資対象)をプランニング							
【到達目標】	情報収集能力の向上。 論理的思考力の養成。 プレゼン能力の向上。							
【履修条件・受講推奨者】	①考慮すべき理由のない欠席、無断欠席をした場合、ペナルティー(追加レポートの提出)を課す。 ②学習意欲のない者の履修は認めない。 ③全ての行事に全力で取り組むこと。ゼミに関連した大学行事において無断欠席をした場合は単位取得を認めない。 ④ゼミ内で交わした約束(ルール)を守れない場合、履修登録を取り消してもらう。							
【教育方法】	グループワーク(情報収集とプレゼン資料の作成) プレゼンテーション。 質疑応答。 教員による添削とコメント。							
【指定教科書・参考資料等】	教科書: 初回の演習時において話し合う。 参考書: 必要に応じて適宜指示する							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法				
	プレゼンテーション		60%	各評価項目に基づいた累積点を100点満点に換算。各履修者の獲得点を本学の成績評価基準に基づいて評価する。				
	課題		30%					
	ゼミ発表大会での貢献度(報告者役を担う、質疑応答を行うなど)		10%					
	合計		100%					
【その他の注意事項】	グループワークを基本とします。無断欠席等は他のメンバーに迷惑がかかるので絶対にしないでください。 課題の提出期限等のスケジュール管理を徹底すること。							
	週	テーマ		学習内容				
No1		ゼミ発表大会に向けた研究テーマの設定		研究テーマの概要説明。研究テーマの設定。				
		予習内容(時間)		日本経済に関する情報収集。			120	分
		復習内容(時間)		研究メモの作成。			120	分
No2		研究		研究の構成を考える。担当分野の決定。参考文献リストの作成。				
		予習内容(時間)		研究メモの作成。			120	分
		復習内容(時間)		参考文献リストの作成。			120	分
No3		研究		先行研究フォロー。				
		予習内容(時間)		研究メモの作成。			120	分
		復習内容(時間)		参考文献リストの作成。			120	分
No4		同上		同上				
		予習内容(時間)		同上			120	分
		復習内容(時間)		同上			120	分

【授業計画】

No5	同上	同上		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
	研究報告	フォローした先行研究について報告。		
	予習内容(時間)	報告準備。	120	分
	復習内容(時間)	指摘されたことを踏まえて修正。		分
	研究	必要な統計データの収集。		
	予習内容(時間)	統計学について調べる。	120	分
	復習内容(時間)	エクセルを操作する。	120	分
	同上	同上		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
	同上	同上		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
	研究報告	論文に掲載する図表集を提示。		
	予習内容(時間)	報告準備。	120	分
	復習内容(時間)	指摘されたことを踏まえて修正。	120	分
	同上	同上		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
	個人の資産形成	資産形成をプランニング。		
	予習内容(時間)	NISAについて調べる。	120	分
	復習内容(時間)	ポートフォリオを考える。	120	分
No13	同上	同上		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No14	プレゼンテーション	個人の資産形成をプランニング。運用状況の報告。		
	予習内容(時間)	報告準備。	120	分
	復習内容(時間)	指摘されたことを踏まえてポートフォリオを修正。	120	分
No15	研究	研究の進捗状況について報告。		
	予習内容(時間)	報告準備。	120	分
	復習内容(時間)	指摘されたことを踏まえて修正。	120	分
No16	研究	ゼミ発表大会に向けた報告内容(構成)を考える。		
	予習内容(時間)	研究メモの作成。	120	分
	復習内容(時間)	研究メモの作成。	120	分
No17	同上	同上		
	予習内容(時間)	同上	120	分

	復習内容(時間)	同上	120	分
No18	同上	ゼミ発表大会に向けたスライドを作成。		
	予習内容(時間)	スライド資料の作り方について学ぶ。	120	分
	復習内容(時間)	指摘されたことを踏まえてスライドを修正。	120	分
No19	同上	同上		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No20	同上	ゼミ発表大会の報告内容をまとめたレポートを作成。		
	予習内容(時間)	報告スライドを作成。	120	分
	復習内容(時間)	レポートの作成。	120	分
No21	同上	同上		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No22	同上	研究レポートの作成。		
	予習内容(時間)	レポートの作成。	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No23	同上	同上		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No24	同上	同上		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No25	同上	研究報告用のスライドを作成。		
	予習内容(時間)	スライドの作成。	120	分
	復習内容(時間)	指摘されたことを踏まえてスライドを修正。	120	分
No26	同上	同上		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No27	同上	同上		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No28	同上	研究レポートおよび研究報告スライドを提出し、担当教員のチェックを受ける。		
	予習内容(時間)	レポートおよびスライドの作成。	120	分
	復習内容(時間)	印刷用の最終校閲。	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	3年
講義名	専門演習 I B-隅田
講義名(英字)	Specialized Seminar I
担当教員	隅田 浩司
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	本専門演習は、対話と紛争解決をテーマとして、対話のマネジメント、交渉学そして、法的問題解決を学ぶために経済法、国際経済法を学びます。3年次のテーマは、対話力の習得、そして法的問題解決の方法論の習得です。本講義では、春学期には、対話力の習得を目指し、秋学期はゼミ発表大会報告準備を行います。
【到達目標】	1 対話のマネジメントの基礎理論を習得することができる 2 対話のマネジメントを活用し、会議、ディスカッションのファシリテーターとして適切な会議運営を支援することができる

	3 法的問題解決としての経済法、国際経済法の基礎概念、方法論の基礎知識を獲得することができる							
【履修条件・受講推奨者】	履修許可者のみ履修可能							
【教育方法】	ディスカッション、模擬交渉など対話形式で学びます。毎回、受講生の発表、その後のディスカッションという形式で行います。春学期は、参考図書を軸とした受講生の発表とディスカッション、秋学期は、ゼミ発表大会の準備、ゼミ発表大会終了後は、春学期と同様の抗議を行います。							
【指定教科書・参考資料等】	1 教科書(購入すること) ノア・J・ゴールドスタイン(著)、スティーブ・マーティン(著)、ロバート・B・チャルディーニ(著)『影響力の武器 実践編[第二版]「イエス!」を引き出す60の秘訣』誠信書房: 第二版(2019/12/5)ISBN-13: 978-4414304251 2 参考書(多岐にわたるため、講義中に適宜、紹介する)							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法			
	毎回の講義において定められた発表をし、ディスカッションに参加し、議論の進展に貢献したかどうか			30%	毎回の講義における受講生の受講態度、発言内容、周りの受講生との共同作業における参加姿勢を総合的に評価する。			
	他の受講生と協働し報告、発表を形成し、リーダーシップを発揮することができたかどうか			50%				
	研究領域における調査手法、方法論を習得できているかどうか			20%				
	合計			100%				
【その他の留意事項】	当然ながら、毎回の受講、報告などが必須となる、無断欠席や理由のない欠席が続くようであれば履修停止とする。							
	週	テーマ	学習内容					
	No1	影響力の武器	指定教科書の意義について確認し、演習全般に渡るオリエンテーションを行う。また、受講生との自己紹介や、対話のディスカッションを通じて親睦を図るとともに、1年間の目標設定を行う。					
		予習内容(時間)	教科書はじめにとまえがきのところを読み、社会的影響力の原理について各自で調査すること				120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習、追加調査				120	分
	No2	説得力と社会的証明	説得力、バンドワゴン効果、社会的証明についてディスカッションし、解説を行う。					
		予習内容(時間)	教科書1頁から16頁				120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習、追加調査				120	分
	No3	選択肢	選択肢が多いと人間は意思決定が難しくなるといった現象をはじめとする選択肢に関する問題について、ディスカッションし、解説を行う。					
		予習内容(時間)	教科書17から28頁				120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習、追加調査				120	分
	No4	複数商品のディスプレイと選択への影響	複数の商品の陳列による意思決定への影響などについて、ディスカッションし、解説を行う。					
		予習内容(時間)	教科書29から40頁				120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習、追加調査				120	分
	No5	感情と説得	恐怖心や、選択肢における選択の菌やすさなど、心理的なバイアスが意思決定に与える影響についてディスカッションし、解説を行う。					
		予習内容(時間)	教科書41から53頁				120	分
		復習内容(時間)	講義内容の復習、追加調査				120	分
		説得とレトリックの心理関係	説得におけるレトリックの使用と、その心理学的な意味付けについてディスカッションし、解説を行う。					

【授業計画】

No6	予習内容(時間)	教科書54から63頁	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習、追加調査	120	分
No7	責任と説得	企業の社会的責任が説得において重要であることなどについて講義する		
	予習内容(時間)	教科書64頁から71頁	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習、追加調査	120	分
No8	感謝	感謝の気持から、徐々に若いに至るプロセスについて解説する		
	予習内容(時間)	教科書72から79頁	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習、追加調査	120	分
No9	ラベリング	ラベリング・テクニックについて解説する		
	予習内容(時間)	教科書80から87頁	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習、追加調査	120	分
No10	コミットメント	積極的コミットメントと説得について解説する		
	予習内容(時間)	教科書88から96頁	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習、追加調査	120	分
No11	一貫性の原理	一貫性の原理の説得的効果について解説する		
	予習内容(時間)	教科書97から102頁	120	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習、追加調査	120	分
No12	一貫性と接触	接触効果と一貫性の原理の関係について解説する		
	予習内容(時間)	教科書103から109頁	70	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習、追加調査	180	分
No13	価格と説得	価格設定における説得効果について解説する		
	予習内容(時間)	教科書110から117頁	70	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習、追加調査	180	分
No14	リーダーシップの落とし穴	リーダーシップに関連し、機長症候群などリーダーシップの落とし穴について解説する。		
	予習内容(時間)	教科書118から125頁	70	分
	復習内容(時間)	講義内容の復習、追加調査	180	分
No15	ゼミ発表大会のテーマ設定	夏季休暇中の課題を行った上で、受講生との協議に基づき、テーマを設定するディスカッションを行う。		
	予習内容(時間)	夏季休暇中の課題への取り組み(課題は春学期終了時に提示)	900	分
	復習内容(時間)	テーマ決定後、テーマに関する各自の予備調査	180	分
No16	第1回ドラフト作成	ゼミ発表対価に関するドラフトを作成する、パワーポイントの前に概況を作成し、論理的な構造を分析する		
	予習内容(時間)	テーマに関する予備調査	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分
No17	第2回ドラフトの作成	ゼミ発表大会に向けた概況、論理構成をある程度決定した上で、パワーポイント等プレゼン資料作成を行う		
	予習内容(時間)	テーマに関する予備調査	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分
No18	プレゼンテーション資料作成	プレゼンテーション資料の作成を行い、その作成状況を確認し、追加で調査すべき時効についてディスカッションを通じて検討する。		

	予習内容(時間)	テーマに関する予備調査	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分
No19	プレゼンテーション練習1	未完成のプレゼンテーション資料を用い、当日と同様にプレゼンテーション練習を行い、そのうえで、内容の修正変更を行う。		
	予習内容(時間)	テーマに関する予備調査	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分
No20	プレゼンテーション練習2	プレゼンテーション資料がある程度完成している状態となっているので、それを用いた練習を行い、内容の修正変更を行う。		
	予習内容(時間)	テーマに関する予備調査	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分
No21	プレゼンテーション、質疑応答練習1	プレゼンテーションのさらなるトレーニングを続けるとともに、質疑応答のシミュレーションを行い、調査不足、論理展開の不十分さをさらにチェックする。		
	予習内容(時間)	テーマに関する予備調査	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分
No22	プレゼンテーション、質疑応答練習2	プレゼンテーションのさらなるトレーニングを続けるとともに、質疑応答のシミュレーションを行い、調査不足、論理展開の不十分さをさらにチェックする。		
	予習内容(時間)	テーマに関する予備調査	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分
No23	本番前の最終確認	プレゼンテーションのさらなるトレーニングを続けるとともに、質疑応答のシミュレーションを行い、調査不足、論理展開の不十分さをさらにチェックする。		
	予習内容(時間)	テーマに関する予備調査	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分
No24	ゼミ発表大会の振り返り	ゼミ発表大会の内容及び結果を振り返り、残された課題について、確認の上、再度、プレゼンテーション資料を確認しつつ、質疑応答を行い、内容の定着を図る。		
	予習内容(時間)	プレゼンテーション後の課題の再調査、報告書作成	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分
No25	集団思考	集団思考及び悪魔の代理人について解説		
	予習内容(時間)	教科書126から132頁	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分
No26	失敗学	失敗から学ぶ方法について社会心理学、説得学の観点から解説する		
	予習内容(時間)	教科書133から138頁	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分
No27	短所からの説得	短所からの説得、弱点からの強みを活かす方策について解説する		
	予習内容(時間)	教科書139から145頁	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分
No28	専門演習I総括セッション	専門演習Iの学習内容を踏まえて、説得、組織内対話に関する年間を通じての学びについて総括し、学習成果を再確認する。		
	予習内容(時間)	教科書1から145頁まで	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を踏まえた追加調査	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	3年
講義名	専門演習 I B-土井
講義名(英字)	Specialized Seminar I
担当教員	土井 充
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	このゼミでは、株主など企業に利害関係を持っている外部の人たちに情報を提供するための会計、すなわち財務会計を中心テーマとします。企業は、この財務会計を一定のルールに従って行っています。ゼミでは、この会計ルール(複式簿記、会計基準など)や、ルールに従い作成された情報を読み解くための知識(経営分析など)を修得するとともに、こうした知識を用いて、現代経済社会において財務会計がどのようなはたらきを持っているのかを探究していきます。
	財務会計に関する基本的な知識を用いて、初歩的なディスカッションができる。

【到達目標】	以下のアカデミックリテラシーを修得する。 (a)情報を整理・分析することができる。(b)効果的な報告手法を選択し、報告する(自分の意見を相手に伝える)ことができる。(c)グループの意見を纏めることができる。 問題を自ら発見し、当該問題に対する答えを考察することができる。																																																							
【履修条件・受講推奨者】	・常に積極的・継続的に参加する学生の履修を望みます。 ・「入門簿記Ⅰ」、「入門簿記Ⅱ」、「会計学Ⅰ」、「会計学Ⅱ」の単位を修得している。 「商業簿記Ⅰ」、「商業簿記Ⅱ」、「工業簿記Ⅰ」、「工業簿記Ⅱ」、「財務会計論Ⅰ」、「財務会計論Ⅱ」、「税務会計論Ⅰ」、「税務会計論Ⅱ」、「管理会計論Ⅰ」、「管理会計論Ⅱ」、「経営分析論」を履修することが望ましい。																																																							
【教育方法】	報告者が担当範囲についてレジュメを作成し、演習で発表します。この発表を基に、全員で討論を行い全体の理解を深めていきます。																																																							
【指定教科書・参考資料等】	教科書: 使用せず。 参考書: 必要に応じて演習中に配付します。																																																							
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>							自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力		協働力	○	主張力	○	創造力	○																																			
自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力																																																		
協働力	○	主張力	○	創造力	○																																																			
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><th colspan="3">評価項目と割合</th><th colspan="4">評価方法</th></tr><tr><td>簿記(2級程度)、会計理論(財務会計Ⅰ/Ⅱ程度)、および個別研究テーマに関する知識を有している。</td><td>40%</td><td colspan="5" rowspan="3">発表や討論などへの参加度合や、演習への取り組み姿勢、レジュメやレポートなどの提出物から総合的に評価します。</td></tr><tr><td>(a)情報を整理・分析することができる。(b)効果的な報告手法を選択し、報告する(自分の意見を相手に伝える)ことができる。(c)グループの意見を纏めることができる。</td><td>30%</td></tr><tr><td>問題を自ら発見し、当該問題に対する答えを、レポート等の形で考察することができる。</td><td>30%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td><td colspan="5"></td></tr></table>							評価項目と割合			評価方法				簿記(2級程度)、会計理論(財務会計Ⅰ/Ⅱ程度)、および個別研究テーマに関する知識を有している。	40%	発表や討論などへの参加度合や、演習への取り組み姿勢、レジュメやレポートなどの提出物から総合的に評価します。					(a)情報を整理・分析することができる。(b)効果的な報告手法を選択し、報告する(自分の意見を相手に伝える)ことができる。(c)グループの意見を纏めることができる。	30%	問題を自ら発見し、当該問題に対する答えを、レポート等の形で考察することができる。	30%	合計	100%																													
評価項目と割合			評価方法																																																					
簿記(2級程度)、会計理論(財務会計Ⅰ/Ⅱ程度)、および個別研究テーマに関する知識を有している。	40%	発表や討論などへの参加度合や、演習への取り組み姿勢、レジュメやレポートなどの提出物から総合的に評価します。																																																						
(a)情報を整理・分析することができる。(b)効果的な報告手法を選択し、報告する(自分の意見を相手に伝える)ことができる。(c)グループの意見を纏めることができる。	30%																																																							
問題を自ら発見し、当該問題に対する答えを、レポート等の形で考察することができる。	30%																																																							
合計	100%																																																							
【その他の留意事項】	・本ゼミの準備(予習・事前学習)のため、サブゼミを開くことがあります。 ・ゼミ生全員で協議し、学外でのゼミ行事(ゼミ合宿など)を行うことがあります。																																																							
	<table><tr><th>週</th><th>テーマ</th><th>学習内容</th><th></th><th></th></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>財務会計の基本原則(1)</td><td>春学期は、財務会計の基本原則に関することを全員で討議する形で進めていきます。具体的には、毎回、報告者が担当範囲についてレジュメを作成し、演習で発表します。この発表を基に、全員で討論を行い全体の理解を深めていきます。</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>シラバスの内容を確認する。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>財務会計の基本原則(2)</td><td>「No1」と同じ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>財務会計の基本原則(3)</td><td>「No1」と同じ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td></td><td>財務会計の基本原則(4)</td><td>「No1」と同じ</td><td></td><td></td></tr></table>							週	テーマ	学習内容			No1	財務会計の基本原則(1)	春学期は、財務会計の基本原則に関することを全員で討議する形で進めていきます。具体的には、毎回、報告者が担当範囲についてレジュメを作成し、演習で発表します。この発表を基に、全員で討論を行い全体の理解を深めていきます。			予習内容(時間)	シラバスの内容を確認する。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分	No2	財務会計の基本原則(2)	「No1」と同じ			予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分	No3	財務会計の基本原則(3)	「No1」と同じ			予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分		財務会計の基本原則(4)	「No1」と同じ		
週	テーマ	学習内容																																																						
No1	財務会計の基本原則(1)	春学期は、財務会計の基本原則に関することを全員で討議する形で進めていきます。具体的には、毎回、報告者が担当範囲についてレジュメを作成し、演習で発表します。この発表を基に、全員で討論を行い全体の理解を深めていきます。																																																						
	予習内容(時間)	シラバスの内容を確認する。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分																																																				
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分																																																				
No2	財務会計の基本原則(2)	「No1」と同じ																																																						
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分																																																				
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分																																																				
No3	財務会計の基本原則(3)	「No1」と同じ																																																						
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分																																																				
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分																																																				
	財務会計の基本原則(4)	「No1」と同じ																																																						

	No4	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No5	財務会計の基本原理(5)	「No1」と同じ		
		予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No6	財務会計の基本原理(6)	「No1」と同じ		
		予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No7	財務会計の基本原理(7)	「No1」と同じ		
		予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No8	財務会計の基本原理(8)	「No1」と同じ		
		予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No9	財務会計の基本原理(9)	「No1」と同じ		
		予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No10	財務会計の基本原理(10)	「No1」と同じ		
		予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No11	財務会計の基本原理(11)	「No1」と同じ		
		予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No12	財務会計の基本原理(12)	「No1」と同じ		
		予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分

【授業計画】

	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No13	財務会計の基本原則(13)	「No1」と同じ		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No14	財務会計の基本原則(14)	「No1」と同じ		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No15	春学期のまとめ	春学期の学修内容の整理と、秋学期に向けた論点の整理		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No16	個別テーマ研究(1)	秋学期は、演習で協議し決定した幾つかのテーマについて、討論を行い演習の意見を形成し、報告を行います。春学期同様、演習では、レジュメを作成し全員で討論を行い、アドバイスや報告の問題点を指摘し、テーマの理解を深めていきます。		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No17	個別テーマ研究(2)	「No16」と同じ		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No18	個別テーマ研究(3)	「No16」と同じ		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No19	個別テーマ研究(4)	「No16」と同じ		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No20	個別テーマ研究(5)	「No16」と同じ		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No21	個別テーマ研究(6)	「No16」と同じ		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分

	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No22	個別テーマ研究(7)	「No16」と同じ		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No23	個別テーマ研究(8)	「No16」と同じ		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No24	個別テーマ研究(9)	「No16」と同じ		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No25	個別テーマ研究(10)	「No16」と同じ		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No26	個別テーマ研究(11)	「No16」と同じ		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No27	個別テーマ研究(12)	「No16」と同じ		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No28	まとめ	ゼミ活動の復習と総括		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	3年
講義名	専門演習 I B-長岐
講義名(英字)	Specialized Seminar I
担当教員	長岐 郁也
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	民法を素材としてディスカッション又はディベートを行う。
【到達目標】	法学の基礎知識を習得する。 ディスカッション、ディベート力を習得する。

	アカデミック・マナーを習得する。										
【履修条件・受講推奨者】	法学Ⅰ、Ⅱ及び民法を履修していること。										
【教育方法】	ソクラテスメソッドによる。										
【指定教科書・参考資料等】	特になし。 適宜、読むべき書籍等については指示をする。										
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力				
	協働力	○	主張力	○	創造力	○					
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法								
	クラスコントリビューション	70	講義に向けた下調べと建設的な発言と講義内で複数回課すこととなる課題の内容で評価する。								
	課題	30									
	合計	100%									
【その他の注意事項】	正当な理由のない5回以上の欠席で除籍とする。また、クラスコントリビューションを重視するので、講義での積極的な発言と真摯に課題に取り組むことを求める。										
	週	テーマ	学習内容								
	No1	ガイダンス	授業の方針とどのようなトピックを取り上げて進めていくかを決める。								
		予習内容(時間)	討議用のトピックの選定をする。						120	分	
		復習内容(時間)	決められたトピックに関する情報を集める。						120	分	
	No2	ディスカッション	決まったトピックに対するディスカッションを行う。								
		予習内容(時間)	決められたトピックに関する情報を集め学習する。						120	分	
		復習内容(時間)	ディスカッションの内容を振り返り、次回に向けた準備を行う。						120	分	
	No3	ディスカッション	決まったトピックに対するディスカッションを行う。								
		予習内容(時間)	決められたトピックに関する追加の情報を集め学習する。						120	分	
		復習内容(時間)	ディスカッションの内容を振り返り、次回に向けた準備を行う。						120	分	
	No4	ディスカッション	決まったトピックに対するディスカッションを行う。								
		予習内容(時間)	決められたトピックに関する追加の情報を集め学習する。						120	分	
		復習内容(時間)	ディスカッションの内容を振り返り、次回に向けた準備を行う。						120	分	
	No5	ディスカッション	決まったトピックに対するディスカッションを行う。								
		予習内容(時間)	決められたトピックに関する追加の情報を集め学習する。						120	分	
		復習内容(時間)	ディスカッションの内容を振り返り、次回に向けた準備を行う。						120	分	
	No6	ディスカッション	決まったトピックに対するディスカッションを行う。								
		予習内容(時間)	決められたトピックに関する追加の情報を集め学習する。						120	分	
		復習内容(時間)	ディスカッションの内容を振り返る。						120	分	
	No7	ディベート	ディベートの方法と進行について概説し、グループ分けを行う。								
		予習内容(時間)	決められたトピックに関する情報を集め学習する。						120	分	

【授業計画】

	復習内容(時間)	ディベートの内容を振り返り、次回に向けた準備を行う。	120	分
No8	ディベート	決まったトピックに対するディベートを行う。		
	予習内容(時間)	決められたトピックに関する追加の情報を集め学習する。	120	分
	復習内容(時間)	ディベートの内容を振り返り、次回に向けた準備を行う。	120	分
No9	ディベート	決まったトピックに対するディベートを行う。		
	予習内容(時間)	決められたトピックに関する追加の情報を集め学習する。	120	分
	復習内容(時間)	ディベートの内容を振り返り、次回に向けた準備を行う。	120	分
No10	ディベート	決まったトピックに対するディベートを行う。		
	予習内容(時間)	決められたトピックに関する追加の情報を集め学習する。	120	分
	復習内容(時間)	ディベートの内容を振り返り、次回に向けた準備を行う。	120	分
No11	ディベート	決まったトピックに対するディベートを行う。		
	予習内容(時間)	決められたトピックに関する追加の情報を集め学習する。	120	分
	復習内容(時間)	ディベートの内容を振り返る。	120	分
No12	ゼミ発表大会に向けて	ゼミ発表大会で発表するテーマについて検討を行う。		
	予習内容(時間)	ゼミ発表大会に向けたテーマを各自で選定する。	120	分
	復習内容(時間)	改めて各自のテーマについて検討する。	120	分
No13	ゼミ発表大会に向けて	各自が提案したテーマについてプレゼン、検討を行う。		
	予習内容(時間)	各自が選ぶテーマについてのプレゼンの資料を作成する。	120	分
	復習内容(時間)	決まったテーマに関する情報を集める。	120	分
No14	春学期の総括	ディスカッション、ディベートを通じて学んだことをまとめる。		
	予習内容(時間)	春学期で学んだことをまとめる。	120	分
	復習内容(時間)	秋学期へ向けた準備を行う。	120	分
No15	ゼミ発表大会に向けて	ゼミ発表大会のテーマの決定を行う。		
	予習内容(時間)	夏季休暇中にゼミ発表大会のテーマを決める。	120	分
	復習内容(時間)	決めたテーマに関する情報を集める。	120	分
No16	ディスカッション	ゼミ発表大会で扱うテーマに対するディスカッションを行う。		
	予習内容(時間)	決められたテーマに関する情報を集め学習する。	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッションの内容を振り返り、次回に向けた準備を行う。	120	分
No17	ディスカッション	ゼミ発表大会で扱うテーマに対するディスカッションを行う。		
	予習内容(時間)	決められたテーマに関する追加の情報を集め学習する。	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッションの内容を振り返り、次回に向けた準備を行う。	120	分
No18	ディスカッション	ゼミ発表大会で扱うトピックに対するディスカッションを行う。		
	予習内容(時間)	決められたテーマに関する追加の情報を集め学習する。	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッションの内容をまとめる。	120	分
No19	裁判所見学	裁判所でいくつかの法廷を傍聴する。		
	予習内容(時間)	裁判所について調べる。	120	分
	復習内容(時間)	傍聴した事件についてまとめる。	120	分
	ディベート	ゼミ発表大会で扱うテーマに対するディベートを行う。		

	No20	予習内容(時間)	決められたテーマに関する追加の情報を集め学習する。	120	分
		復習内容(時間)	ディベートの内容を振り返り、次回に向けた準備を行う。	120	分
	No21	ディベート	ゼミ発表大会で扱うテーマに対するディベートを行う。		
		予習内容(時間)	決められたテーマに関する追加の情報を集め学習する。	120	分
	No22	復習内容(時間)	ディベートの内容をまとめる。	120	分
		ゼミ発表大会に向けて	ゼミ発表大会での予稿の作成を行う。		
	No23	予習内容(時間)	予稿作成に必要な情報をまとめておく。	120	分
		復習内容(時間)	予稿内容をまとめる。	120	分
	No24	ゼミ発表大会に向けて	ゼミ発表大会での予稿の作成を行う。		
		予習内容(時間)	予稿内容をまとめる。	120	分
	No25	復習内容(時間)	発表に向けた準備をする。	120	分
		ディスカッション	決まったトピックに対するディスカッションを行う。		
	No26	予習内容(時間)	決められたテーマに関する情報を集め学習する。	120	分
		復習内容(時間)	ディスカッションの内容を振り返り、次回に向けた準備を行う。	120	分
	No27	ディスカッション	決まったトピックに対するディスカッションを行う。		
		予習内容(時間)	決められたテーマに関する追加の情報を集め学習する。	120	分
	No28	復習内容(時間)	ディスカッションの内容をまとめる。	120	分
		国立ハンセン病資料館見学	ハンセン病に対する国の政策を通じて人権について考える。		
	No29	予習内容(時間)	全生園について調べる。	120	分
		復習内容(時間)	国のハンセン病対策についてまとめる。	120	分
	No30	講義のまとめ			
		予習内容(時間)	一年間の講義の内容を振り返る。	120	分
	No31	復習内容(時間)	次年度の卒論のテーマについて調べる。	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	3年
講義名	専門演習 I B-花尾
講義名(英字)	Specialized Seminar I
担当教員	花尾 由香里
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	消費者行動のさまざまな理論について学び、消費者の心理や行動について分析・考察を行ったうえで、効果的な企業のマーケティング戦略についての立案を行う。春学期は、輪読形式で文献レビューを行っていくとともに、班別での研究活動を進める。秋学期は、実際の消費者行動を分析するとともに、企業側の視点に立ち、マーケティング戦略を立案することを中心的課題とする
【到達目標】	消費者行動やマーケティングを正確に理解し、自分の意見を発表することができる グループディスカッションに積極的に参加し、ユニークなアイデアを創造できる

	研究発表のためのリサーチや資料作成、議論等に積極的に参加し貢献できる							
【履修条件・受講推奨者】	ゼミ選考で許可されたもののみ、受講可							
【教育方法】	対面講義形式 個人発表、グループディスカッション等を行う							
【指定教科書・参考資料等】	教科書は使用しない 必要に応じて資料を配布する							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法			
	消費者行動やマーケティングを正確に理解し、自分の意見を発表することができる	30%	学期末試験は行わない 授業時の発言・発表内容やディスカッション等への貢献を総合的に判断する					
	グループディスカッションに積極的に参加し、ユニークなアイデアを創造できる	30%						
	研究発表のためのリサーチや資料作成、議論等に積極的に参加し貢献できる	40%						
	合計	100%						
【その他の注意事項】								
	週	テーマ	学習内容					
	No1	イントロダクション	授業の進め方や内容について					
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと				120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること				120	分
	No2	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する					
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと				120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること				120	分
	No3	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する					
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと				120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること				120	分
	No4	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する					
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと				120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること				120	分
	No5	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する					
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと				120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること				120	分
	No6	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する					
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと				120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること				120	分

【授業計画】	No7	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
	No8	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
	No9	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
	No10	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
	No11	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
	No12	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
	No13	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
	No14	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
	No15	研究テーマの選定と発表準備	グループ研究のテーマのアイデアを出し、選定する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
	No16	研究テーマの選定と発表準備	グループ研究のテーマのアイデアを出し、選定する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
	No17	研究テーマの選定と発表準備	グループ研究のテーマのアイデアを出し、選定する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
	No18	研究テーマの選定と発表準備	グループ研究のテーマのアイデアを出し、選定する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
	No19	資料作成と発表準備	グループ研究発表のための情報収集、資料作成、練習等を行う		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分

		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
		資料作成と発表準備	グループ研究発表のための情報収集、資料作成、練習等を行う		
No20		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
		資料作成と発表準備	グループ研究発表のための情報収集、資料作成、練習等を行う		
No21		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
		資料作成と発表準備	グループ研究発表のための情報収集、資料作成、練習等を行う		
No22		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
		資料作成と発表準備	グループ研究発表のための情報収集、資料作成、練習等を行う		
No23		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
		資料作成と発表準備	グループ研究発表のための情報収集、資料作成、練習等を行う		
No24		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
		資料作成と発表準備	グループ研究発表のための情報収集、資料作成、練習等を行う		
No25		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
		資料作成と発表準備	グループ研究発表のための情報収集、資料作成、練習等を行う		
No26		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
		研究発表と意見交換	研究の成果を発表し、意見や改善点などを話し合う		
No27		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
		研究発表と意見交換	研究の成果を発表し、意見や改善点などを話し合う		
No28		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	3年
講義名	専門演習 I B-広瀬
講義名(英字)	Specialized Seminar I
担当教員	広瀬 盛一
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	オンラインやデジタルに関するマーケティングやマーケティング・コミュニケーション活動を研究テーマとして取り上げる。研究論文をはじめとする研究資料の輪読、図書館やデータベースの活用といった資料探索、データの分析についての基本的な能力の習得、研究内容のまとめや発表の方法などを、グループワークを通じて学習する。
【到達目標】	研究資料を読んで内容を理解できるようになる 研究に必要な資料を探して分析できるようになる

	周囲と協力しながら研究を進められるようになる							
【履修条件・受講推奨者】	広告やマーケティングの関連領域に興味があり、他人との共同作業ができ、コンピュータのリテラシーがあることが望ましい。							
【教育方法】	資料の探し方や読み方、内容についての議論、研究テーマを分析する能力を、論文の輪読、量的調査の実施などを通じて学ぶ。原則としてグループワークによって作業を進める。							
【指定教科書・参考資料等】	特になし。							
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法					
	研究資料の内容理解	35%	出席を前提として研究発表や共同作業の様子から判断する。					
	研究手法の理解	30%						
	研究における共同作業	35%						
	合計	100%						
【その他の注意事項】								
	週	テーマ	学習内容					
	No1	ガイダンス	授業の進め方と自己紹介					
		予習内容(時間)	シラバスを読んでおく				120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする				120	分
	No2	アイスブレイク(1)	ゼミのメンバーの相互理解を深める					
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく				120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする				120	分
	No3	アイスブレイク(2)	ゼミのメンバーの相互理解を深める					
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく				120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする				120	分
	No4	資料検索の方法について(1)	図書館やオンラインでの資料検索について学ぶ					
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく				120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする				120	分
	No5	資料の検索について(2)	図書館やオンラインでの資料検索について学ぶ					
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく				120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする				120	分
	No6	研究テーマの検討(1)	資料を探索やディスカッションを通じて研究テーマの検討をする。					
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく				120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする				120	分
	No7	研究テーマの検討(2)	資料を探索やディスカッションを通じて研究テーマの検討をする。					
予習内容(時間)		資料に目を通しておく				120	分	

【授業計画】

	復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
No8	事例研究(1)	関連するテーマの事例について学ぶ。		
	予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
No9	研究テーマの検討(3)	資料を探索やディスカッションを通じて研究テーマの検討をする。		
	予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
No10	研究テーマの検討(4)	資料を探索やディスカッションを通じて研究テーマの検討をする。		
	予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
No11	研究計画作成(1)	決定した研究テーマに沿って研究計画を立案する。		
	予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
No12	研究計画作成(2)	決定した研究テーマに沿って研究計画を立案する。		
	予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
No13	研究計画作成(3)	決定した研究テーマに沿って研究計画を立案する。		
	予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
No14	研究計画作成(4)	決定した研究テーマに沿って研究計画を立案する。		
	予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
No15	研究計画実施(1)	立案した研究計画を実施する。		
	予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
No16	研究計画実施(2)	立案した研究計画を実施する。		
	予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
No17	研究計画実施(3)	立案した研究計画を実施する。		
	予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
No18	研究計画実施(4)	立案した研究計画を実施する。		
	予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
No19	研究計画実施(5)	立案した研究計画を実施する。		
	予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	研究計画実施(6)	立案した研究計画を実施する。		

	No20	予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No21	研究計画実施(7)	立案した研究計画を実施する。		
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No22	研究計画実施(8)	立案した研究計画を実施する。		
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No23	研究計画実施(9)	立案した研究計画を実施する。		
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No24	研究計画実施(10)	立案した研究計画を実施する。		
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No25	研究成果発表(1)	実施した研究成果を発表する。		
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No26	研究成果発表(2)	実施した研究成果を発表する。		
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No27	研究成果発表(3)	実施した研究成果を発表する。		
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No28	まとめ	活動全体を振り返る。		
		予習内容(時間)	資料に目を通しておく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	3年
講義名	専門演習 I B-深澤
講義名(英字)	Specialized Seminar I
担当教員	深澤 琢也
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	近年、日米欧をはじめとした先進諸国の小売・流通企業は自国の市場の成熟化を受け、新興諸国市場への国際展開を積極的に行っている。本演習では、コンビニエンス・ストアやスーパーマーケットなどの小売・流通企業を中心に、グローバルな視点でこれら企業のマーケティング戦略に関する諸処の問題についての基礎的知識の習得を目標とする。
【到達目標】	研究発表に必要な基本的スキルを身につけていること グローバルビジネスに関する学術書を読み、文献レビューを行えること

	ディスカッションにおいて自分の意見を発言できること							
【履修条件・受講推奨者】	本セミナーは、履修生の自発的な学習が重要になります。毎週履修者が分担して、課題報告をすることが求められますので、出席はもちろんのこと、そうした課題をこなす自信とやる気がある履修者でなければ単位修得は困難かと思われます。ただし、やる気のある学生、将来海外で働いてみたい、国内で就職しても海外に携わる仕事をしてみたいという学生はこのセミナーで得るものは大きいでしょう。通常の授業とは異なりますので、自ら学習の意思がある学生のための履修を求めます。							
【教育方法】	履修者によるグループワークに対する研究指導							
【指定教科書・参考資料等】	なし							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法			
	研究発表に必要な基本的スキルを身につけていること			25%	各回のゼミナルへの積極的参加度を評価する。			
	グローバルビジネスに関する学術書を読み、文献レビューを行えること			25%				
	ディスカッションにおいて自分の意見を発言できること			50%				
	合計			100%				
【その他の留意事項】	履修条件・受講推奨者に記載されたことに同意した学生のみ履修を許可する。							
	週	テーマ	学習内容					
	No1	研究のテーマ設定と準備(春学期通して)	・研究発表レジュメの作成およびそのプレゼンテーションの練習 ・国際流通論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・各種データおよび資料の調査方法の習得 ・小売・流通企業の国際展開に関する現状と課題の把握					
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備				120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理				120	分
	No2	研究のテーマ設定と準備(春学期通して)	・研究発表レジュメの作成およびそのプレゼンテーションの練習 ・国際流通論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・各種データおよび資料の調査方法の習得 ・小売・流通企業の国際展開に関する現状と課題の把握					
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備				120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理				120	分
	No3	研究のテーマ設定と準備(春学期通して)	・研究発表レジュメの作成およびそのプレゼンテーションの練習 ・国際流通論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・各種データおよび資料の調査方法の習得 ・小売・流通企業の国際展開に関する現状と課題の把握					
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備				120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理				120	分
	No4	研究のテーマ設定と準備(春学期通して)	・研究発表レジュメの作成およびそのプレゼンテーションの練習 ・国際流通論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・各種データおよび資料の調査方法の習得 ・小売・流通企業の国際展開に関する現状と課題の把握					
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備				120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理				120	分
	No5	研究のテーマ設定と準備(春学期通して)	・研究発表レジュメの作成およびそのプレゼンテーションの練習 ・国際流通論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・各種データおよび資料の調査方法の習得 ・小売・流通企業の国際展開に関する現状と課題の把握					
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備				120	分

【授業計画】

		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
No6	研究のテーマ設定と準備 (春学期通して)	・研究発表レジュメの作成およびそのプレゼンテーションの練習 ・国際流通論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・各種データおよび資料の調査方法の習得 ・小売・流通企業の国際展開に関する現状と課題の把握			
	予習内容(時間)	次回ゼミの準備		120	分
	復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理		120	分
No7	研究のテーマ設定と準備 (春学期通して)	・研究発表レジュメの作成およびそのプレゼンテーションの練習 ・国際流通論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・各種データおよび資料の調査方法の習得 ・小売・流通企業の国際展開に関する現状と課題の把握			
	予習内容(時間)	次回ゼミの準備		120	分
	復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理		120	分
No8	研究のテーマ設定と準備 (春学期通して)	・研究発表レジュメの作成およびそのプレゼンテーションの練習 ・国際流通論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・各種データおよび資料の調査方法の習得 ・小売・流通企業の国際展開に関する現状と課題の把握			
	予習内容(時間)	次回ゼミの準備		120	分
	復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理		120	分
No9	研究のテーマ設定と準備 (春学期通して)	・研究発表レジュメの作成およびそのプレゼンテーションの練習 ・国際流通論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・各種データおよび資料の調査方法の習得 ・小売・流通企業の国際展開に関する現状と課題の把握			
	予習内容(時間)	次回ゼミの準備		120	分
	復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理		120	分
No10	研究のテーマ設定と準備 (春学期通して)	・研究発表レジュメの作成およびそのプレゼンテーションの練習 ・国際流通論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・各種データおよび資料の調査方法の習得 ・小売・流通企業の国際展開に関する現状と課題の把握			
	予習内容(時間)	次回ゼミの準備		120	分
	復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理		120	分
No11	研究のテーマ設定と準備 (春学期通して)	・研究発表レジュメの作成およびそのプレゼンテーションの練習 ・国際流通論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・各種データおよび資料の調査方法の習得 ・小売・流通企業の国際展開に関する現状と課題の把握			
	予習内容(時間)	次回ゼミの準備		120	分
	復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理		120	分
No12	研究のテーマ設定と準備 (春学期通して)	・研究発表レジュメの作成およびそのプレゼンテーションの練習 ・国際流通論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・各種データおよび資料の調査方法の習得 ・小売・流通企業の国際展開に関する現状と課題の把握			
	予習内容(時間)	次回ゼミの準備		120	分
	復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理		120	分
No13	研究のテーマ設定と準備 (春学期通して)	・研究発表レジュメの作成およびそのプレゼンテーションの練習 ・国際流通論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・各種データおよび資料の調査方法の習得 ・小売・流通企業の国際展開に関する現状と課題の把握			
	予習内容(時間)	次回ゼミの準備		120	分
	復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理		120	分
No14	研究のテーマ設定と準備 (春学期通して)	・研究発表レジュメの作成およびそのプレゼンテーションの練習 ・国際流通論、国際マーケティング論に関する基本的文献の輪読 ・各種データおよび資料の調査方法の習得 ・小売・流通企業の国際展開に関する現状と課題の把握			
	予習内容(時間)	次回ゼミの準備		120	分

[illegible]

	No26	研究の完成とプレゼンテーション(秋学期通して)	・春学期の基本的文献の輪読からの学習、レジュメ作成およびプレゼンテーションから 培った能力をベースに、研究レポートを学内および学外に向けて発信することを目的 とする。		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No27	研究の完成とプレゼンテーション(秋学期通して)	・春学期の基本的文献の輪読からの学習、レジュメ作成およびプレゼンテーションから 培った能力をベースに、研究レポートを学内および学外に向けて発信することを目的 とする。		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No28	研究の完成とプレゼンテーション(秋学期通して)	・春学期の基本的文献の輪読からの学習、レジュメ作成およびプレゼンテーションから 培った能力をベースに、研究レポートを学内および学外に向けて発信することを目的 とする。		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	3年
講義名	専門演習 I B-藤森
講義名(英字)	Specialized Seminar I
担当教員	藤森 大祐
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	主に以下のテーマについて研究し、ディスカッション、プレゼンテーション、レポート作成を行う。①企業による環境問題の解決、環境ビジネス ②企業のSDGsへの取り組み ③ビジネスによる地域活性化。場合によっては、外部に演習に出かけることもある。
【到達目標】	環境問題やSDGsに関する基礎的な知識の理解 ソーシャルビジネスに関する理解

	ディスカッションとプレゼンテーション能力の向上										
【履修条件・受講推奨者】	あらゆる活動に積極的に取り組むとともに、メンバーシップを大切にできる人に履修してもらいたい。										
【教育方法】	プレゼンテーション、ディスカッション、地域活性化の活動										
【指定教科書・参考資料等】	特になし。必要に応じて適宜紹介する。										
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○			
	協働力	○	主張力	○	創造力	○					
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法						
	環境問題やSDGsやソーシャルビジネスに関する基礎的な知識を理解している		30%	問題設定、調査、ディスカッション、プレゼンテーション、および各種ゼミ活動への主体的な取り組みなどから総合的に評価する。							
	ディスカッションとプレゼンテーション能力の向上		30%								
	地域活性化の活動に積極的かつ創造的に取り組んでいる		40%								
	合計		100%								
【その他の注意事項】	特になし。										
	週	テーマ		学習内容							
	No1	ガイダンス		今後の進め方、評価方法の周知。メンバーとのコミュニケーション。希望や意見の聴取。							
		予習内容(時間)		講義資料を事前にチェックし、わからない点を調べておく。						120	分
		復習内容(時間)		講義を振り返り、課題に取り組む。						120	分
	No2	研究テーマの検討		ディスカッションを通じて研究テーマを検討する。							
		予習内容(時間)		研究テーマの検討						120	分
		復習内容(時間)		研究テーマの検討						120	分
	No3	研究テーマの決定		ディスカッションを通じて研究テーマを決定する。							
		予習内容(時間)		研究テーマの検討						120	分
		復習内容(時間)		決定したテーマについて調査を進める。						120	分
	No4	調査・ディスカッション		決定したテーマについて、グループに分かれて調査し、ディスカッションを繰り返す							
		予習内容(時間)		研究テーマについて調査を進める						120	分
		復習内容(時間)		研究テーマについて調査を進める						120	分
	No5	調査・ディスカッション		決定したテーマについて、グループに分かれて調査し、ディスカッションを繰り返す							
		予習内容(時間)		研究テーマについて調査を進める						120	分
		復習内容(時間)		研究テーマについて調査を進める						120	分
	No6	調査・ディスカッション		決定したテーマについて、グループに分かれて調査し、ディスカッションを繰り返す							
		予習内容(時間)		研究テーマについて調査を進める						120	分
		復習内容(時間)		研究テーマについて調査を進める						120	分
	No7	調査・ディスカッション		決定したテーマについて、グループに分かれて調査し、ディスカッションを繰り返す							
		予習内容(時間)		研究テーマについて調査を進める						120	分

【授業計画】

	復習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
No8	中間報告	これまでの調査内容をグループごとに中間発表し、互いにアドバイスをする。		
	予習内容(時間)	中間報告の準備	120	分
	復習内容(時間)	中間報告を受けて、さらに調査を進める	120	分
No9	調査・ディスカッション	決定したテーマについて、グループに分かれて調査し、ディスカッションを繰り返す		
	予習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
	復習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
	調査・ディスカッション	決定したテーマについて、グループに分かれて調査し、ディスカッションを繰り返す		
No10	予習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
	復習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
	調査・ディスカッション	決定したテーマについて、グループに分かれて調査し、ディスカッションを繰り返す		
	予習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
No11	復習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
	調査・ディスカッション	決定したテーマについて、グループに分かれて調査し、ディスカッションを繰り返す		
	予習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
	復習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
No12	調査・ディスカッション	決定したテーマについて、グループに分かれて調査し、ディスカッションを繰り返す		
	予習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
	復習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
	調査・ディスカッション	決定したテーマについて、グループに分かれて調査し、ディスカッションを繰り返す		
No13	予習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
	復習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
	調査・ディスカッション	決定したテーマについて、グループに分かれて調査し、ディスカッションを繰り返す		
	予習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
No14	復習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
	半期の総括	これまでの内容を振り返り、秋学期に向けての課題を検討する。		
	予習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
	復習内容(時間)	秋学期に向けての課題をまとめておく	120	分
No15	ゼミ発表大会に向けて計画を組む	春学期までの研究をゼミ発表大会用にまとめる計画を組んで、準備を始める		
	予習内容(時間)	春学期の内容を確認し、秋学期の活動の確認をしておく	120	分
	復習内容(時間)	発表のための準備を進める	120	分
	ゼミ発表大会の準備	ゼミ発表大会に向けて各グループで準備を進める		
No16	予習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
	復習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
	ゼミ発表大会の準備	ゼミ発表大会に向けて各グループで準備を進める		
	予習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
No17	復習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
	ゼミ発表大会の準備	ゼミ発表大会に向けて各グループで準備を進める		
	予習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
	復習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
No18	ゼミ発表大会の準備	ゼミ発表大会に向けて各グループで準備を進める		
	予習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
	復習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
	ゼミ発表大会の準備	ゼミ発表大会に向けて各グループで準備を進める		
No19	予習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
	復習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
	ゼミ発表大会の準備	ゼミ発表大会に向けて各グループで準備を進める		
	予習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分

	No20	予習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
	No21	ゼミ発表大会の準備	ゼミ発表大会に向けて各グループで準備を進める		
		予習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
	No22	ゼミ発表大会の準備	ゼミ発表大会に向けて各グループで準備を進める		
		予習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
	No23	ゼミ発表大会の準備	ゼミ発表大会に向けて各グループで準備を進める		
		予習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
	No24	ゼミ発表大会の準備	ゼミ発表大会に向けて各グループで準備を進める		
		予習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミ発表大会の振り返り	120	分
	No25	研究テーマのまとめ	研究テーマのまとめを各グループで行う。		
		予習内容(時間)	研究テーマのまとめ。	120	分
		復習内容(時間)	研究テーマのまとめ。	120	分
	No26	研究テーマのまとめ	研究テーマのまとめを各グループで行う。		
		予習内容(時間)	研究テーマのまとめ。	120	分
		復習内容(時間)	研究テーマのまとめ。	120	分
	No27	研究テーマのまとめ	研究テーマのまとめを各グループで行う。		
		予習内容(時間)	研究テーマのまとめ。	120	分
		復習内容(時間)	研究テーマのまとめ。	120	分
	No28	これまでの調査・研究・活動の総括	1年間の活動を振り返り、各自でレポートをまとめる。		
		予習内容(時間)	1年間の活動を振り返り、各自でレポートをまとめる作業。	120	分
		復習内容(時間)	最終的なレポートの提出。	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	3年
講義名	専門演習 I B-松田
講義名(英字)	Specialized Seminar I
担当教員	松田 岳
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	日本経済は長期にわたる低成長や高齢化による労働力の減少、財政赤字、国際競争力低下など複数の構造的な問題を抱えています。日本経済が抱える課題を解決するのは、政府だけに与えられた責務ではありません。企業が生産する財やサービスこそが社会が発展する原動力であると同時に、その革新が社会問題の解決に貢献することもあります。わたしたち家計は株式投資を通じて企業を資金面からバックアップすることで、課題解決の促進に貢献することができます。松田ゼミでは「金もうけの手段」を超えたところにある株式投資の意義やリスクを学修します。仮想的に株式投資を体験することで、日本政府が求める「貯蓄から投資へ」を実践的に学びます。
	金融と経済の関係について理解し、説明できるようになること。

【到達目標】	ポートフォリオについて理解し、自らそれを組成できるようになること。									
	投資指標について理解し、論理的に投資銘柄が選択できるようになること。									
【履修条件・受講推奨者】	能動的・主体的な学修態度、協調的な姿勢、絶対に欠席しない自己制御力を有する者									
【教育方法】	大学設置基準に定められている予習・復習を学生が行うことを前提として、授業を行う。授業は教員による講義、学生たちによる報告、質疑応答から構成されている。									
【指定教科書・参考資料等】	指定教科書はない。参考資料は適宜授業内で紹介する。									
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○		
	協働力	○	主張力	○	創造力	○				
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法					
	報告タスクに対して主体的、能動的に取り組んだか否か		80%		毎週の報告内容、準備作業、授業当日の質疑応答から総合的に評価を行う。					
	他者からの質問に冷静かつ論理的に対応できたか否か		10%							
	他者の報告の傾聴、課題の発見、建設的な意見の提案		10%							
	合計		100%							
【その他の注意事項】	1)大学のメールアドレスとパスワードは授業参加に不可欠なので忘れないこと。2)コースパワーの情報を小まめに確認すること。3)5回以上欠席すると評価対象外になる。									
	週	テーマ	学習内容							
	No1	ガイダンス:本学における専門演習の位置付け、到達目標、教授方法、評価方法を確認する。	本学のカリキュラムにおける本科目の位置付け、基礎演習・プロフェッショナルセミナー・専門演習の関係、本科目の全体テーマ、皆さんが目指すべき到達目標について理解していただきます。また、本科目の評価対象と評価基準、本科目の出欠確認方法、評価対象外となる基準などについて説明します。グループ(3名から5名の範囲内で設定)で演習を行う際のグループ分けについて説明し、学生たちには自己紹介やアンケートへの回答をしていただきます。							
		予習内容(時間)	シラバスの内容に目を通し、1年間の授業の流れを事前に把握しておくこと。						180	分
		復習内容(時間)	ガイダンスの内容を思い起こし、疑問点などが無いか振り返っておくこと。						60	分
	No2	個人面談1:ゼミ生の半数について、今年度の実務IQを養成するためのプランニングを支援する。	学生たち自身が自分の特性について考え、実務IQ(親和力・協働力・統率力、感情制御力・自信創出力・行動持続力、課題発見力・計画立案力・実践力)のうち伸ばしたい「力」を選定してもらいます。選定した実務IQごとに、それを伸ばす方法は異なります。担当教員から実務IQを伸ばすためにどのような努力をすべきか、いくつかのメニューを提示します。学生はそのメニューの中から自分にできそうな努力の方法を選び、今年度一年間の活動目標とします。							
		予習内容(時間)	実務IQの成長目標を設定すると同時に、自己PRや将来計画についても検討する。						180	分
		復習内容(時間)	個人面談の結果を踏まえ、1年間の具体的な学修計画、生活目標を設定する。						60	分
	No3	個人面談2:ゼミ生の半数について、今年度の実務IQを養成するためのプランニングを支援する。	学生たち自身が自分の特性について考え、実務IQ(親和力・協働力・統率力、感情制御力・自信創出力・行動持続力、課題発見力・計画立案力・実践力)のうち伸ばしたい「力」を選定してもらいます。選定した実務IQごとに、それを伸ばす方法は異なります。担当教員から実務IQを伸ばすためにどのような努力をすべきか、いくつかのメニューを提示します。学生はそのメニューの中から自分にできそうな努力の方法を選び、今年度一年間の活動目標とします。							
		予習内容(時間)	実務IQの成長目標を設定すると同時に、自己PRや将来計画についても検討する。						180	分
		復習内容(時間)	個人面談の結果を踏まえ、1年間の具体的な学修計画、生活目標を設定する。						60	分
	No4	日経STOCKリーグ1:過去の入賞レポートを通読する。	松田ゼミ(専門演習)は日経STOCKリーグに参加します。日経STOCKリーグでは、教材を活用した経済・株式投資の勉強やバーチャル投資システムを用いて投資の体験に加え、チーム内で決定した投資テーマに沿って、10銘柄以上20銘柄以下、合計500万円分のポートフォリオを組成し、その目的、銘柄選択の理由などをレポートにまとめ、提出します。イベントの全体像を理解するために、過去の入賞レポートを1本通読します。							
		予習内容(時間)	授業の中で与えられた次週に向けた課題に取り組み、報告などの準備作業を行う。						180	分
		復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。						60	分

No5	日経STOCKリーグ2: 「投資テーマ選定の 背景」についての検 討	まずは、投資テーマを選定するに際して、日本社会が抱える課題をゼミ生全員で洗い出します。人口減少(労働力不足、少子高齢化)、低成長、財政赤字、社会保障(医療、年金、介護など)、国際競争力の低下(情報通信、半導体、電気自動車などで遅れ)、国土強靱化(地震や災害のリスクから国土をどう守るか)など課題を挙げればキリがありません。柔軟な発想でできるだけ多くの課題を洗い出すとともに、最も重要な課題は何かについて話し合ってください。		
	予習内容(時間)	授業の中で与えられた次週に向けた課題に取り組み、報告などの準備作業を行う。	180	分
	復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分
No6	日経STOCKリーグ3: 「投資テーマ選定の 背景」のレポート執筆	すべての投資テーマをカバーするようなポートフォリオを組むことはできません。そこでチーム(3名以上5名以下で構成されます)ごとに話し合い、投資テーマを一つに絞り込んでいただきます。日経STOCKリーグで投資テーマとして選ばれることが多いのは「ESG・SDGs」「先端技術・テクノロジー・AI」「IT・インターネット・情報・SNS」「医療・福祉・介護・健康」などです。投資テーマが決定したら、その背景・現状を調査し、レポートにまとめます。		
	予習内容(時間)	授業の中で与えられた次週に向けた課題に取り組み、報告などの準備作業を行う。	180	分
	復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分
No7	実務IQの育成1:学生 一人当たり1万円の 利益を出すための模 擬店の事業計画書 を作成する。	個人面談の際に設定した「伸ばしたい実務IQ」を実際に成長させる機会として、松田ゼミとして文化祭に模擬店を出店します。2日間の経営で学生一人あたり1万円の利益獲得を目標に設定し、それを実現するための事業計画書を各ゼミ生が作成します。なお、事業計画書には事業概要(取扱商品・サービス)、セールスポイント、営業戦略、社会的背景、生産・販売体制、開業資金の調達、売上計画を含めなければなりません。		
	予習内容(時間)	経営目標を達成させるための商品設計や営業戦略の構想を事前に練っておく。	180	分
	復習内容(時間)	学修した事業計画書の内容を踏まえ、自らの事業計画の具体化をすすめる。	60	分
No8	実務IQの育成2:各学 生が模擬店の事業計 画書をプレゼンし、最 も優れた事業計画書 を選び出す。	事業概要(取扱商品・サービス)、セールスポイント、営業戦略、社会的背景、生産・販売体制、開業資金の調達、売上計画を含む事業計画書を、各ゼミ生が皆の前でプレゼンし、最も優れた事業計画の一つを選択します。選択された事業計画に基づいて、文化祭当日までの具体的な事業準備のスケジュールングも併せて行っていただきます。文化祭はあくまでも実務IQを伸ばす手段にすぎないので、実務IQを伸ばすことを心がけながら文化祭の準備作業に臨むことが大切です。		
	予習内容(時間)	事業計画書として必要な項目をすべて満たした事業計画のプレゼンを作成する。	180	分
	復習内容(時間)	プレゼンの結果選ばれた事業計画書に目を通し、不足点・改善点について検討する。	60	分
No9	日経STOCKリーグ4: 「投資テーマの選定と その理由」について の検討	「ESG・SDGs」「先端技術・テクノロジー・AI」「IT・インターネット・情報・SNS」「医療・福祉・介護・健康」「衣食住」「人材・雇用・教育・ダイバーシティ」「資源・エネルギー」など投資テーマの選定が完了したら、そのテーマを選定した理由について検討していただきます。なぜそのテーマを選択したのかという問いは、なぜその社会課題の解決が喫緊の課題であるのかという問いに通じる問題です。選択肢た課題を解決する必要性について検討してください。		
	予習内容(時間)	授業の中で与えられた次週に向けた課題に取り組み、報告などの準備作業を行う。	180	分
	復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分
No10	日経STOCKリーグ5: 「投資テーマの選定と その理由」のレポート 執筆	投資テーマとそのテーマを選定した理由についてレポートを執筆します。数多く存在する課題の中から、その投資テーマに最高のプライオリティを与えた理由について述べる必要があります。その際、松田ゼミが選んだ社会課題が解決されると、現在の日本経済や世界経済、あるいは10年後、30年後の日本経済や世界経済にどのようなプラスの効果がもたらされるのか、その課題の解決が日本経済の発展・成長にどのようにつながるのか、論理的に主張を展開する必要があります。		
	予習内容(時間)	授業の中で与えられた次週に向けた課題に取り組み、報告などの準備作業を行う。	180	分
	復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分
No11	日経STOCKリーグ6: 「調査研究、フィール ドワーク、アンケート」 についての検討	無数の企業の中から投資先企業を絞り込むためには、絞り込むための視点が必要です。その視点を得るために、投資テーマを深く掘り下げる調査研究は欠かせません。そのためまずは、インターネットや書籍を通じて投資先企業や投資テーマそのものの調査研究を行います。また、実際に企業を訪問してのインタビューや、電話取材、オンラインインタビューなどが可能かどうかを検討します。さらには、社会調査の一種であるアンケート調査の実行も検討します。		
	予習内容(時間)	授業の中で与えられた次週に向けた課題に取り組み、報告などの準備作業を行う。	180	分
	復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分
No12	日経STOCKリーグ7: 「調査研究、フィール ドワーク、アンケート」 の実施準備	調査研究、フィールドワーク(会社訪問など)、アンケート調査の方針が決まったら、その実施準備を行います。ゼミ生のメンバーがそれぞれの実務IQに応じて役割を分担し、資料集め、訪問先へのアポイントメント、インタビュー項目の精査・決定、アンケート対象者の選定と実施方法の決定、それぞれの調査に必要な予算の見積もりなどを行います。もし、調査研究、フィールドワーク、アンケートを実施するのであれば、長期休暇中に集中的に行う予定です。		
	予習内容(時間)	授業の中で与えられた次週に向けた課題に取り組み、報告などの準備作業を行う。	180	分
	復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分
	日経STOCKリーグ8: 「スクリーニング」につ いての検討	調査研究、フィールドワーク、アンケートを通じて投資先企業を絞り込む視点を獲得した後に、投資先企業の絞り込み(スクリーニング)を行います。日経STOCKリーグでは国内の証券取引所に上場されている銘柄と日経アジア300銘柄が投資対象銘柄です。約4,000銘柄の中から10～20銘柄に絞り込むために、先の調査で獲得した視点や投資テーマに沿った投資対象業種の絞り込みを行うと同時に、定量的分析・定性的分析の手法について学修		

【授業計画】	No13		します。		
		予習内容(時間)	授業の中で与えられた次週に向けた課題に取り組み、報告などの準備作業を行う。	180	分
		復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分
	No14	日経STOCKリーグ9:「スクリーニング」の実践	定量的分析とは、数値や数量などのデータをもとに分析することです。収益性、効率性、安全性、生産性、成長性などを考慮します。一方、定性的分析とは、数字では表せない情報やデータをもとに分析することです。ホームページや、新聞、企業訪問などで得られた情報を考慮して、投資対象銘柄の絞り込みに活かします。10～20銘柄に絞り込んだ後に、これら銘柄で組み上げられたポートフォリオが投資テーマに沿っているかどうかの最終確認を行います。		
		予習内容(時間)	授業の中で与えられた次週に向けた課題に取り組み、報告などの準備作業を行う。	180	分
		復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分
	No15	日経STOCKリーグ10:「投資資金の配分/投資のタイミング」についての検討	日経STOCKリーグでは10銘柄以上20銘柄以下でポートフォリオを構築する必要がありますが、予算には500万円という制約があります。この制約の範囲内で、どの銘柄にどの程度投資資金を配分するかを判断する必要があります。予算に上限がある状況下で、受け入れられるリスクの範囲内で最も大きなリターンが得られそうなポートフォリオを構築するべく、株式投資の効率的フロンティア理論について学修します。		
		予習内容(時間)	授業の中で与えられた次週に向けた課題に取り組み、報告などの準備作業を行う。	180	分
		復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分
	No16	日経STOCKリーグ11:「投資資金の配分/投資のタイミング」のレポート執筆	NSE Stock Trading Contestとは異なり、日経STOCKリーグではポートフォリオの運用結果は問われません(1日に取引可能な売買件数は売買合計で50件です)。そのため投資テーマに沿ったポートフォリオであれば売買するタイミングは問われませんが、購入するタイミングは合理的なタイミングを設定しておく必要があります。株価のチャートをテクニカルに分析し、購入のタイミングを決める方法を学修します。		
		予習内容(時間)	授業の中で与えられた次週に向けた課題に取り組み、報告などの準備作業を行う。	180	分
		復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分
	No17	日経STOCKリーグ12:「ポートフォリオ紹介/投資家へのアピール」についての検討	10銘柄以上20銘柄以下で構成される松田ゼミのポートフォリオが完成したら、ポートフォリオを構成するそれぞれの銘柄を端的に紹介する「説明書」を作成します。なぜ、その銘柄をポートフォリオに組み込む必要があるのか、その銘柄(企業)が成長すると社会課題の解決にどのように役立つのか、松田ゼミが設定した投資テーマにさかのぼってその理由を説明します。また、銘柄に対する投資比率はどのような論理で決定されたのかについても説明を加えます。		
		予習内容(時間)	授業の中で与えられた次週に向けた課題に取り組み、報告などの準備作業を行う。	180	分
		復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分
	No18	日経STOCKリーグ13:「ポートフォリオ紹介/投資家へのアピール」のレポート執筆	松田ゼミが組成したポートフォリオは500万円で構成されるファンドに過ぎませんが、ポートフォリオに貫かれている哲学(投資テーマ)に多くの投資家が賛同すれば、ファンドの規模を巨大化し、社会課題の解決を加速させることが可能になります。一般の投資家にも松田ゼミのポートフォリオを支持してもらえるように、ポートフォリオの目的や特色、期待されるリターンなどについての説明書(目論見書)を執筆します。		
		予習内容(時間)	授業の中で与えられた次週に向けた課題に取り組み、報告などの準備作業を行う。	180	分
		復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分
	No19	日経STOCKリーグ14:レポートの最終取りまとめ	日経STOCKリーグでは最終的に最大で30枚以内(A4、最低枚数は定められていない)のレポートを提出する必要があります。1年間のゼミ活動で執筆してきた「投資テーマ選定の背景」「投資テーマの選定とその理由」「調査研究、フィールドワーク、アンケート」「スクリーニング」「投資資金の配分/投資のタイミング」「ポートフォリオ紹介/投資家へのアピール」の各レポートを結合させて、体裁を整え、最終レポートとして提出します。		
		予習内容(時間)	授業の中で与えられた次週に向けた課題に取り組み、報告などの準備作業を行う。	180	分
		復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分
	No20	ゼミ発表大会準備1:ゼミ発表大会に向けた役割分担を決定する。	日経STOCKリーグのレポートを題材としてゼミ発表大会の準備を行います。プレゼンテーションの時間は20分しかないで、プレゼンターは4名、1人当たり5分のプレゼンテーションを担当することとします。プレゼンターはTEDなどの動画素材を視聴し、あるべきプレゼンのシミュレーションを行い、他の者は原稿とスライドの作成に従事します。役割分担はじゃんけんなど必然性の無い方法で決めるのではなく、学生各自の実務IQに合わせて決定します。		
		予習内容(時間)	授業の中で与えられた次週に向けた課題に取り組み、報告などの準備作業を行う。	180	分
		復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分
	No21	ゼミ発表大会準備2:ゼミ発表大会の原稿を作成する。	プレゼンテーションのスピーチの速度は1分間300文字程度がベストですので、20分間で6,000文字程度の原稿を作成します。まず、原稿作成担当者が日経STOCKリーグのレポートを6,000文字程度に要約します。その後、実際に要約した文章を読み通してみ、聴衆にとって論理の飛躍を感じる箇所がないか、金融や経済の知識が無い一般の大学生でも意味が理解できる内容になっているかの確認を行い、原稿の修正と読み通しを繰り返します。		
		予習内容(時間)	授業の中で与えられた次週に向けた課題に取り組み、報告などの準備作業を行う。	180	分
		復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分

	No22	ゼミ発表大会準備3: 原稿の内容を伝えるのに必要なスライドを準備する。	ゼミ発表大会のプレゼンテーション原稿が完成したら、それに合わせてスライドを作成します。プレゼン時間は20分ですので、10枚から20枚程度のスライドを準備します。スライドは図やグラフなどを用い、短い時間でも直感的に伝わるような体裁の工夫を行います。プレゼンの時間が短いのでスライドの文字数やアニメーションは必要最低限のものに留めます。原稿の内容と見比べ、必要十分な情報がスライドに盛り込まれているか、情報の取捨選択を繰り返します。		
		予習内容(時間)	授業の中で与えられた次週に向けた課題に取り組み、報告などの準備作業を行う。	180	分
		復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分
	No23	ゼミ発表大会準備4: 原稿とスライドを用いて予行演習を実施する。	ゼミ発表大会の原稿とスライドが完成したら、予行演習を行います。プレゼンター4名とスライド操作担当者1名が時間を計測しながらプレゼンを行います。プレゼンターは原稿に読みにくいポイント、必ず囁んでしまう箇所があれば原稿の修正を最後まで繰り返します。スライド操作担当者は原稿のどの部分でスライドを操作すべきなのか、原稿に印を付けていきます。他のゼミ生はプレゼンに聞きにくい部分、わかりにくい部分がないか、聴衆としての役割を果たします。		
		予習内容(時間)	授業の中で与えられた次週に向けた課題に取り組み、報告などの準備作業を行う。	180	分
		復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分
	No24	ゼミ発表大会準備5: 原稿とスライドの最終調整を実施する。	聴衆役の学生からのフィードバックを踏まえて、プレゼン原稿の修正とスライドの修正を時間が許す限り繰り返します。また、スケジュールの調整が付けば、プロフェッショナル・セミナーの学生(2年生)に聴衆役として専門演習に参加してもらい、第三者の立場からプレゼンテーションに関する意見・感想を出してもらいます。新たな気付きが得られれば、プレゼンの原稿やスライドの修正に活かし、ゼミ発表大会本番に備えます。		
		予習内容(時間)	授業の中で与えられた次週に向けた課題に取り組み、報告などの準備作業を行う。	180	分
		復習内容(時間)	授業で見聞きした情報をノートにまとめ、金融・経済に関する理解を定着させる。	60	分
	No25	個人面談2: ゼミ生の半数について、今年度の実務IQの養成計画の達成状況を確認し、反省する。	初回の個人面談で実務IQ(親和力・協働力・統率力・感情制御力・自信創出力・行動持続力・課題発見力・計画立案力・実践力)のうち伸ばしたい「力」を選定してもらいました。実際に一年間のゼミ活動の中で力を伸ばすための努力がどの程度できたのか、できたとすれば成功の要因は何か、できなかったとすればその原因は何か、今後どのような目標を設定し、どのような努力をする予定なのかについて話し合い、実務IQ育成のためのPDCAを回します。		
		予習内容(時間)	実務IQの成長目標を再確認し、1年間の努力の結果を自分なりに評価する。	180	分
		復習内容(時間)	個人面談の結果を踏まえ、次年度に向けた具体的な学修計画、生活目標を設定する。	60	分
	No26	個人面談2: ゼミ生の半数について、今年度の実務IQの養成計画の達成状況を確認し、反省する。	初回の個人面談で実務IQ(親和力・協働力・統率力・感情制御力・自信創出力・行動持続力・課題発見力・計画立案力・実践力)のうち伸ばしたい「力」を選定してもらいました。実際に一年間のゼミ活動の中で力を伸ばすための努力がどの程度できたのか、できたとすれば成功の要因は何か、できなかったとすればその原因は何か、今後どのような目標を設定し、どのような努力をする予定なのかについて話し合い、実務IQ育成のためのPDCAを回します。		
		予習内容(時間)	実務IQの成長目標を再確認し、1年間の努力の結果を自分なりに評価する。	180	分
		復習内容(時間)	個人面談の結果を踏まえ、次年度に向けた具体的な学修計画、生活目標を設定する。	60	分
	No27	実務IQの育成3: 作成した事業計画書に基づき事業を実施するに当たって役割分担を決定する。	春学期に作成した事業計画書(事業概要(取扱商品・サービス)、セールスポイント、営業戦略、社会的背景、生産・販売体制、開業資金の調達、売上計画など)を再確認します。また、模擬店の事前準備(誰がどの原材料を調達するのか、店舗の飾り付けや小道具は誰が準備するのか)や文化祭期間中の役割分担(誰が事前準備、片付け、1日目の運営、2日目の運営を担うのか)について最終決定を行います。また、予定よりも客数が増えた場合の対応シナリオについても検討します。		
		予習内容(時間)	事業計画書を再確認し、自らの実務IQに照らして、分担すべき役割を構想する。	180	分
		復習内容(時間)	最終的に決定した分担した役割を十分に果たせるよう、自らの行動計画を立てる。	60	分
	No28	実務IQの育成4: 事業計画を実践し、実践の結果を確認し、改善すべき事項の抽出作業を行う。	春学期に作成した事業計画書に基づいて、文化祭の模擬店を営みます。経営は「生き物」であり、何一つ約束された収益はありません。ゼミ生の皆さんには当日の気温や天候、客の入りなどに臨機応変に対応しながら、利益目標を達成するために努力していただきます。経営の実践が終了した後に、経営の結果について反省をし、あわせて模擬店経営を通じた実務IQの育成が予定通りに行われたか否か、評価していただきます。最後に、次年度に向けた改善計画を立てます。		
		予習内容(時間)	事業を実践した結果と計画に差が生じた場合、その理由について自分なりに考える。	180	分
		復習内容(時間)	授業での話し合いを踏まえて、自分なりに次年度に向けた事業の改善計画を立てる。	60	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	3年
講義名	専門演習 I B-光澤
講義名(英字)	Specialized Seminar I
担当教員	光澤 美芽
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	このゼミでは、財務会計をテーマに、4年次の専門演習Ⅱの基礎固めとして、より高度な専門性を獲得したうえで、現代会計における様々なテーマについて研究活動を展開することを目的としている。 春(前)期では、財務会計の専門性を高めることを目的とし、専門文献の輪読を行う。輪読とはすなわち、指定の専門書について報告担当者を割り振り、担当者は担当箇所の内容をPP(パワーポイント)にまとめて、他の参加者に分かりやすく説明をするというものである。報告後は、全員で内容についてのディスカッションを行う。これにより財務会計の理論についての理解を深め、4年次の研究テーマの設定に役立てる。 秋(後)期では、前半はゼミ発表大会に向けて研究・調査活動と報告を重ねる。後半は個別にテーマを選定し、卒業論文の作成を視野に入れて、文献調査や個人研究活動および報告を行う。
--------------------	--

【到達目標】	【財務会計に関する専門的な知識の修得】 ゼミで取り上げるテーマについて専門用語や基礎概念を理解している。 【資料の収集・整理・分液能力およびプレゼンテーション能力の向上】 ①図書館やインターネットを利用し、必要な資料を収集、それを整理・分析することが出来る。 ②自らが調査・分析した結果を、分かりやすくまとめて他者に伝えることが出来る。 【論理的思考力の向上】 ①グループ研究活動及び個人研究活動において、テーマ設定から結論に至るまでの論理展開が適切になされている。 ②文献引用が適切になされている。 ③自分の意見と異なる見解に対する反証やその論拠など論理的な思考の構築が出来る。																																																																																																						
【履修条件・受講推奨者】	「入門簿記Ⅰ・Ⅱ」および「会計学Ⅰ・Ⅱ」を履修済みであること。 また、「商業簿記Ⅰ・Ⅱ」、「工業簿記Ⅰ・Ⅱ」、「財務会計Ⅰ・Ⅱ」、「管理会計Ⅰ・Ⅱ」、「財務諸表論」等、関連する専門科目を履修済みもしくは今後履修することが望ましい。 なお、本演習は学生による報告と報告内容についてのディスカッションにより運営される。報告に際してはPPを使用し、配布資料(レジュメ)の準備が必要なため、一定のCSスキルが要求される。また、有意義なディスカッションが行われるためには、不明な点や疑問点については事前に調べる必要がある。報告者に限らず、ゼミ参加者は全員積極的に発言や質問をし、ゼミに臨む姿勢が求められる。																																																																																																						
【教育方法】	＜春(前)期＞ 指定された専門書の輪読・ディスカッション。 ＜秋(後)期＞ 各自テーマごとに調査・研究とその成果報告。																																																																																																						
【指定教科書・参考資料等】	開講時に指示する。																																																																																																						
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力	○	主張力	○	創造力	○																																																																																		
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																																																																																																	
協働力	○	主張力	○	創造力	○																																																																																																		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><th colspan="2">評価項目と割合</th><th colspan="6">評価方法</th></tr><tr><td>財務会計に関する専門的な知識の修得</td><td>20%</td><td colspan="6" rowspan="4">ゼミ活動への積極的な参加(出席状況および発表・ディスカッションにおける態度)および研究成果により評価。</td></tr><tr><td>論理的思考力の向上</td><td>50%</td></tr><tr><td>プレゼンテーション能力の向上</td><td>30%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合		評価方法						財務会計に関する専門的な知識の修得	20%	ゼミ活動への積極的な参加(出席状況および発表・ディスカッションにおける態度)および研究成果により評価。						論理的思考力の向上	50%	プレゼンテーション能力の向上	30%	合計	100%																																																																										
評価項目と割合		評価方法																																																																																																					
財務会計に関する専門的な知識の修得	20%	ゼミ活動への積極的な参加(出席状況および発表・ディスカッションにおける態度)および研究成果により評価。																																																																																																					
論理的思考力の向上	50%																																																																																																						
プレゼンテーション能力の向上	30%																																																																																																						
合計	100%																																																																																																						
【その他の注意事項】	無断での欠席・遅刻は厳禁。大人の自覚をもってゼミに臨むこと。 発言・質問等、積極的・自発的に参加すること。 私語や他者への迷惑となる行為は厳禁。特に携帯電話(スマートフォン)の使用・メール等SNSの閲覧は授業の妨害とみなし、退席してもらう。																																																																																																						
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td colspan="6">学習内容</td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>ガイダンス</td><td colspan="6">自己紹介、ゼミの進め方について。報告担当者の割り振り、スケジュールの確認など。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="5">自己紹介の内容を考えておく。</td><td>30</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="5">①指定された書籍を入手し、全体に目を通したうえで自分の担当箇所を確認する。 ②次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。</td><td>210</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>輪読①</td><td colspan="6">担当者による報告と全員でのディスカッション</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="5">次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="5">報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>輪読②</td><td colspan="6">担当者による報告と全員でのディスカッション</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="5">次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="5">報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="2">No4</td><td>輪読③</td><td colspan="6">担当者による報告と全員でのディスカッション</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="5">次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。</td><td>120</td><td>分</td></tr></table>							週	テーマ	学習内容						No1	ガイダンス	自己紹介、ゼミの進め方について。報告担当者の割り振り、スケジュールの確認など。						予習内容(時間)	自己紹介の内容を考えておく。					30	分	復習内容(時間)	①指定された書籍を入手し、全体に目を通したうえで自分の担当箇所を確認する。 ②次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。					210	分	No2	輪読①	担当者による報告と全員でのディスカッション						予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。					120	分	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。					120	分	No3	輪読②	担当者による報告と全員でのディスカッション						予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。					120	分	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。					120	分	No4	輪読③	担当者による報告と全員でのディスカッション						予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。					120	分
週	テーマ	学習内容																																																																																																					
No1	ガイダンス	自己紹介、ゼミの進め方について。報告担当者の割り振り、スケジュールの確認など。																																																																																																					
	予習内容(時間)	自己紹介の内容を考えておく。					30	分																																																																																															
	復習内容(時間)	①指定された書籍を入手し、全体に目を通したうえで自分の担当箇所を確認する。 ②次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。					210	分																																																																																															
No2	輪読①	担当者による報告と全員でのディスカッション																																																																																																					
	予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。					120	分																																																																																															
	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。					120	分																																																																																															
No3	輪読②	担当者による報告と全員でのディスカッション																																																																																																					
	予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。					120	分																																																																																															
	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。					120	分																																																																																															
No4	輪読③	担当者による報告と全員でのディスカッション																																																																																																					
	予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。					120	分																																																																																															

【授業計画】

	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
No5	輪読④	担当者による報告と全員でのディスカッション		
	予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	120	分
	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
No6	輪読⑤	担当者による報告と全員でのディスカッション		
	予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	120	分
	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
No7	輪読⑥	担当者による報告と全員でのディスカッション		
	予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	120	分
	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
No8	輪読⑦	担当者による報告と全員でのディスカッション		
	予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	120	分
	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
No9	輪読⑧	担当者による報告と全員でのディスカッション		
	予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	120	分
	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
No10	輪読⑨	担当者による報告と全員でのディスカッション		
	予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	120	分
	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
No11	輪読⑩	担当者による報告と全員でのディスカッション		
	予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	120	分
	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
No12	輪読⑪	担当者による報告と全員でのディスカッション		
	予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	120	分
	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
No13	輪読⑫	担当者による報告と全員でのディスカッション		
	予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	120	分
	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
No14	まとめ	春(前)期のまとめとゼミ発表大会へむけてテーマ決定		
	予習内容(時間)	ゼミ発表大会で発表するテーマの候補を考えてくる。	30	分
	復習内容(時間)	決定したテーマの資料収集を行う。夏季休暇を利用して、必要な下準備をしておく。	210	分
No15	ゼミ発表大会準備①	収集資料の分析、調査結果の報告。発表内容の方向性の検討など。		
	予習内容(時間)	夏季休暇中の調査結果をまとめておく。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミ内での検討を踏まえ、次回の報告準備をする。	120	分

	No16	ゼミ発表大会準備②	研究と成果報告。		
		予習内容(時間)	報告の準備をする。	120	分
		復習内容(時間)	報告およびディスカッション内容を踏まえ、次回の報告準備をする。	120	分
	No17	ゼミ発表大会準備③	研究と成果報告。		
		予習内容(時間)	報告の準備をする。	120	分
		復習内容(時間)	報告およびディスカッション内容を踏まえ、次回の報告準備をする。	120	分
	No18	ゼミ発表大会準備④	研究と成果報告。		
		予習内容(時間)	報告の準備をする。	120	分
		復習内容(時間)	報告およびディスカッション内容を踏まえ、次回の報告準備をする。	120	分
	No19	ゼミ発表大会準備⑤	研究と成果報告。		
		予習内容(時間)	報告の準備をする。	120	分
		復習内容(時間)	報告およびディスカッション内容を踏まえ、次回の報告準備をする。	120	分
	No20	ゼミ発表大会準備⑥	研究と成果報告。		
		予習内容(時間)	報告の準備をする。	120	分
		復習内容(時間)	報告およびディスカッション内容を踏まえ、次回の報告準備をする。	120	分
	No21	ゼミ発表大会準備⑦	研究と成果報告。		
		予習内容(時間)	報告の準備をする。	120	分
		復習内容(時間)	報告およびディスカッション内容を踏まえ、次回の報告準備をする。	120	分
	No22	ゼミ発表大会準備⑧	研究と成果報告。		
		予習内容(時間)	報告の準備をする。	120	分
		復習内容(時間)	報告およびディスカッション内容を踏まえ、次回の報告準備をする。	120	分
	No23	ゼミ発表大会準備⑨	最終報告。		
		予習内容(時間)	報告の準備をする。	120	分
		復習内容(時間)	報告およびディスカッション内容を踏まえ、ゼミ発表大会へ向けて最終調整をしておく。	120	分
	No24	ゼミ発表大会振り返り	ゼミ発表大会を終えて、振り返り。 個人研究活動へむけて、研究手法の説明など。		
		予習内容(時間)	ゼミ発表大会の良かった点、反省点をまとめておく。	60	分
		復習内容(時間)	個人研究活動のテーマを考え、資料収集をしておく。	180	分
	No25	研究活動①	各自、個人研究活動を実施。必要に応じて図書館やITルームを活用する。		
		予習内容(時間)	資料収集、整理、分析など。章立てを考える。	120	分
		復習内容(時間)	中間報告に向けて準備をする。	120	分
	No26	中間報告	研究内容の経過報告。		
		予習内容(時間)	報告の準備をする。	120	分
		復習内容(時間)	報告およびディスカッションを踏まえ、必要な修正があれば反映させる。	120	分
		研究活動②	各自、個人研究活動を実施。必要に応じて図書館やITルームを活用する。		

	No27	予習内容(時間)	追加の資料など必要があれば収集する。	120	分
		復習内容(時間)	最終報告に向けて準備をする。	120	分
	No28	成果報告	個人研究活動の成果報告。		
		予習内容(時間)	報告の準備をする。	120	分
		復習内容(時間)	研究成果をレポート(論文形式)にまとめ、提出する。	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	3年
講義名	専門演習 I B-山川
講義名(英字)	Specialized Seminar I
担当教員	山川 悟
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	研究テーマ:文化創造マーケティングとデザイン思考 情報収集、分析、創出、表現、伝達の技術を磨き、プランニング(商品・広告・販促企画、新事業創出)のスキル獲得を目指します。また秋には、独自の研究設計～実践を行います。企業との連携授業や企業訪問、学外視察、卒業生との交流、外部講師の招聘なども随時行いたいと思います。 過去の研究テーマ: 「知られざるオタクの聖地とその活性化に向けての研究」「地域のキャラクターと物語の創造」「監視カメラの用途開発」「消費者がECOを実感できるプロダクト提案」「こども環境絵画を活用した環境啓発ゲームの開発」、「ボードゲームが育む社会的スキルに関する調査研究」等。
----------------------------	--

	①他者の声に耳を傾け、組織内での協調や調整を図ることができる																						
【到達目標】	②能動的に意見を発信し、建設的な議論を進めることができる																						
	③実務的な課題に対し、創造的な解決策を示すことができる																						
【履修条件・受講推奨者】	企画・創造的な仕事に携わりたい人。世の中を楽しくするアイデアを生み出したい人。																						
【教育方法】	・学生同士のディスカッションを中心としたアクティブラーニングを基本とします。 ・ブレンストーミングやプレゼンテーション、質疑応答を重視しながら進めます。																						
【指定教科書・参考資料等】	教科書は使用せず、講義資料はその都度配布、または各自ダウンロードして受講する。																						
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力	○	主張力	○	創造力	○		
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																	
協働力	○	主張力	○	創造力	○																		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法																			
	他者の声に耳を傾け、協調や調整を図ることができる	30	およそ70%以上の出席を条件に、グループ討議(観察・ピア評価)、口頭試問等で評価																				
	能動的に意見を発信し、建設的な議論を進めることができる	30																					
	実務的な課題に対し、創造的な解決策を示すことができる	40																					
	合計	100%																					
【その他の注意事項】	ゼミは学生主体で運営するものであるため、能動的な姿勢で受講してください。																						
	週	テーマ	学習内容																				
	No1	オリエンテーション																					
		予習内容(時間)	シラバスを熟読し、エントリーシートを記入する	150	分																		
		復習内容(時間)	講義で触れた創造技法について、試してみる	120	分																		
	No2	相互理解プログラム																					
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分																		
		復習内容(時間)	講義で実施したコミュニケーション技法について、試してみる	120	分																		
	No3	ビジネスリテラシートレーニング①																					
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分																		
		復習内容(時間)	講義で実施したフレームワークについて、試してみる	120	分																		
	No4	ビジネスリテラシートレーニング②																					
		予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分																		
		復習内容(時間)	講義で実施したフレームワークについて、試してみる	120	分																		
	No5	ビジネスリテラシートレーニング③																					
		予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分																		
		復習内容(時間)	講義で実施したフレームワークについて、試してみる	120	分																		
	No6	ビジネスリテラシートレーニング④																					
予習内容(時間)		課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分																			

【授業計画】

	復習内容(時間)	講義で実施したフレームワークについて、試してみる	120	分
No7	創造的思考法トレーニング①			
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた創造技法について、試してみる	120	分
No8	創造的思考法トレーニング②			
	予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた創造技法について、試してみる	120	分
No9	創造的思考法トレーニング③			
	予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた創造技法について、試してみる	120	分
No10	創造的思考法トレーニング④			
	予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた創造技法について、試してみる	120	分
No11	消費者理解トレーニング①			
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた消費者理解の技法について、試してみる	120	分
No12	消費者理解トレーニング②			
	予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた消費者理解の技法について、試してみる	120	分
No13	消費者理解トレーニング③			
	予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた消費者理解の技法について、試してみる	120	分
No14	消費者理解トレーニング④			
	予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
	復習内容(時間)	学期全体の講義資料に目を通し、総括を行う	180	分
No15	秋期オリエンテーション			
	予習内容(時間)	シラバスを熟読し、エントリーシートを記入する	150	分
	復習内容(時間)	講義で触れた創造技法について、試してみる	120	分
No16	秋学期研究活動の準備と議論			
	予習内容(時間)	研究テーマに関連する資料を収集してくる	120	分
	復習内容(時間)	過去の本ゼミでの研究事例について見直してみる	120	分
No17	研究方向の確認と役割分担			
	予習内容(時間)	研究テーマについての原案を作成してくる	150	分
	復習内容(時間)	他のメンバーの提案について、検討してみる	120	分
No18	個人研究と発表①			
	予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
	復習内容(時間)	他のメンバーの提案について、検討してみる	120	分
	個人研究と発表②			

	No19	予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
		復習内容(時間)	他のメンバーの提案について、検討してみる	120	分
	No20	グループワーク①			
		予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
		復習内容(時間)	他のメンバーの提案について、検討してみる	120	分
		グループワーク②			
	No21	予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
		復習内容(時間)	他のメンバーの提案について、検討してみる	120	分
		グループワーク③			
		予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
	No22	復習内容(時間)	他のメンバーの提案について、検討してみる	120	分
		グループワーク④			
	No23	予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
		復習内容(時間)	他のメンバーの提案について、検討してみる	120	分
		グループ研究発表①			
		予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
	No24	復習内容(時間)	他のメンバーの提案について、検討してみる	120	分
		グループ研究発表②			
	No25	予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
		復習内容(時間)	他のメンバーの提案について、検討してみる	120	分
		グループ研究発表③			
		予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
	No26	復習内容(時間)	他のメンバーの提案について、検討してみる	120	分
		グループ研究発表④			
	No27	予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
		復習内容(時間)	他のメンバーの提案について、検討してみる	120	分
		流通視察・ショールーム見学			
		予習内容(時間)	訪問先に対する事前調査をしてくる	120	分
	No28	復習内容(時間)	秋学期全体の講義資料に目を通し、総括を行う	180	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	4年
講義名	専門演習Ⅱ B-石塚
講義名(英字)	Specialized Seminar II
担当教員	石塚 一彌
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	研究テーマ: 管理会計 「管理会計」は、経営管理に役立つデータ(＝企業内部における業績評価や意思決定に資する)を提供するための会計である。本演習においては、実際の経営活動に的を絞り、これら経営活動に惹起する諸問題に対し「管理会計」をどのように把握し、使いこなしていくかを、経営者の立場に立って主体的に考え、管理会計上必要な問題探求能力と問題解決能力を養うことまでを目標とする。
	管理会計の基本的前提に関する知識の修得の有無の確認する

【到達目標】	管理会計に関する基礎的な理解の確認 管理会計に対する理解の深度の程度の確認										
【履修条件・受講推奨者】	◇会計の基本(授業としては、「会計学Ⅰ」、「会計学Ⅱ」)科目を履修していることが望ましい。履修していない場合には、会計全般に関する基本的な知識を会得していることが望まれる。										
【教育方法】											
【指定教科書・参考資料等】	◇教科書: 演習中に指示します。 ◇参考書: とくになし。										
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○			
	協働力	○	主張力	○	創造力						
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法						
	各講義に関する関与の度合い		50%		左記の項目を総合的に勘案して履修者の評価とする。						
	課題についてのプレゼンテーションの内容		50%								
	合計		100%								
【その他の注意事項】	◇成績評価としては、出席状況とゼミデスカッションにおける「貢献度」及び課題レポートの内容を重視する。										
	週	テーマ	学習内容								
	No1	管理会計の基礎(1)オリエンテーション	管理会計の基礎について再確認する。								
		予習内容(時間)	(2年生までで学修した「財務会計」の視点とは違う)経営者が活用する手段としての「管理会計」の意義・視点について、各自があらかじめ周辺の知識をおさえておく。							120	分
		復習内容(時間)	履修者各自の管理会計特有の思考を様々な質疑応答により確認する。そのため、履修者は自らの管理会計的思考についての弱点を早めにおさえる必要がある。							120	分
	No2	管理会計の基礎(2)	財務会計と管理会計の違いについての確認問題(業務的意思決定のプロフェッショナル・セミナーからの発展問題)を提示する。								
		予習内容(時間)	管理会計特有の論点について、どのような視点からいかなる計算を行うかについて、各自があらかじめ学習しておく。							120	分
		復習内容(時間)	各自確認問題を再度解き、計算内容及び計算手法を修得する。							120	分
	No3	管理会計の基礎(3)	財務会計と管理会計の違いについての確認問題(業務的意思決定のプロフェッショナル・セミナーからの発展問題)を提示する(続き)。								
		予習内容(時間)	管理会計特有の論点について、どのような視点からいかなる計算を行うかについて、各自があらかじめ学習しておく(続き)。							120	分
		復習内容(時間)	各自問題を解き、計算内容及び計算手法を修得する(続き)。							120	分
	No4	管理会計の基礎(4)	財務会計と管理会計の違いについての確認問題(業務的意思決定のプロフェッショナル・セミナーからの発展問題)を提示する(続き)。								
		予習内容(時間)	管理会計特有の論点について、どのような視点からいかなる計算を行うかについて、各自があらかじめ学習しておく(続き)。							120	分
		復習内容(時間)	各自問題を解き、計算内容及び計算手法を修得する(続き)。							120	分
	No5	管理会計の基礎(5)	財務会計と管理会計の違いについての確認問題(業務的意思決定のプロフェッショナル・セミナーからの発展問題)を提示する(続き)。								
		予習内容(時間)	管理会計特有の論点について、どのような視点からいかなる計算を行うかについて、各自があらかじめ学習しておく(続き)。							120	分
		復習内容(時間)	各自問題を解き、計算内容及び計算手法を修得する(続き)。							120	分

【授業計画】	No6	管理会計の基礎(6)	財務会計と管理会計の違いについての確認問題(戦略的意思決定のプロフェッショナル・セミナーからの発展問題)を提示する。		
		予習内容(時間)	管理会計特有の論点について、どのような視点からいかなる計算を行うかについて、各自があらかじめ学習しておく(続き)。	120	分
		復習内容(時間)	各自問題を解き、計算内容及び計算手法を修得する。	120	分
	No7	テーマ設定その1	プロフェッショナル・セミナーで得られた知識と、従前からの管理会計的思考を踏まえて、履修者各自が演習におけるテーマ設定の絞り込みを行う。		
		予習内容(時間)	ゼミの研究テーマについて、有価証券報告書等の資料をもとに、管理会計特有の論点をあらかじめ各自がピックアップしておく。	120	分
		復習内容(時間)	テーマ設定に際しては、個人レベルでの作業にするか、チーム別にするか等も併せて検討する。	120	分
	No8	テーマ設定その2	各自テーマ設定の絞り込みを引き続き行う。その際には、主に「有価証券報告書閲覧サイト」を活用する。		
		予習内容(時間)	各自が選んだ会社の有価証券報告書についてあらかじめ読み込みを行う。	120	分
		復習内容(時間)	各自が「有価証券報告書閲覧サイト」の利用について「慣れる」訓練を行う。	120	分
	No9	テーマ設定その3	各自が自ら設定したテーマを提示し、ゼミとしてのテーマ設定の絞り込みを行う。		
		予習内容(時間)	各自が、テーマの絞り込みの立脚点を再考しておく。	120	分
		復習内容(時間)	テーマ設定の絞り込みに際しては、特にその研究の実現可能性も併せて各自が検証作業を行う。	120	分
	No10	テーマ設定その4	絞り込んだテーマについて履修者全員がその内容を共有する。		
		予習内容(時間)	各自が「なすべき論点」をあらかじめまとめておく。	120	分
		復習内容(時間)	絞り込んだテーマについて履修者各自が「何をすべきか」を課題としてまとめる。	120	分
	No11	テーマ設定その5	テーマについて履修者が研究のアプローチについて、プレゼンテーションを行う。		
		予習内容(時間)	各自、絞り込んだテーマについての論点を調べ、プレゼンテーションのための準備を行う。	120	分
		復習内容(時間)	各自がテーマの論点について「自らの言葉で説明できる」ように再度確認する。	120	分
	No12	テーマ設定その6	履修者相互のディスカッションを通して、最終的なテーマについて「論理的・実践的な観点」から最終決定を行う。		
		予習内容(時間)	各自、「他者を説得することができるような」ディスカッションの準備を進めておく。	120	分
		復習内容(時間)	履修者各自が、テーマについて大所高所から再度検討すべき事項を考えておく。	120	分
	No13	テーマについての研究その1	テーマの論点について「何が問題なのかを一言で言える」ことを確認の上、研究の方法を考える。		
		予習内容(時間)	特になし。	0	分
		復習内容(時間)	テーマに関して、「何が問題なのか」を履修者全員が再度確認する。	240	分
	No14	テーマについての研究その2	過去の当該演習の研究内容を履修者に提示し、各自がそれぞれ検証の上、今回のテーマに参考となるべき内容、方法、その他について検討する。		
		予習内容(時間)	過年度のゼミ発表大会の資料を各自が検討し、問題点を指摘の上、プレゼンテーションができるように準備しておく。	120	分
		復習内容(時間)	各自がそれぞれのプレゼンテーションの内容について再吟味する。	120	分
	No15	テーマについての研究その3	履修者各自が、テーマについての文献を検討する。		
		予習内容(時間)	テーマに関する「文献レビュー」を各自があらかじめ実施しておく。	120	分
		復習内容(時間)	各自が行った「レビュー」についてそれぞれが再検討する。	120	分
	No16	テーマについての研究その4	履修者各自が、テーマについての研究方法を選択する。		
		予習内容(時間)	テーマに関する研究方法を各自があらかじめ検討しておく。	120	分
		復習内容(時間)	各自が行った研究方法をそれぞれが再検討する。	120	分
		テーマに関する研究その5	履修者各自が、テーマに関するリサーチ・クエスチョンを設定する。		

No17	予習内容(時間)	テーマに関するリサーチ・クエスチョンを各自があらかじめ検討しておく。	120	分
	復習内容(時間)	各自が行ったリサーチ・クエスチョンをそれぞれが再検討する。	120	分
No18	テーマに関する研究その6	履修者各自が、テーマに関する適切な情報・資料を収集する。		
	予習内容(時間)	テーマに関する情報・資料を各自があらかじめ収集しておく。	120	分
	復習内容(時間)	各自が収集した情報・資料の適切性を再検討する。	120	分
No19	テーマに関する研究その7	各自が収集した情報・資料を定性的もしくは定量的に分析する。		
	予習内容(時間)	履修者各自が、収集した情報・資料の分析を進める。	120	分
	復習内容(時間)	履修者各自が、収集した情報・資料の分析を進める。	120	分
No20	テーマに関する研究その8	履修者各自が、上記分析結果を検証・考察する。		
	予習内容(時間)	各自が分析結果を検証・考察し一定の結論をあらかじめ導いておく。	120	分
	復習内容(時間)	各自が分析結果を検証・考察し一定の結論を導く。	120	分
No21	テーマに関する研究その9	履修者各自が、今回の研究の問題点や限界等を振り返る。		
	予習内容(時間)	各自が今回の研究の問題点や限界ないし課題をあらかじめ考えておく。	120	分
	復習内容(時間)	各自が、今回の研究の問題点や限界を理解しかつ互いに共有する。	120	分
No22	テーマに関する研究その10	履修者各自が、今回の研究からいえるなんらかの「気づき」を共有する。		
	予習内容(時間)	各自が、今回の研究から得たなんらかの「気づき」を他のメンバーに伝えるための準備をしておく。	120	分
	復習内容(時間)	各自が、今回の研究から得たなんらかの「気づき」をお互いに共有する。	120	分
No23	今後の活動への展望その1	履修者各自が、今回の研究から得られた何らかの「気づき」を踏まえて、来年以降の(自らが進むべき)業界の研究への糧とする。		
	予習内容(時間)	来年以降の「業界研究」のための資料を収集し、まとめる。	120	分
	復習内容(時間)	来年以降の「業界研究」のための資料を収集し、各自今後の自分の進路の資料としてまとめる。	120	分
No24	今後の活動への展望その2	履修者各自が、業界研究についてのまとめを発表する。		
	予習内容(時間)	各自が発表する内容をあらかじめ用意する際には、今回の演習研究の方法を参考とする。	120	分
	復習内容(時間)	他のメンバーの発表について指摘すべき事項をまとめる。	120	分
No25	今後の活動への展望その3	履修者各自が発表した業界研究について、それぞれの吟味を行う。		
	予習内容(時間)	各自が指定された発表者の内容について、その「良い点悪い点」をあらかじめピックアップしておく。	120	分
	復習内容(時間)	発表者は指摘された内容について自ら再検討する。	120	分
No26	今後の活動への展望その4	履修者各自が来年度以降の自らの進路を検討するに際して、現時点における自らの「強み弱み」を検討する。		
	予習内容(時間)	各自が業界研究を踏まえて、自分自身の「強み弱み」を選別しておく。	120	分
	復習内容(時間)	各自が自身の適正や望む業界等を再考する。	120	分
No27	今後の活動への展望その5	履修者各自が自らの「強み弱み」についての対処法を検討する。		
	予習内容(時間)	各自が進む業界ないし企業において、自らの「強み」をいかに伸ばし、また「弱み」をどのように補っていかについで対応を検討しておく。	120	分
	復習内容(時間)	各自が自身の適正や望む業界等を再考する(続き)。	120	分
No28	総まとめ	履修者各自がすべての演習全体を通しての疑問や問題を提示し、プレゼンテーションを実施する。		
	予習内容(時間)	各自が(相手を説得できるような)プレゼンテーションの内容を準備しておく。	120	分

	復習内容(時間)	すべての資料を再考した上で、自分自身の4年時に向けての展望を見据えておく。	120	分
--	----------	---------------------------------------	-----	---

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	4年
講義名	専門演習Ⅱ B-伊波
講義名(英字)	Specialized Seminar II
担当教員	伊波 和恵
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	研究テーマ:心理学、ストレスと心理社会的適応、コミュニケーション 本演習では、心理学、とくに心理社会的適応を基本テーマに知識習得を進めます。成人期～壮年期のビジネスパーソンが置かれている職場・家族を含む社会的対人的環境についての知識と理解を深め、ストレス・マネジメント、心理カウンセリングやコミュニケーションスキルについて学びます。 春学期はよりよい論文執筆ならびにチームプロジェクトのマネジメント方法について学びを深めます。秋学期は、グループワークやプレゼンテーションを通じて、各種調査法や企画立案を覚えるとともに、質疑応答やディスカッションのマナーと方法を身につけられるようにします。
	グループワーク(ディスカッション、プレゼンテーション)のスキルを向上させる

【到達目標】	レポート作成のスキルを向上させる チームワーク、チームプロジェクトに十分に慣れ、主体的に役割をとれるようになる										
【履修条件・受講推奨者】	・受講に際しては、グループメンバーでの協調性や社会性も重要です。その前提として、遅刻・無断欠席は厳禁です。										
【教育方法】	チームプロジェクトを主体とする。資料の収集、レジュメやプレゼンテーション資料の作成、ディスカッション、プレゼンテーションなどを頻繁に行う。										
【指定教科書・参考資料等】	とくになし。適宜指示する。										
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○			
	協働力	○	主張力	○	創造力	○					
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法						
	グループワーク(ディスカッション、プレゼンテーション)		40%		レポート課題40%・グループワーク40%・授業(ゼミ運営)への積極性20%						
	レポート執筆のために必要な基礎的な作法の理解と実践		40%								
	チームワーク、ゼミの中で果たす役割		20%								
	合計		100%								
【その他の注意事項】	・ゼミは原則休まず出席してください。共同ゼミを行うことがあります。やむを得ず休む場合は事前に連絡すること。 ・課外で活動する際は若干の費用がかかることがあります。										
	週	テーマ	学習内容								
	No1	オリエンテーション									
		予習内容(時間)	ゼミ論で取り組む、個人のゼミテーマにしたいことを考えておく。(ひとまず、心理・人・人間関係・社会に関することなら、何でもかまいません。)							120	分
		復習内容(時間)	次回の準備を行う							120	分
	No2	ワーク									
		予習内容(時間)	指示したワークの準備を行う							120	分
		復習内容(時間)	指示した次回の準備を行う							120	分
	No3	グループワーク(1)	グループでの基礎的なワーク(全5回)								
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる							120	分
		復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる							120	分
	No4	グループワーク(1)									
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる							120	分
		復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる							120	分
	No5	グループワーク(1)									
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる							120	分
		復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる							120	分
	No6	グループワーク(1)									
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる							120	分
復習内容(時間)		グループで話し合い、決めた宿題を済ませる							120	分	
	グループワーク(1)										

【授業計画】

No7	予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	復習内容(時間)	指示された課題を提出する	120	分
No8	レポート作成(1)	グループワークのまとめレポート作成(提出)		
	予習内容(時間)	グループワークの反省を行い、要点をまとめておく	120	分
	復習内容(時間)	レポートを提出する	120	分
No9	グループワーク(2)	グループワーク(全5回)		
	予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
No10	グループワーク(2)			
	予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
No11	グループワーク(2)			
	予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
No12	グループワーク(2)			
	予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
No13	グループワーク(2)			
	予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	復習内容(時間)	指示された課題を提出する	120	分
No14	レポート作成(2) ゼミ論文レジュメ	グループワークのまとめレポート作成(提出)		
	予習内容(時間)	グループワークの反省を行い、要点をまとめておく	120	分
	復習内容(時間)	レポートを提出する	120	分
No15	グループワーク(3)	ゼミ発表大会準備(全9回)		
	予習内容(時間)	テーマについて考えてくる	120	分
	復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
No16	グループワーク(3)			
	予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
No17	グループワーク(3)			
	予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
No18	グループワーク(3)			
	予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
No19	グループワーク(3)			
	予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分

		復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	No20	グループワーク(3)	60		
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
		復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	No21	グループワーク(3)			
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
		復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	No22	グループワーク(3)			
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
		復習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
	No23	グループワーク(3)			
		予習内容(時間)	グループで話し合い、決めた宿題を済ませる	120	分
		復習内容(時間)	課題を行う	120	分
	No24	グループワーク(3)反省会			
		予習内容(時間)	反省会に向けて、資料を整理し、自分の考えをまとめておく。	120	分
		復習内容(時間)	レポートを提出する	120	分
	No25	ゼミ論文	ゼミ論文(全4回)		
		予習内容(時間)	必要な資料を整理しておく。	120	分
		復習内容(時間)	各自でゼミ論文の執筆を進める。	120	分
	No26	ゼミ論文			
		予習内容(時間)	各自でゼミ論文の執筆を進める。	120	分
		復習内容(時間)	各自でゼミ論文の執筆を進める。	120	分
	No27	ゼミ論文(提出)			
		予習内容(時間)	各自でゼミ論文の執筆を進め、提出する。	120	分
		復習内容(時間)	必要に応じて、修正を加える。	120	分
	No28	ゼミ論文(加筆修正)			
		予習内容(時間)	必要に応じて、修正を加える。	120	分
		復習内容(時間)	必要に応じて、修正を加える。	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	4年
講義名	専門演習Ⅱ B-円城寺
講義名(英字)	Specialized Seminar II
担当教員	円城寺 敬浩
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	「組織(主として企業組織)の持続的競争優位について考える」というテーマを軸にして、演習活動を通じて、企業経営で必要とされる知識や理論等を修得しながら、グローバル競争の中で、企業はいかにして持続的競争優位性を獲得することができるのかを探究していきます。演習は基本的にゼミ生皆の協働によって運営されます。その活動を意義あるものにするかどうかは、ゼミ生各々のゼミ活動への姿勢如何に関わってきます。演習への取り組みは時として楽ではこともあるかもしれませんが、お互いに切磋琢磨し、物事の本質を捉え、自ら問題を解決する力も演習活動を通じて身に付けてもらえればと考えます。ゼミ活動の基本は、専門書等の輪読/レジュメの作成と報告/ディスカッションとなります。
	研究テーマを自ら見つける能力を養う

【到達目標】	研究テーマを論理的に考察できる能力を養う																							
	研究テーマの発表およびディスカッションをしながら、論文として完成させる能力を養う																							
【履修条件・受講推奨者】	チームワークが重要になるので、遅刻や欠席（病気等で欠席せざるを得ない場合は事前連絡）は厳禁です。大人としての自覚を持って演習に参加するようにしてください。																							
【教育方法】	専門書等の輪読／レジュメ作成／報告／ディスカッションという内容で、能動的に活動することで、到達目標で示した能力を養ってもらいます。																							
【指定教科書・参考資料等】	教科書：最初の演習時に決定する予定です。 参考書：ヘンリー・ミンツバーグ編著、斎藤嘉則監訳『戦略サファリー 戦略マネジメント・ガイドブック』東洋経済新報社、1999年。																							
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>								自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○																	
協働力	○	主張力	○	創造力	○																			
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】	評価項目と割合		評価方法																					
	研究テーマを自ら見つけることができるか	20%	ゼミはゼミ員同士のディスカッションを中心に進めることになるので、ゼミへの参加度を最重視し、各評価項目で総合的に評価します。																					
	研究テーマを論理的に考察することができるか	20%																						
	研究テーマの発表およびディスカッションをしながら論文を完成できるか	60%																						
	合計	100%																						
【その他の注意事項】	各回のゼミの学習内容および予習・復習の内容と時間は本ゼミを展開する上での一つの参考です。ゼミ展開は適宜、学習効果を高められるように工夫していきます。なお、無断欠席（遅刻も含む）した場合は評価が著しく下がる可能性があることに注意してください。																							
	週	テーマ	学習内容																					
	No1	春学期ガイダンス	ゼミの活動内容等を確認します。																					
		予習内容(時間)	シラバスの内容を確認する	120	分																			
		復習内容(時間)	話した内容の確認をする	120	分																			
	No2	研究方法論等	研究方法についての確認とゼミ生の関心領域の確認をします。																					
		予習内容(時間)	研究テーマを考える	120	分																			
		復習内容(時間)	話した内容の確認をする	120	分																			
	No3	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。																					
		予習内容(時間)	レジュメを作成する	120	分																			
		復習内容(時間)	ディスカッション内容の確認をする	120	分																			
	No4	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。																					
		予習内容(時間)	レジュメを作成する	120	分																			
		復習内容(時間)	ディスカッション内容の確認をする	120	分																			
	No5	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。																					
		予習内容(時間)	レジュメを作成する	120	分																			
		復習内容(時間)	ディスカッション内容の確認をする	120	分																			
	No6	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。																					
		予習内容(時間)	レジュメを作成する	120	分																			

【授業計画】

	復習内容(時間)	ディスカッション内容の確認をする	120	分
No7	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメを作成する	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッション内容の確認をする	120	分
No8	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメを作成する	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッション内容の確認をする	120	分
No9	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメを作成する	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッション内容の確認をする	120	分
No10	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメを作成する	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッション内容の確認をする	120	分
No11	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメを作成する	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッション内容の確認をする	120	分
No12	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメを作成する	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッション内容の確認をする	120	分
No13	研究中間報告	研究テーマ(ゼミ論)の中間報告をします。		
	予習内容(時間)	レジュメを作成する	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッション内容の確認をする	120	分
No14	研究中間報告	研究テーマ(ゼミ論)の中間報告をします。		
	予習内容(時間)	レジュメを作成する	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッション内容の確認をする	120	分
No15	秋学期ガイダンス	秋学期のゼミ活動の確認をします。		
	予習内容(時間)	シラバスの確認をする	120	分
	復習内容(時間)	話した内容の確認をする	120	分
No16	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメを作成する	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッション内容の確認をする	120	分
No17	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメを作成する	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッション内容の確認をする	120	分
No18	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメを作成する	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッション内容の確認をする	120	分
	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		

No19	予習内容(時間)	レジュメを作成する	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッション内容の確認をする	120	分
No20	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメを作成する	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッション内容の確認をする	120	分
No21	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメを作成する	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッション内容の確認をする	120	分
No22	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメを作成する	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッション内容の確認をする	120	分
No23	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメを作成する	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッション内容の確認をする	120	分
No24	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメを作成する	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッション内容の確認をする	120	分
No25	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメを作成する	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッション内容の確認をする	120	分
No26	輪読と報告およびディスカッション	専門書等の輪読と報告およびディスカッションをします。		
	予習内容(時間)	レジュメを作成する	120	分
	復習内容(時間)	ディスカッション内容の確認をする	120	分
No27	研究最終報告	研究最終報告(ゼミ論)と口頭試問をします。		
	予習内容(時間)	レジュメを作成する	120	分
	復習内容(時間)	口頭試問の内容を確認する	120	分
No28	研究最終報告	研究最終報告(ゼミ論)と口頭試問をします。		
	予習内容(時間)	レジュメを作成する	120	分
	復習内容(時間)	口頭試問の内容を確認する	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	4年
講義名	専門演習Ⅱ B-鬼木
講義名(英字)	Specialized Seminar II
担当教員	鬼木 一直
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	「情報システム学」 情報化社会と言われる昨今、企業において情報をどのように収集、解析、活用していくかが大変重要となってきています。本セミナーでは、情報システムを切り口として「会社では何をしているのか?」「何が求められているのか?」「どのように問題を解決していくのか?」などを議論し、企業社会についての理解を深めていきます。 また、Word、Excel、PowerPointなどを用い、コンピュータの基本操作も学びます。グループ学習などを通じて情報の収集力、発想力、プレゼンテーション能力などを身につけることを目標とします。論文の書き方を学び、ゼミ論文を完成させます。
	チームで考える力の育成、Officeのスキル向上

【到達目標】	コミュニケーション能力の向上、自ら提案する力の育成と問題解決に向けた発想力の向上 論文体裁の修得、自らのテーマに沿った論文の完成																							
【履修条件・受講推奨者】	積極的に議論に参加できる方、向上心のある方を推奨いたします。卒業論文の単位を申請するかどうかは各自の判断に任せます。																							
【教育方法】	アクティブラーニング形式の授業となりますので、主体的にかつ積極的な発言を求めます。 ゼミ論文の書き方を学び、論文を作成します。																							
【指定教科書・参考資料等】	指定教科書はありません。必要に応じてICT関連のテキストを貸し出します。																							
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>								自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○																	
協働力	○	主張力	○	創造力	○																			
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法																			
	チームで考える力の育成、Officeのスキル向上			20%	セミナーでの態度(発言、積極性など)、貢献度、論文など総合的に判断します。																			
	コミュニケーション能力の向上、自ら提案する力の育成と問題解決に向けた発想力の向上			30%																				
	論文体裁の修得、自らのテーマに沿った論文の完成			50%																				
	合計			100%																				
【その他の注意事項】	毎回、タイピング練習を行います。																							
	週	テーマ	学習内容																					
	No1	ガイダンス、自己紹介	授業の進め方の説明、全員の自己紹介を行う																					
		予習内容(時間)	論文作成方法の基本確認	120	分																			
		復習内容(時間)	ゼミ論文テーマ内容調査	120	分																			
	No2	論文体裁	論文の基本的な書き方、体裁について学ぶ																					
		予習内容(時間)	タイピング練習、テーマの検索	120	分																			
		復習内容(時間)	関心のあるテーマの調査	120	分																			
	No3	データの検索	データの検索手法を学ぶ																					
		予習内容(時間)	タイピング練習、データ検索方法の確認	120	分																			
		復習内容(時間)	検索手法の確認	120	分																			
	No4	絞り込み検索	絞り込み検索の手法を学ぶ																					
		予習内容(時間)	タイピング練習、検索手法の確認	120	分																			
		復習内容(時間)	絞り込み検索の確認	120	分																			
	No5	テーマの詳細調査	各自選んだテーマを検索し、詳細調査を行う																					
		予習内容(時間)	タイピング練習、テーマに関するデータ収集	120	分																			
		復習内容(時間)	テーマ詳細調査	120	分																			
	No6	テーマの洗い出し	複数検索したテーマからの絞り込みを行う																					
		予習内容(時間)	タイピング練習、検索テーマの整理	120	分																			
		復習内容(時間)	テーマの絞り込み	120	分																			

【授業計画】

No7	データ分析	絞り込んだテーマのデータを検索、分析する		
	予習内容(時間)	タイピング練習、データの検索手法の確認	120	分
	復習内容(時間)	データの分析手法の確認	120	分
No8	データの再選定	絞り込んだテーマが深掘り出来るかどうかを検討する		
	予習内容(時間)	タイピング練習、テーマの見直し	120	分
	復習内容(時間)	テーマの再選定	120	分
No9	結論の方向性の検討	テーマに対する自分の意見を整理する		
	予習内容(時間)	タイピング練習、テーマの内容整理	120	分
	復習内容(時間)	考察の整理	120	分
No10	ストーリーの作成	テーマのストーリーを考える		
	予習内容(時間)	タイピング練習、全体の流れの確認	120	分
	復習内容(時間)	ストーリーの検討	120	分
No11	必要なデータの洗濯	流れに沿ったデータを取捨選択する		
	予習内容(時間)	タイピング練習、データの確認	120	分
	復習内容(時間)	データの取捨選択	120	分
No12	概要の整理	テーマの位置づけ、概要を整理する		
	予習内容(時間)	タイピング練習、テーマの意味合いの整理	120	分
	復習内容(時間)	概要の整理	120	分
No13	ゼミ内発表資料作成	テーマ内容を整理し、簡単な報告資料を作成		
	予習内容(時間)	タイピング練習、テーマ内容の整理	120	分
	復習内容(時間)	報告資料の作成	120	分
No14	ゼミ内報告	テーマの概要をゼミ内で報告する		
	予習内容(時間)	タイピング練習、報告資料作成	120	分
	復習内容(時間)	発表の振り返り	120	分
No15	Wordの応用操作修得	Wordのさまざまなスキルを学ぶ		
	予習内容(時間)	タイピング練習、Word操作の基本確認	120	分
	復習内容(時間)	Wordを用いた文書、表作成方法の確認	120	分
No16	Excelの応用操作	表、グラフ作成、データ集計のスキルを学ぶ		
	予習内容(時間)	タイピング練習、Excel操作の基本確認	120	分
	復習内容(時間)	Excelを用いた操作方法の確認	120	分
No17	データの信頼性	データの入手先の信頼度を知る		
	予習内容(時間)	タイピング練習、情報の信頼性確認	120	分
	復習内容(時間)	テーマ内容検討	120	分
No18	データの深掘り	データの内容、信憑性を精査する		
	予習内容(時間)	タイピング練習、データ検証手法の確認	120	分
	復習内容(時間)	データの精査	120	分
No19	アジェンダの作成	Wordでアジェンダを作成する		
	予習内容(時間)	タイピング練習、アジェンダの検討	120	分

	復習内容(時間)	アジェンダの作成	120	分
No20	Word操作	Wordへのデータの貼り付けスキルを学ぶ		
	予習内容(時間)	タイピング練習、データの整理	120	分
	復習内容(時間)	データをWordにまとめる	120	分
No21	Wordでデータを整理	検討したデータをWordに貼り付け、整理する		
	予習内容(時間)	タイピング練習、データの整理	120	分
	復習内容(時間)	データの体裁を整え、Word上に貼り付け	120	分
No22	参考文献、先行文献の確認	参考文献、先行文献を整理し、出展を明確にする		
	予習内容(時間)	タイピング練習、参考文献調査	120	分
	復習内容(時間)	参考文献、先行文献の整理	120	分
No23	アジェンダの見直し	論文内容を確認し、アジェンダを見直す		
	予習内容(時間)	タイピング練習、アジェンダの再確認	120	分
	復習内容(時間)	アジェンダの見直し	120	分
No24	考察の作成	自分の意見を整理し、論文の中で言いたいことを明確にする		
	予習内容(時間)	タイピング練習、考察の確認	120	分
	復習内容(時間)	主張ポイントの整理	120	分
No25	データの出典、内容の確認	データの出典を明記、内容を確認する		
	予習内容(時間)	タイピング練習、データの整理	120	分
	復習内容(時間)	Wordでのデータの体裁の整理	120	分
No26	結論の記載	結論を明確にし、作成する		
	予習内容(時間)	タイピング練習、論文のまとめ方検討	120	分
	復習内容(時間)	結論の作成	120	分
No27	全体の体裁確認	全体の体裁を整え、論文として完成する		
	予習内容(時間)	タイピング練習、論文の体裁確認	120	分
	復習内容(時間)	論文の完成	120	分
No28	発表	論文の内容を整理し、ゼミ内で論文内容を発表する		
	予習内容(時間)	タイピング練習、発表資料の作成	120	分
	復習内容(時間)	今後の方針検討	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

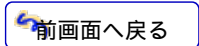
分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	4年
講義名	専門演習Ⅱ B-佐藤(恵)
講義名(英字)	Specialized Seminar II
担当教員	佐藤 恵美
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	企業が経営目標を達成するためには、働く人が重要になる。働く人の可能性を開くには、人材をどのように活かしていくのかについて常に考える必要がある。特に、企業で必要とされるものは、能力、パーソナリティ、興味、動機づけ、リーダーシップ、人間関係など、たいてい“目に見えない”ものであり、これを概念化し、測定するのが心理学の分野である。本演習では、さまざまな業種の企業で必要とされている能力やパーソナリティについて、業種、国籍、文化、社会的背景による要因などから多角的に、専門書を読み、調査を行い、発表と議論を行う。ゼミのテーマはみんなで作え、半期ごとに新しいテーマに取り組む。前半は心理や経営に関する専門書の輪読を中心に、専門的な基礎知識や論理的な思考能力の習得を目指す。後半は文献や資料を講読し、各種調査を行い、データ処理の基礎的な方法と、テーマに沿ったプレゼンテーション能力を身につけていくことを目標とする。
--------------------	---

	テキストの輪読とレジュメ作成:産業・組織心理学、社会心理学、パーソナリティ心理学等の専門的な基礎知識の習得と同時に、レジュメの作成を通して、論理的な思考能力の習得を目指す。各人が章を担当し、要点をまとめたレジュメを作成し、発表、これに基づいた質疑応答と討論ができるようにする。																																					
【到達目標】	業種別に求められる能力とパーソナリティを考える:各自興味ある職業環境を業種別に分け、業種別によって求められる能力や人材を調査し、PPTで各自発表してもらう。さらに、この能力はどのように評価されるのか、アセスメント方法について考察する。 個人論文の作成:個人の興味ある経営心理学の研究テーマに沿って、文献や資料を講読し、資料収集や調査を行う。データ結果のまとめ方と、客観的データに基づいたデータの考察を行えるようにすることで、企業でのデータ処理能力を高めることを目的とする。																																					
【履修条件・受講推奨者】	・欠席や遅刻は認めない。やむを得ず欠席する場合には、必ず連絡をすること。 ・各自の分担に責任を持って、積極的に参加することを望みます。同学年のみならず、学年をこえてコミュニケーションをとり、グループでの共同作業に参加できること。																																					
【教育方法】	対面による演習授業とする																																					
【指定教科書・参考資料等】	授業で指定する																																					
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>										自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力		協働力	○	主張力	○	創造力	○														
自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力																																
協働力	○	主張力	○	創造力	○																																	
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><th colspan="4">評価項目と割合</th><th colspan="4">評価方法</th></tr><tr><td colspan="3">テキストの輪読とレジュメ作成</td><td>40%</td><td colspan="4" rowspan="4">レジュメ作成と個人論文</td></tr><tr><td colspan="3">興味ある職業環境の発表</td><td>20%</td></tr><tr><td colspan="3">個人論文の作成</td><td>40%</td></tr><tr><td colspan="3">合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合				評価方法				テキストの輪読とレジュメ作成			40%	レジュメ作成と個人論文				興味ある職業環境の発表			20%	個人論文の作成			40%	合計			100%
評価項目と割合				評価方法																																		
テキストの輪読とレジュメ作成			40%	レジュメ作成と個人論文																																		
興味ある職業環境の発表			20%																																			
個人論文の作成			40%																																			
合計			100%																																			
【その他の注意事項】																																						
	週	テーマ	学習内容																																			
	No1	専門演習Ⅱのテーマ決め	組織心理学、社会心理学、パーソナリティ心理学等の専門書をから、春休みに考えてきてもらった今年のテーマについて、意見を出し合い話し合う																																			
		予習内容(時間)	今年のテーマについて考える					120	分																													
		復習内容(時間)	今年のテーマについて実現可能性を考え、本を探す					120	分																													
	No2	テキストの輪読とレジュメ作成	今年のテーマから専門書を自分で決定する																																			
		予習内容(時間)	図書館等で本を検索、探す					120	分																													
		復習内容(時間)	図書館等で本を検索、探す					120	分																													
	No3	テキストの輪読とレジュメ作成	担当する章を分担し、各自レジュメの作成にとりかかる																																			
		予習内容(時間)	各自レジュメの作成をWordで行う					120	分																													
		復習内容(時間)	各自レジュメの作成をWordで行う					120	分																													
	No4	テキストの輪読とレジュメ作成	各自レジュメの作成をWordで行う																																			
		予習内容(時間)	各自レジュメの作成をWordで行う					120	分																													
		復習内容(時間)	各自レジュメの作成をWordで行う					120	分																													
	No5	テキストの輪読とレジュメ作成	各自レジュメの作成をWordで行う																																			
		予習内容(時間)	各自レジュメの作成をWordで行う					120	分																													
		復習内容(時間)	各自レジュメの作成をWordで行う					120	分																													

【授業計画】	No6	テキストの輪読とレジュメ作成	各自レジュメの発表		
		予習内容(時間)	各自レジュメの作成をWordで行う	120	分
		復習内容(時間)	各自レジュメの作成をWordで行う	120	分
	No7	テキストの輪読とレジュメ作成	各自レジュメの発表		
		予習内容(時間)	各自レジュメの作成をWordで行う	120	分
		復習内容(時間)	各自レジュメの作成をWordで行う	120	分
	No8	テキストの輪読とレジュメ作成	各自レジュメの発表		
		予習内容(時間)	各自レジュメの作成をWordで行う	120	分
		復習内容(時間)	各自レジュメの作成をWordで行う	120	分
	No9	職業環境と職業興味	各自興味ある職業環境を業種別に分け、業種別によって求められる能力や人材を調査する。		
		予習内容(時間)	職業興味のある業界や分野を考える	120	分
		復習内容(時間)	職業興味のある業界や分野を考える	120	分
	No10	職業環境と職業興味	各自興味ある職業環境を業種別に分け、業種別によって求められる能力や人材を調査し、パワーポイント(PPT)で各自プレゼンテーションを行う準備をする。		
		予習内容(時間)	職業興味のある業界や分野を考える	120	分
		復習内容(時間)	業種別によって求められる能力や人材を調査する	120	分
	No11	職業環境と職業興味	各自興味ある職業環境を業種別に分け、業種別によって求められる能力や人材を調査し、パワーポイント(PPT)で各自プレゼンテーションを行う準備をする。		
		予習内容(時間)	業種別によって求められる能力や人材を調査する	120	分
		復習内容(時間)	業種別によって求められる能力や人材を調査する	120	分
	No12	職業環境と職業興味	各自興味ある職業環境を業種別に分け、業種別によって求められる能力や人材を調査し、パワーポイント(PPT)で各自プレゼンテーションを行う準備をする。		
		予習内容(時間)	業種別によって求められる能力や人材を調査する	120	分
		復習内容(時間)	まとめた内容をプレゼンテーションできるようにPPTを作成する	120	分
	No13	職業環境と職業興味	各自興味ある職業環境を業種別に分け、業種別によって求められる能力や人材を調査し、PPTで各自発表してもらう。1人1つの質問や意見を求める。		
		予習内容(時間)	まとめた内容をプレゼンテーションできるようにPPTを作成する	120	分
		復習内容(時間)	まとめた内容をプレゼンテーションできるようにPPTを作成する	120	分
	No14	職業環境と職業興味	各自興味ある職業環境を業種別に分け、業種別によって求められる能力や人材を調査し、PPTで各自発表してもらう。1人1つの質問や意見を求める。		
		予習内容(時間)	まとめた内容をプレゼンテーションできるようにPPTを作成する	120	分
		復習内容(時間)	まとめた内容をプレゼンテーションできるようにPPTを作成する	120	分
	No15	職業環境と職業興味	各自興味ある職業環境を業種別に分け、業種別によって求められる能力や人材を調査し、PPTで各自発表してもらう。1人1つの質問や意見を求める。		
		予習内容(時間)	まとめた内容をプレゼンテーションできるようにPPTを作成する	120	分
		復習内容(時間)	個人研究のテーマを考えてくる	120	分
	No16	個人論文の作成	産業・組織心理学、社会心理学、パーソナリティ心理学等の専門分野の中から、個人の興味ある経営心理学の研究テーマを考える。 に沿って、文献や資料を講読し、資料収集や調査を行う。		
		予習内容(時間)	個人研究のテーマを考えてくる	120	分
		復習内容(時間)	個人研究のテーマを考えてくる	120	分
			産業・組織心理学、社会心理学、パーソナリティ心理学等の専門分野の中から、個人の興味ある経営心理学の研		

	No17	個人論文の作成	究テーマに沿って、文献や資料を収集する。		
		予習内容(時間)	文献と資料の収集	120	分
		復習内容(時間)	文献と資料の収集	120	分
	No18	個人論文の作成	産業・組織心理学、社会心理学、パーソナリティ心理学等の専門分野の中から、個人の興味ある経営心理学の研究テーマに沿って、文献や資料を収集する。		
		予習内容(時間)	文献と資料の収集	120	分
		復習内容(時間)	文献と資料の収集	120	分
	No19	個人論文の作成	産業・組織心理学、社会心理学、パーソナリティ心理学等の専門分野の中から、個人の興味ある経営心理学の研究テーマに沿って、文献や資料を収集する。		
		予習内容(時間)	文献と資料の収集	120	分
		復習内容(時間)	文献と資料の収集	120	分
	No20	個人論文の作成	テーマに沿った調査を行い、データ整理を行う。		
		予習内容(時間)	テーマに沿った調査を行い、データ整理を行う。	120	分
		復習内容(時間)	テーマに沿った調査を行い、データ整理を行う。	120	分
	No21	個人論文の作成	テーマに沿った調査を行い、データ整理からデータ分析を行う		
		予習内容(時間)	データ分析を行う	120	分
		復習内容(時間)	データ分析を行う	120	分
	No22	個人論文の作成	データ分析から結果を図表でまとめ、文章にする。この際、論文の意味が分かりやすいように章立てに気を付けること。		
		予習内容(時間)	データ分析から結果を図表でまとめ、文章にする	120	分
		復習内容(時間)	データ分析から結果を図表でまとめ、文章にする	120	分
	No23	個人論文の作成	データ分析から結果を図表でまとめ、文章にする。この際、論文の意味が分かりやすいように章立てに気を付けること。		
		予習内容(時間)	データ分析から結果を図表でまとめ、文章にする	120	分
		復習内容(時間)	データ分析から結果を図表でまとめ、文章にする	120	分
	No24	個人論文の作成	データ分析から結果を図表でまとめ、文章にする。この際、論文の意味が分かりやすいように章立てに気を付けること。		
		予習内容(時間)	データ分析から結果を図表でまとめ、文章にする	120	分
		復習内容(時間)	データ分析から結果を図表でまとめ、文章にする	120	分
	No25	個人論文の作成	データ分析から結果を図表でまとめ、文章にする。この際、論文の意味が分かりやすいように章立てに気を付けること。		
		予習内容(時間)	データ分析から結果を図表でまとめ、文章にする	120	分
		復習内容(時間)	個人論文の発表用にPPTを作成する	120	分
	No26	個人論文の発表	個人論文の発表用にPPTを作成する		
		予習内容(時間)	個人論文の発表用にPPTを作成する	120	分
		復習内容(時間)	個人論文の発表用にPPTを作成する	120	分
	No27	個人論文の発表	一人15分程度で個人論文の発表を行う		
		予習内容(時間)	個人論文の発表用にPPTを作成する	120	分
		復習内容(時間)	個人論文の発表用にPPTを作成する	120	分
	No28	個人論文の発表	一人15分程度で個人論文の発表を行う		
		予習内容(時間)	個人論文の発表用にPPTを作成する	120	分
		復習内容(時間)	個人論文の発表用にPPTを作成する	120	分



 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	4年
講義名	専門演習Ⅱ B-清水(良)
講義名(英字)	Specialized Seminar II
担当教員	清水 良樹
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	(内容) ・投資ポートフォリオを自ら組み、運用結果を報告 ・投資を実践 ・個人の資産形成を振り返り ・卒業論文(もしくはレポート)の作成 (研究テーマ) ・個人の資産形成 ・卒論のテーマに関しては、経済の範疇で各自が設定
----------------------------	---

	日本を含む国際経済の現状(いま)を知るための情報収集能力の向上。																																																																															
【到達目標】	問題意識の形成。 論理的思考力の養成。																																																																															
【履修条件・受講推奨者】	①考慮すべき理由のない欠席、無断欠席をした場合、ペナルティー(追加レポートの提出)を課す。 ②学習意欲のない者の履修は認めない。 ③全ての行事に全力で取り組むこと。ゼミに関連した大学行事において無断欠席をした場合は単位取得を認めない。 ④3分の1以上の欠席(考慮すべき理由がない欠席)をした場合、履修登録を取り消してもらう。																																																																															
【教育方法】	・個人によるプレゼンテーション ・課題の提出 ・卒業論文(もしくはレポート)の添削																																																																															
【指定教科書・参考資料等】	教科書: 初回の演習時までに紹介する。 参考書: 小熊英二(2022)『基礎からわかる 論文の書き方』講談社。																																																																															
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>										自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力	○																																																								
自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○																																																																									
協働力	○	主張力	○	創造力	○																																																																											
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><th colspan="2">評価項目と割合</th><th>評価方法</th></tr><tr><td>卒業論文(もしくはレポート)の提出</td><td>80%</td><td rowspan="4">卒業単位数が危うい者は卒業論文の作成を必須とする。上記に該当しない者はレポートの提出を必須とする。*卒業に必要な単位を満たしている者も卒論を作成することを認める。</td></tr><tr><td>プレゼンテーション</td><td>20%</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合		評価方法	卒業論文(もしくはレポート)の提出	80%	卒業単位数が危うい者は卒業論文の作成を必須とする。上記に該当しない者はレポートの提出を必須とする。*卒業に必要な単位を満たしている者も卒論を作成することを認める。	プレゼンテーション	20%			合計	100%																																																										
評価項目と割合		評価方法																																																																														
卒業論文(もしくはレポート)の提出	80%	卒業単位数が危うい者は卒業論文の作成を必須とする。上記に該当しない者はレポートの提出を必須とする。*卒業に必要な単位を満たしている者も卒論を作成することを認める。																																																																														
プレゼンテーション	20%																																																																															
合計	100%																																																																															
【その他の注意事項】	連絡事項が多くなるので、コースパワーやクラスルームおよび大学メールを頻繁にチェックすること。																																																																															
	<table><tr><th>週</th><th>テーマ</th><th>学習内容</th><th></th><th></th></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>卒業論文および卒業レポート作成</td><td>論文およびレポートの書き方について講義。</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>参考文献に目を通しておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>参考文献を参照する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>同上</td><td>同上</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>同上</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>同上</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>同上</td><td>同上</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>同上</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>同上</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>同上</td><td>履修者が研究テーマを考える。</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>研究テーマに関連する情報収集。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>指摘されたことを踏まえて修正。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No5</td><td>同上</td><td>同上</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>同上</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										週	テーマ	学習内容			No1	卒業論文および卒業レポート作成	論文およびレポートの書き方について講義。			予習内容(時間)	参考文献に目を通しておく。	120	分	復習内容(時間)	参考文献を参照する。	120	分	No2	同上	同上			予習内容(時間)	同上	120	分	復習内容(時間)	同上	120	分	No3	同上	同上			予習内容(時間)	同上	120	分	復習内容(時間)	同上	120	分	No4	同上	履修者が研究テーマを考える。			予習内容(時間)	研究テーマに関連する情報収集。	120	分	復習内容(時間)	指摘されたことを踏まえて修正。	120	分	No5	同上	同上			予習内容(時間)	同上	120	分				
週	テーマ	学習内容																																																																														
No1	卒業論文および卒業レポート作成	論文およびレポートの書き方について講義。																																																																														
	予習内容(時間)	参考文献に目を通しておく。	120	分																																																																												
	復習内容(時間)	参考文献を参照する。	120	分																																																																												
No2	同上	同上																																																																														
	予習内容(時間)	同上	120	分																																																																												
	復習内容(時間)	同上	120	分																																																																												
No3	同上	同上																																																																														
	予習内容(時間)	同上	120	分																																																																												
	復習内容(時間)	同上	120	分																																																																												
No4	同上	履修者が研究テーマを考える。																																																																														
	予習内容(時間)	研究テーマに関連する情報収集。	120	分																																																																												
	復習内容(時間)	指摘されたことを踏まえて修正。	120	分																																																																												
No5	同上	同上																																																																														
	予習内容(時間)	同上	120	分																																																																												

【授業計画】

	復習内容(時間)	同上	120	分
No6	同上	同上		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No7	同上	研究テーマを報告。		
	予習内容(時間)	報告準備。	120	分
	復習内容(時間)	指摘されたことを踏まえて修正。	120	分
No8	同上	同上		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No9	同上	同上		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No10	同上	同上		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No11	個人の資産形成	資産形成をプランニング。		
	予習内容(時間)	興味のある投資対象を調べる。	120	分
	復習内容(時間)	ポートフォリオを考える。	120	分
No12	同上	同上		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No13	同上	同上		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No14	同上	運用状況の報告。		
	予習内容(時間)	報告準備。	120	分
	復習内容(時間)	指摘されたことを踏まえてポートフォリオの修正。	120	分
No15	就職活動	就職活動の状況を報告。		
	予習内容(時間)	報告準備。	120	分
	復習内容(時間)	進路先の業界および企業研究。	120	分
No16	同上	同上		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
No17	同上	同上		
	予習内容(時間)	同上	120	分
	復習内容(時間)	同上	120	分
	卒業論文および卒業レポート作成	進捗状況を報告。		

	No18	予習内容(時間)	報告準備。	120	分
		復習内容(時間)	指摘されたことを踏まえて修正。	120	分
	No19	同上	同上		
		予習内容(時間)	同上	120	分
		復習内容(時間)	同上	120	分
	No20	同上	同上		
		予習内容(時間)	同上	120	分
		復習内容(時間)	同上	120	分
	No21	個人の資産形成	運用状況の報告。		
		予習内容(時間)	報告準備。	120	分
		復習内容(時間)	指摘されたことを踏まえてポートフォリオを修正。	120	分
	No22	卒業論文および卒業レポート作成	研究報告。		
		予習内容(時間)	報告準備。	120	分
		復習内容(時間)	提出された質問票に回答する。	120	分
	No23	同上	同上		
		予習内容(時間)	同上	120	分
		復習内容(時間)	同上	120	分
	No24	同上	同上		
		予習内容(時間)	同上	120	分
		復習内容(時間)	同上	120	分
	No25	同上	同上		
		予習内容(時間)	同上	120	分
		復習内容(時間)	同上	120	分
	No26	同上	同上		
		予習内容(時間)	同上	120	分
		復習内容(時間)	同上	120	分
	No27	同上	同上		
		予習内容(時間)	同上	120	分
		復習内容(時間)	同上	120	分
	No28	卒業後の進路	進路を報告する。		
		予習内容(時間)	報告準備。	120	分
		復習内容(時間)	社会人に向けた目標設定。	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	4年
講義名	専門演習Ⅱ B-隅田
講義名(英字)	Specialized Seminar II
担当教員	隅田 浩司
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	この講義では、交渉学を取り扱います。交渉学の基本テキストを輪読しつつ、その内容及び参考文献そして、心理学、社会学など隣接領域の最新の研究成果を取り扱います。受講生は、指定教科書について、毎回、全員が読了した上で、講師及び受講生との間でのディスカッションを通じて、関連文献や最新の研究成果を踏まえた交渉学の最新の内容を習得します。
【到達目標】	1 交渉学の理論的基礎を習得することができる 2 交渉学の理論的基礎に基づいて、合理的・論理的な思考に基づく合意形成の方法論を習得することができる

	3 実際の交渉現場において、交渉学の知見に基づいた交渉を行うことができる							
【履修条件・受講推奨者】	履修許可者のみ							
【教育方法】	教科書だけでなく参照されている文献を熟読した上で、講義に望み、ディスカッションを行う。報告、発表も適宜行うことになる。また模擬交渉演習も行う。							
【指定教科書・参考資料等】	1教科書(購入すること) 田村次朗、隅田浩司『戦略的交渉入門』日経BPマーケティング(日本経済新聞出版 (2014/3/1))ISBN-13 : 978-4532112998 (946円 税込) 2 参考書 講義中に指示する							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法					
	指定されたテキスト及び関係資料を事前に読み、議論に積極的に参加しているかどうか	40%	講義中の受講態度を評価基準とする。講義における予習状況、ディスカッションへの参加姿勢、議論の内容そして、模擬交渉結果に関するレポートなどを評価項目比率に基づいて評価する。					
	講義でのディスカッションを踏まえて、その後の追加調査、分析を行った上で次回に望んでいるかどうか	30%						
	模擬交渉演習において、講義内容を踏まえた交渉プロセス管理ができているかどうか	30%						
	合計	100%						
【その他の注意事項】	予習とは、教科書を読むことにとどまらず、関係する文献を調査する他、文献の内容を要約、図式化するなどして、疑問点を抽出するところまで行うことを意味する。							
	週	テーマ	学習内容					
	No1	交渉学の概要	交渉学の問題意識、そのフレームワークについてディスカッションと解説講義を行う。					
		予習内容(時間)	教科書13頁から17頁	70	分			
		復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分			
	No2	交渉に関する3つの誤解	交渉に関する一般的な認識が、いかに、交渉の本質からかけ離れているのか、そしてその結果、ビジネスなどの交渉に深刻な悪影響を及ぼしていることを解説する。					
		予習内容(時間)	教科書18から26頁	70	分			
		復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分			
	No3	交渉を成功に導く3つの原則	統合型交渉と分配型交渉の相違点、高小学における原則とはなにか、について、ディスカッションを通じて学習する。					
		予習内容(時間)	教科書27から42頁	70	分			
		復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分			
	No4	二分法の罠	交渉における心理バイアスの一つである、二分法の罠、即答する思考について、社会心理学の知見を踏まえ、どのように考えるべきかについて、ディスカッションを通じて学習する。					
		予習内容(時間)	教科書43から44頁、49から54頁	70	分			
		復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分			
	No5	アンカリング効果	交渉におけるアンカリング効果(係留効果)について、社会心理学などの知見を踏まえ、最新の研究成果などについてディスカッションを通じて学習する。					
		予習内容(時間)	教科書45頁、53から57頁	70	分			
		復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分			

【授業計画】

No6	立証責任	立証責任という概念が、交渉学において何故重要となるのか、交渉学および法律（民事訴訟など）における議論を踏まえ、ディスカッションを通じて学習する。		
	予習内容(時間)	教科書46から48頁	70	分
	復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分
No7	交渉における論理的思考とは？	交渉学における論理的思考について、ヒューリスティックとバイアスに関する行動経済学の知見を踏まえ、ディスカッションを通じて学習する。		
	予習内容(時間)	教科書58から84頁	70	分
	復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分
No8	パワープレイ総論	交渉における立場の格差、交渉力の格差について、その厳選はどこにあるのか、またそれによって交渉にどのような影響が及ぶのかについて解説する。		
	予習内容(時間)	教科書85から89頁	70	分
	復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分
No9	交渉と対話	パワープレイに惑わされず、適切な関係構築のための対話への移行過程において何をすべきか、について交渉学の現在の研究成果を批判的に検討する。文化人類学、社会学的手法の重要性について、ディスカッションを通じて理解を深めることを目的とする。		
	予習内容(時間)	教科書90から99頁	70	分
	復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分
No10	アサーティブネス	交渉における適切な自己主張、そして交渉相手に対する適切な関係構築のための他者理解の手法について、ディスカッションを通じて学習する。		
	予習内容(時間)	教科書100から102頁	70	分
	復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分
No11	交渉における準備及び交渉戦略立案の基礎理論	交渉の準備の方法に関する交渉学の様々なアプローチについて検討し、ディスカッションを通じて最適な準備のための方法論について学習する。		
	予習内容(時間)	教科書103から109頁	70	分
	復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分
No12	ミッション	交渉におけるミッションについて多面的に学習する。ミッションについては、多くの交渉者がその設定を謝る最大の難関であることから、ディスカッションなどを通じて学習する。		
	予習内容(時間)	教科書115から120頁	70	分
	復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分
No13	ファイブステップからMAGICアプローチへ	教科書に紹介されている事前準備の方法論の進化系であるMAGICアプローチについて学習する。その中で、状況把握に関する適切な分析手法について、ディスカッションを通じて学習する。		
	予習内容(時間)	教科書106から114頁	70	分
	復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分
No14	価格及び条件設定に関する留意事項	交渉準備において価格、条件の上限、下限の設定は必要である。このような概念を整理するツールであるZOPAの概念について、その有用性を批判的に検討するため、ディスカッションを通じて学習する。		
	予習内容(時間)	教科書124から128頁	70	分
	復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分
No15	強み・リソースの活用	交渉において自らの強みを活かし、有利な条件を獲得することは極めて重要である、しかし、その重要性を認識せず、交渉するケースが多い、このセッションでは、準備段階での強みの洗い出し、リソースの再確認を行い、適切な交渉戦略立案のための手法をディスカッションを通じて学ぶ。		
	予習内容(時間)	教科書120から124頁	70	分
	復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分
No16	交渉のマネジメント	交渉のマネジメントについて、ディスカッションを通じてその基本構造を学ぶ。		
	予習内容(時間)	教科書139から142頁	70	分

	復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分
No17	協議事項	交渉において協議事項がいかに重要化は論をまたない。しかし協議事項の設定、その順序そして各協議事項の調整に関する方法論、研究は日本では十分進んでいるとはいえない、このセッションでは、協議事項のマネジメントについてディスカッションを通じて学習する。		
	予習内容(時間)	教科書142から150頁	70	分
	復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分
No18	立場から利害へ	交渉において、それぞれの立場による交渉では、膠着状態に陥ったときに打開することが難しい、立場から双方の利益にフォーカスすることによって交渉は、次の展開が可能となる、このセッションでは、立場から利害への転換の手法について、ディスカッションを通じて学ぶ。		
	予習内容(時間)	教科書151から153頁	70	分
	復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分
No19	交渉戦術1	交渉では、様々な駆け引き、心理戦術が行われる、このセッションでは、交渉の心理戦術を理解し、適切な対応策について、ディスカッションを通じて学習する。		
	予習内容(時間)	教科書154から161頁	70	分
	復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分
No20	交渉戦術2	交渉における心理戦術について、その適切な理解、対処法、そして戦術の適切な利用、活用方法についてディスカッションを通じて学習する。		
	予習内容(時間)	教科書161から170頁	70	分
	復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分
No21	約束のマネジメント	交渉における信頼関係の基礎は、約束にある、この約束の適切なマネジメントについて、ディスカッションを通じて学習する。		
	予習内容(時間)	教科書171から174頁	70	分
	復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分
No22	三方良し	相互利益の実現は交渉において不可欠な要素となる、ただし、単にWin-Winスタイルの交渉では、分配型の交渉となり、利益の最大化は困難である。このセッションでは、good for you great for meのマインドセットに基づく効果的な合計性手法についてディスカッションを通じて学ぶ。		
	予習内容(時間)	教科書175から177頁	70	分
	復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分
No23	創造的選択肢	交渉相手のプライオリティを探り、双方が満足できる合意形成を目指すためには、双方に利益をもたらす創造的な問題解決策を提案する必要がある、この創造的選択肢について、ディスカッションを通じて学習する。		
	予習内容(時間)	教科書177から184頁	70	分
	復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分
No24	合意形成のための説得技法	交渉を最終的に円満に合意に導くためには、説得は不可欠である。説得技法について、ディスカッションを通じて学習する。		
	予習内容(時間)	教科書187から218頁	70	分
	復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分
No25	コンフリクト・マネジメント	交渉における対立を避けるためにはコンフリクトの適切なマネジメントが不可欠である。このセッションでは、コンフリクト・マネジメントに関する一般的な基礎理論についてディスカッションを通じて学習する。		
	予習内容(時間)	教科書219から227頁	70	分
	復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分
No26	フレーミング効果	コンフリクト・マネジメントでは、当事者双方の問題の捉え方の際が大きな問題になる。このようなフレーミング効果の負の影響を除去するための手法についてディスカッションを通じて学習する。		
	予習内容(時間)	教科書228から233頁	70	分
	復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分
No27	感情	交渉における感情や情動の役割は非常に大きく、交渉を歪める効果もある他、効果的な合意形成へとプラスの方向に導く可能性もある。ここでは、感情のマネジメントについてディスカッションを通じて学習する。		

		予習内容(時間)	教科書229から231頁	70	分
		復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分
	No28	コンフリクト・マネジメントに基づく問題解決	コンフリクト・マネジメントに基づいた適切な合意形成の手法についてディスカッションを通じて学習する。		
		予習内容(時間)	教科書232から最終ページまで	70	分
		復習内容(時間)	講義でのディスカッションなどを踏まえた追加調査、学習	180	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	4年
講義名	専門演習Ⅱ B-土井
講義名(英字)	Specialized Seminar II
担当教員	土井 充
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	このゼミでは、株主など企業に利害関係を持っている外部の人たちに情報を提供するための会計、すなわち財務会計を中心テーマとします。企業は、この財務会計を一定のルールに従って行っています。ゼミでは、この会計ルール(複式簿記、会計基準など)や、ルールに従い作成された情報を読み解くための知識(経営分析など)を修得するとともに、こうした知識を用いて、現代経済社会において財務会計がどのようなはたらきを持っているのかを探究していきます。
	財務会計に関する専門知識を修得する。

【到達目標】	「専門演習Ⅰ」で修得したアカデミックリテラシーに加え、以下を修得する。 問題を発見し、解決法を模索し、グループを目標達成に導くことができる。 個別研究テーマに関する問題を自ら発見し、(a)適切な科学的手法を用いて、(b)レポートの形式要件を満たしつつ、(c)自ら発見した問題に対する答えを論証することができる。																																																																																																																																					
【履修条件・受講推奨者】	・常に積極的・継続的に参加する学生の履修を望みます。 ・「入門簿記Ⅰ」、「入門簿記Ⅱ」、「会計学Ⅰ」、「会計学Ⅱ」、「商業簿記Ⅰ」、「商業簿記Ⅱ」、「工業簿記Ⅰ」、「工業簿記Ⅱ」、「財務会計論Ⅰ」、「財務会計論Ⅱ」、「税務会計論Ⅰ」、「税務会計論Ⅱ」、「管理会計論Ⅰ」、「管理会計論Ⅱ」、「経営分析論」を履修している。																																																																																																																																					
【教育方法】	報告者が担当範囲についてレジュメを作成し、演習で発表します。この発表を基に、全員で討論を行い全体の理解を深めていきます。																																																																																																																																					
【指定教科書・参考資料等】	教科書：使用せず。 参考書：必要に応じて演習中に配付します。																																																																																																																																					
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td>○</td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td>○</td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>										自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○	協働力	○	主張力	○	創造力	○																																																																																																														
自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○																																																																																																																															
協働力	○	主張力	○	創造力	○																																																																																																																																	
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><th colspan="4">評価項目と割合</th><th colspan="2">評価方法</th></tr><tr><td colspan="4">簿記(2級程度)、会計理論(「財務会計Ⅰ」、「財務会計Ⅱ」、「管理会計Ⅰ」、「管理会計Ⅱ」、「税務会計Ⅰ」、「税務会計Ⅱ」、「経営分析」程度)、および個別研究テーマに関する知識を有している。</td><td>40%</td><td colspan="4" rowspan="4">発表や討論などへの参加度合や、演習への取り組み姿勢、レジュメやレポートなどの提出物から総合的に評価します。</td></tr><tr><td colspan="4">「専門演習Ⅰ」で取得したリテラシーをもちいて、(a)問題を発見し、解決法を模索し、グループを目標達成に導くことができる。</td><td>30%</td></tr><tr><td colspan="4">(a)問題を自ら発見し、(b)適切な科学的手法を用いて、(c)レポートの形式要件を満たしつつ、(d)「(a)」に対する答えを論証することができる。</td><td>30%</td></tr><tr><td colspan="4">合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合				評価方法		簿記(2級程度)、会計理論(「財務会計Ⅰ」、「財務会計Ⅱ」、「管理会計Ⅰ」、「管理会計Ⅱ」、「税務会計Ⅰ」、「税務会計Ⅱ」、「経営分析」程度)、および個別研究テーマに関する知識を有している。				40%	発表や討論などへの参加度合や、演習への取り組み姿勢、レジュメやレポートなどの提出物から総合的に評価します。				「専門演習Ⅰ」で取得したリテラシーをもちいて、(a)問題を発見し、解決法を模索し、グループを目標達成に導くことができる。				30%	(a)問題を自ら発見し、(b)適切な科学的手法を用いて、(c)レポートの形式要件を満たしつつ、(d)「(a)」に対する答えを論証することができる。				30%	合計				100%																																																																																														
評価項目と割合				評価方法																																																																																																																																		
簿記(2級程度)、会計理論(「財務会計Ⅰ」、「財務会計Ⅱ」、「管理会計Ⅰ」、「管理会計Ⅱ」、「税務会計Ⅰ」、「税務会計Ⅱ」、「経営分析」程度)、および個別研究テーマに関する知識を有している。				40%	発表や討論などへの参加度合や、演習への取り組み姿勢、レジュメやレポートなどの提出物から総合的に評価します。																																																																																																																																	
「専門演習Ⅰ」で取得したリテラシーをもちいて、(a)問題を発見し、解決法を模索し、グループを目標達成に導くことができる。				30%																																																																																																																																		
(a)問題を自ら発見し、(b)適切な科学的手法を用いて、(c)レポートの形式要件を満たしつつ、(d)「(a)」に対する答えを論証することができる。				30%																																																																																																																																		
合計				100%																																																																																																																																		
【その他の注意事項】	・本ゼミの準備(予習・事前学習)のため、サブゼミを開くことがあります。 ・ゼミ生全員で協議し、学外でのゼミ行事(ゼミ合宿など)を行うことがあります。																																																																																																																																					
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td colspan="8">学習内容</td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>会計理論の理解(1)</td><td colspan="8">春学期は、財務会計の理論に関することを全員で討議する形で進めていきます。具体的には、毎回、報告者が担当範囲についてレジュメを作成し、演習で発表します。この発表を基に、全員で討論を行い全体の理解を深めていきます。</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">シラバスの内容を確認する。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>会計理論の理解(2)</td><td colspan="8">「No1」と同じ</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>会計理論の理解(3)</td><td colspan="8">「No1」と同じ</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td colspan="6">ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>会計理論の理解(4)</td><td colspan="8">「No1」と同じ</td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td colspan="6">前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td></td><td colspan="8"></td><td></td><td></td></tr></table>										週	テーマ	学習内容								No1	会計理論の理解(1)	春学期は、財務会計の理論に関することを全員で討議する形で進めていきます。具体的には、毎回、報告者が担当範囲についてレジュメを作成し、演習で発表します。この発表を基に、全員で討論を行い全体の理解を深めていきます。								予習内容(時間)	シラバスの内容を確認する。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。						120	分	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。						120	分	No2	会計理論の理解(2)	「No1」と同じ								予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。						120	分	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。						120	分	No3	会計理論の理解(3)	「No1」と同じ								予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。						120	分	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。						120	分	No4	会計理論の理解(4)	「No1」と同じ								予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。						120	分											
週	テーマ	学習内容																																																																																																																																				
No1	会計理論の理解(1)	春学期は、財務会計の理論に関することを全員で討議する形で進めていきます。具体的には、毎回、報告者が担当範囲についてレジュメを作成し、演習で発表します。この発表を基に、全員で討論を行い全体の理解を深めていきます。																																																																																																																																				
	予習内容(時間)	シラバスの内容を確認する。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。						120	分																																																																																																																													
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。						120	分																																																																																																																													
No2	会計理論の理解(2)	「No1」と同じ																																																																																																																																				
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。						120	分																																																																																																																													
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。						120	分																																																																																																																													
No3	会計理論の理解(3)	「No1」と同じ																																																																																																																																				
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。						120	分																																																																																																																													
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。						120	分																																																																																																																													
No4	会計理論の理解(4)	「No1」と同じ																																																																																																																																				
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。						120	分																																																																																																																													

	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No5	会計理論の理解(5)	「No1」と同じ		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No6	会計理論の理解(6)	「No1」と同じ		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No7	会計理論の理解(7)	「No1」と同じ		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No8	会計理論の理解(8)	「No1」と同じ		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No9	会計理論の理解(9)	「No1」と同じ		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No10	会計理論の理解(10)	「No1」と同じ		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No11	会計理論の理解(11)	「No1」と同じ		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No12	会計理論の理解(12)	「No1」と同じ		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No13	会計理論の理解(13)	「No1」と同じ		
	予習内			

【授業計画】

	容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No14	春学期のまとめ	春学期の学修内容の整理と、秋学期に向けた論点の整理		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No15	個別テーマの理解(1)	秋学期は、演習で協議し決定したいいくつかのテーマについて、討論を行い演習の意見を形成し、報告を行います。春学期同様、演習では、レジュメを作成し全員で討論を行い、アドバイスや報告の問題点を指摘し、テーマの理解を深めていきます。		
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No16	個別テーマの理解(2)			
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No17	個別テーマの理解(3)			
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No18	個別テーマの理解(4)			
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No19	個別テーマの理解(5)			
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No20	個別テーマの理解(6)			
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
No21	個別テーマの理解(7)			
	予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分

	No22	個別テーマの理解(8)			
		予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No23	個別テーマの理解(9)			
		予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No24	個別テーマの理解(10)			
		予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No25	個別テーマの理解(11)			
		予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No26	個別テーマの理解(12)			
		予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No27	個別テーマの理解(13)			
		予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。次回ゼミの冒頭で前回の振り返りを行うので、その際に質問を受け付け、疑問点に答える。	120	分
	No28	ゼミのまとめ	ゼミ活動の復習と総括		
		予習内容(時間)	前回のゼミで決定した課題等に取り組む。その際生じた疑問点等は、ゼミ中に回答する。	120	分
		復習内容(時間)	ゼミの復習をし、課題に取り組む。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	4年
講義名	専門演習Ⅱ B-花尾
講義名(英字)	Specialized Seminar II
担当教員	花尾 由香里
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	消費者行動のさまざまな理論について学び、消費者の心理や行動について分析・考察を行ったうえで、効果的な企業のマーケティング戦略についての立案を行う。春学期は、輪読形式で文献レビューを行っていくとともに、班別での研究活動を進める。秋学期は、実際の消費者行動を分析するとともに、企業側の視点に立ち、マーケティング戦略を立案することを中心的課題とする
【到達目標】	消費者行動やマーケティングを正確に理解し、自分の意見を発表することができる グループディスカッションに積極的に参加し、ユニークなアイデアを創造できる

	研究発表のためのリサーチや資料作成、議論等に積極的に参加し貢献できる							
【履修条件・受講推奨者】	ゼミ選考で許可されたもののみ、受講可							
【教育方法】	対面講義形式 個人発表、グループディスカッション等を行う							
【指定教科書・参考資料等】	教科書は使用しない 必要に応じて資料を配布する							
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法			
	消費者行動やマーケティングを正確に理解し、自分の意見を発表することができる	30%	学期末試験は行わない 授業時の発言・発表内容やディスカッション等への貢献を総合的に判断する					
	グループディスカッションに積極的に参加し、ユニークなアイデアを創造できる	30%						
	研究発表のためのリサーチや資料作成、議論等に積極的に参加し貢献できる	40%						
	合計	100%						
【その他の注意事項】								
	週	テーマ	学習内容					
	No1	イントロダクション	授業の進め方や内容について					
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと				120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること				120	分
	No2	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する					
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと				120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること				120	分
	No3	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する					
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと				120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること				120	分
	No4	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する					
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと				120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること				120	分
	No5	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する					
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと				120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること				120	分
	No6	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する					
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと				120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること				120	分

【授業計画】	No7	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	60	分
	No8	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
	No9	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
	No10	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
	No11	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
	No12	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
	No13	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
	No14	最新のビジネスの話題に基づくディスカッションと戦略立案	個別課題とグループディスカッションを行い、各自の意見を発表する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
	No15	研究テーマの選定と発表準備	グループ研究のテーマのアイデアを出し、選定する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
	No16	研究テーマの選定と発表準備	グループ研究のテーマのアイデアを出し、選定する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
	No17	研究テーマの選定と発表準備	グループ研究のテーマのアイデアを出し、選定する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
	No18	研究テーマの選定と発表準備	グループ研究のテーマのアイデアを出し、選定する		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
	No19	資料作成と発表準備	グループ研究発表のための情報収集、資料作成、練習等を行う		
		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分

		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
		資料作成と発表準備	グループ研究発表のための情報収集、資料作成、練習等を行う		
No20		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
		資料作成と発表準備	グループ研究発表のための情報収集、資料作成、練習等を行う		
No21		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
		資料作成と発表準備	グループ研究発表のための情報収集、資料作成、練習等を行う		
No22		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
		資料作成と発表準備	グループ研究発表のための情報収集、資料作成、練習等を行う		
No23		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
		資料作成と発表準備	グループ研究発表のための情報収集、資料作成、練習等を行う		
No24		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
		資料作成と発表準備	グループ研究発表のための情報収集、資料作成、練習等を行う		
No25		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
		資料作成と発表準備	グループ研究発表のための情報収集、資料作成、練習等を行う		
No26		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
		研究発表と意見交換	研究の成果を発表し、意見や改善点などを話し合う		
No27		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分
		研究発表と意見交換	研究の成果を発表し、意見や改善点などを話し合う		
No28		予習内容(時間)	事前に資料をよく読み、ある程度の理解をしておくこと	120	分
		復習内容(時間)	授業内容を振り返り、自分の考えや発表結果を整理すること	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	4年
講義名	専門演習Ⅱ B-広瀬
講義名(英字)	Specialized Seminar II
担当教員	広瀬 盛一
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	オンラインやデジタルに関するマーケティングやマーケティング・コミュニケーション活動を研究テーマとして取り上げる。研究論文をはじめとする研究資料の輪読、図書館やデータベースの活用といった資料探索、データの分析についての基本的な能力の習得、研究内容のまとめや発表の方法などを、グループワークを通じて学習する。
【到達目標】	研究資料を読んで内容を理解できるようになる 研究に必要な資料を探して分析できるようになる

	周囲と協力しながら研究を進められるようになる							
【履修条件・受講推奨者】	広告やマーケティングの関連領域に興味があり、他人との共同作業ができ、コンピュータのリテラシーがあることが望ましい。							
【教育方法】	資料の探し方や読み方、内容についての議論、研究テーマを分析する能力を、論文の輪読、量的調査の実施などを通じて学ぶ。原則としてグループワークによって作業を進める。							
【指定教科書・参考資料等】								
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力	○
	協働力	○	主張力	○	創造力	○		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法					
	研究資料の内容理解	35%	出席を前提として研究発表や共同作業の様子から判断する。					
	研究手法の理解	30%						
	研究における共同作業	35%						
	合計	100%						
【その他の注意事項】								
	週	テーマ	学習内容					
	No1	ガイダンス	授業の進め方について確認する					
		予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分			
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分			
	No2	アイスブレイク(1)	ゼミのメンバーの相互理解を深める					
		予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分			
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分			
	No3	アイスブレイク(2)	ゼミのメンバーの相互理解を深める					
		予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分			
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分			
	No4	研究テーマの検討(1)	資料を探索やディスカッションを通じて研究テーマの検討をする。					
		予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分			
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分			
	No5	研究テーマの検討(2)	資料を探索やディスカッションを通じて研究テーマの検討をする。					
		予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分			
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分			
	No6	研究テーマの検討(3)	資料を探索やディスカッションを通じて研究テーマの検討をする。					
		予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分			
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分			
	No7	事例研究(1)	関連するテーマの事例について学ぶ。					
		予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分			
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分			

【授業計画】

No8	研究計画作成(1)	決定した研究テーマに沿って研究計画を立案する。		
	予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
No9	研究計画作成(2)	決定した研究テーマに沿って研究計画を立案する。		
	予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
No10	研究計画作成(3)	決定した研究テーマに沿って研究計画を立案する。		
	予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
No11	研究計画発表(1)	研究計画について発表する		
	予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
No12	研究計画発表(2)	研究計画について発表する		
	予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
No13	研究計画発表(3)	研究計画について発表する		
	予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
No14	前期まとめ	前期について振り返る		
	予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
No15	研究計画実施(1)	立案した研究計画を実施する。		
	予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
No16	研究計画実施(2)	立案した研究計画を実施する。		
	予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
No17	研究計画実施(3)	立案した研究計画を実施する。		
	予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
No18	研究計画実施(4)	立案した研究計画を実施する。		
	予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
No19	研究計画実施(5)	立案した研究計画を実施する。		
	予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分
	復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	研究計画実施(6)	立案した研究計画を実施する。		

	No20	予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No21	研究計画実施(7)	立案した研究計画を実施する。		
		予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No22	研究計画実施(8)	立案した研究計画を実施する。		
		予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No23	研究計画実施(9)	立案した研究計画を実施する。		
		予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No24	研究計画実施(10)	立案した研究計画を実施する。		
		予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No25	研究成果発表(1)	実施した研究成果を発表する。		
		予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No26	研究成果発表(2)	実施した研究成果を発表する。		
		予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No27	研究成果発表(3)	実施した研究成果を発表する。		
		予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分
	No28	まとめ	活動全体を振り返る。		
		予習内容(時間)	シラバスを読んでおく	120	分
		復習内容(時間)	授業の振り返りをする	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	4年
講義名	専門演習Ⅱ B-深澤
講義名(英字)	Specialized Seminar II
担当教員	深澤 琢也
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	専門演習Ⅰで培った能力をベースに、卒業論文(個人執筆)を完成させるスキルの養成を行う。
【到達目標】	研究方法論の習得 ICTスキルの習得

	論文執筆のルールを理解										
【履修条件・受講推奨者】	本セミナーは、履修生の自発的な学習が重要になります。毎週履修者が分担して、課題報告をすることが求められますので、出席はもちろんのこと、そうした課題をこなす自信とやる気がある履修者でなければ単位修得は困難かと思われます。ただし、やる気のある学生、将来海外で働いてみたい、国内で就職しても海外に携わる仕事をしてみたいという学生はこのセミナーで得るものは大きいでしょう。通常の授業とは異なりますので、自ら学習の意思がある学生のための履修を求めます。										
【教育方法】	履修者による卒論に対する研究指導										
【指定教科書・参考資料等】	なし										
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○			
	協働力	○	主張力	○	創造力	○					
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法							
	研究方法論の習得		50%	毎回の課題報告への取り組み状況で評価する。							
	ICTスキルの習得		25%								
	論文執筆のルールを理解		25%								
	合計		100%								
【その他の注意事項】	履修条件・受講推奨者に記載されたことに同意した学生のみ履修を許可する。										
	週	テーマ			学習内容						
	No1	卒論テーマの選定と資料収集(春学期通して)			卒論テーマを決定し、関連する資料の収集をしながら、研究方法論を学ぶ						
		予習内容(時間)			次回ゼミの準備				120	分	
		復習内容(時間)			ゼミで指摘されたポイントの整理				120	分	
	No2	卒論テーマの選定と資料収集(春学期通して)			卒論テーマを決定し、関連する資料の収集をしながら、研究方法論を学ぶ						
		予習内容(時間)			次回ゼミの準備				120	分	
		復習内容(時間)			ゼミで指摘されたポイントの整理				120	分	
	No3	卒論テーマの選定と資料収集(春学期通して)			卒論テーマを決定し、関連する資料の収集をしながら、研究方法論を学ぶ						
		予習内容(時間)			次回ゼミの準備				120	分	
		復習内容(時間)			ゼミで指摘されたポイントの整理				120	分	
	No4	卒論テーマの選定と資料収集(春学期通して)			卒論テーマを決定し、関連する資料の収集をしながら、研究方法論を学ぶ						
		予習内容(時間)			次回ゼミの準備				120	分	
		復習内容(時間)			ゼミで指摘されたポイントの整理				120	分	
	No5	卒論テーマの選定と資料収集(春学期通して)			卒論テーマを決定し、関連する資料の収集をしながら、研究方法論を学ぶ						
		予習内容(時間)			次回ゼミの準備				120	分	
		復習内容(時間)			ゼミで指摘されたポイントの整理				120	分	
	No6	卒論テーマの選定と資料収集(春学期通して)			卒論テーマを決定し、関連する資料の収集をしながら、研究方法論を学ぶ						
		予習内容(時間)			次回ゼミの準備				120	分	
		復習内容(時間)			ゼミで指摘されたポイントの整理				120	分	
	No7	卒論テーマの選定と資料収集(春学期通して)			卒論テーマを決定し、関連する資料の収集をしながら、研究方法論を学ぶ						
		予習内容(時間)			次回ゼミの準備				120	分	

【授業計画】

		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No8	卒論テーマの選定と資料収集(春学期通して)	卒論テーマを決定し、関連する資料の収集をしながら、研究方法論を学ぶ		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No9	卒論テーマの選定と資料収集(春学期通して)	卒論テーマを決定し、関連する資料の収集をしながら、研究方法論を学ぶ		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No10	卒論テーマの選定と資料収集(春学期通して)	卒論テーマを決定し、関連する資料の収集をしながら、研究方法論を学ぶ		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No11	卒論テーマの選定と資料収集(春学期通して)	卒論テーマを決定し、関連する資料の収集をしながら、研究方法論を学ぶ		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No12	卒論テーマの選定と資料収集(春学期通して)	卒論テーマを決定し、関連する資料の収集をしながら、研究方法論を学ぶ		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No13	卒論テーマの選定と資料収集(春学期通して)	卒論テーマを決定し、関連する資料の収集をしながら、研究方法論を学ぶ		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No14	卒論テーマの選定と資料収集(春学期通して)	卒論テーマを決定し、関連する資料の収集をしながら、研究方法論を学ぶ		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No15	卒論の完成に向けた研究指導(秋学期通して)	章構成の検討、執筆ルールの習得、論文の完成		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No16	卒論の完成に向けた研究指導(秋学期通して)	章構成の検討、執筆ルールの習得、論文の完成		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No17	卒論の完成に向けた研究指導(秋学期通して)	章構成の検討、執筆ルールの習得、論文の完成		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No18	卒論の完成に向けた研究指導(秋学期通して)	章構成の検討、執筆ルールの習得、論文の完成		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No19	卒論の完成に向けた研究指導(秋学期通して)	章構成の検討、執筆ルールの習得、論文の完成		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
		卒論の完成に向けた研究指導(秋学期通して)	章構成の検討、執筆ルールの習得、論文の完成		

	No20	予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No21	卒論の完成に向けた研究指導(秋学期通して)	章構成の検討、執筆ルールの習得、論文の完成		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No22	卒論の完成に向けた研究指導(秋学期通して)	章構成の検討、執筆ルールの習得、論文の完成		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No23	卒論の完成に向けた研究指導(秋学期通して)	章構成の検討、執筆ルールの習得、論文の完成		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No24	卒論の完成に向けた研究指導(秋学期通して)	章構成の検討、執筆ルールの習得、論文の完成		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No25	卒論の完成に向けた研究指導(秋学期通して)	章構成の検討、執筆ルールの習得、論文の完成		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No26	卒論の完成に向けた研究指導(秋学期通して)	章構成の検討、執筆ルールの習得、論文の完成		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No27	卒論の完成に向けた研究指導(秋学期通して)	章構成の検討、執筆ルールの習得、論文の完成		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分
	No28	卒論の完成に向けた研究指導(秋学期通して)	章構成の検討、執筆ルールの習得、論文の完成		
		予習内容(時間)	次回ゼミの準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミで指摘されたポイントの整理	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	4年
講義名	専門演習Ⅱ B-藤森
講義名(英字)	Specialized Seminar II
担当教員	藤森 大祐
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	主に以下のテーマについて研究し、ディスカッション、プレゼンテーション、レポート作成を行う。①企業による環境問題の解決、環境ビジネス ②企業のSDGsへの取り組み ③ビジネスによる地域活性化。場合によっては、外部に演習に出かけることもある。
【到達目標】	環境問題やSDGsに関する基礎的な知識の理解 ソーシャルビジネスに関する理解

	ディスカッションとプレゼンテーション能力の向上										
【履修条件・受講推奨者】	あらゆる活動に積極的に取り組むとともに、メンバーシップを大切にできる人に履修してもらいたい。										
【教育方法】	プレゼンテーション、ディスカッション、地域活性化の活動										
【指定教科書・参考資料等】	特になし。必要に応じて適宜紹介する。										
【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力	○	忍耐力	○			
	協働力	○	主張力	○	創造力	○					
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法						
	環境問題やSDGsやソーシャルビジネスに関する基礎的な知識を理解している		30%	問題設定、調査、ディスカッション、プレゼンテーション、および各種ゼミ活動への主体的な取り組みなどから総合的に評価する。							
	ディスカッションとプレゼンテーション能力の向上		30%								
	地域活性化の活動に積極的かつ創造的に取り組んでいる		40%								
	合計		100%								
【その他の注意事項】	特になし。										
	週	テーマ		学習内容							
	No1	ガイダンス		今後の進め方、評価方法の周知。メンバーとのコミュニケーション。希望や意見の聴取。							
		予習内容(時間)		講義資料を事前にチェックし、わからない点を調べておく。						120	分
		復習内容(時間)		講義を振り返り、課題に取り組む。						120	分
	No2	研究テーマの検討		ディスカッションを通じて研究テーマを検討する。							
		予習内容(時間)		研究テーマの検討						120	分
		復習内容(時間)		研究テーマの検討						120	分
	No3	研究テーマの決定		ディスカッションを通じて研究テーマを決定する。							
		予習内容(時間)		研究テーマの検討						120	分
		復習内容(時間)		決定したテーマについて調査を進める。						120	分
	No4	調査・ディスカッション		決定したテーマについて、グループに分かれて調査し、ディスカッションを繰り返す							
		予習内容(時間)		研究テーマについて調査を進める						120	分
		復習内容(時間)		研究テーマについて調査を進める						120	分
	No5	調査・ディスカッション		決定したテーマについて、グループに分かれて調査し、ディスカッションを繰り返す							
		予習内容(時間)		研究テーマについて調査を進める						120	分
		復習内容(時間)		研究テーマについて調査を進める						120	分
	No6	調査・ディスカッション		決定したテーマについて、グループに分かれて調査し、ディスカッションを繰り返す							
		予習内容(時間)		研究テーマについて調査を進める						120	分
		復習内容(時間)		研究テーマについて調査を進める						120	分
	No7	調査・ディスカッション		決定したテーマについて、グループに分かれて調査し、ディスカッションを繰り返す							
		予習内容(時間)		研究テーマについて調査を進める						120	分

【授業計画】

	復習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
No8	中間報告	これまでの調査内容をグループごとに中間発表し、互いにアドバイスをする。		
	予習内容(時間)	中間報告の準備	120	分
	復習内容(時間)	中間報告を受けて、さらに調査を進める	120	分
No9	調査・ディスカッション	決定したテーマについて、グループに分かれて調査し、ディスカッションを繰り返す		
	予習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
	復習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
	調査・ディスカッション	決定したテーマについて、グループに分かれて調査し、ディスカッションを繰り返す		
No10	予習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
	復習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
	調査・ディスカッション	決定したテーマについて、グループに分かれて調査し、ディスカッションを繰り返す		
	予習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
No11	復習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
	調査・ディスカッション	決定したテーマについて、グループに分かれて調査し、ディスカッションを繰り返す		
	予習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
	復習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
No12	調査・ディスカッション	決定したテーマについて、グループに分かれて調査し、ディスカッションを繰り返す		
	予習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
	復習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
	調査・ディスカッション	決定したテーマについて、グループに分かれて調査し、ディスカッションを繰り返す		
No13	予習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
	復習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
	調査・ディスカッション	決定したテーマについて、グループに分かれて調査し、ディスカッションを繰り返す		
	予習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
No14	復習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
	半期の総括	これまでの内容を振り返り、秋学期に向けての課題を検討する。		
	予習内容(時間)	研究テーマについて調査を進める	120	分
	復習内容(時間)	秋学期に向けての課題をまとめておく	120	分
No15	ゼミ発表大会に向けて計画を組む	春学期までの研究をゼミ発表大会用にまとめる計画を組んで、準備を始める		
	予習内容(時間)	春学期の内容を確認し、秋学期の活動の確認をしておく	120	分
	復習内容(時間)	発表のための準備を進める	120	分
	ゼミ発表大会の準備	ゼミ発表大会に向けて各グループで準備を進める		
No16	予習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
	復習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
	ゼミ発表大会の準備	ゼミ発表大会に向けて各グループで準備を進める		
	予習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
No17	復習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
	ゼミ発表大会の準備	ゼミ発表大会に向けて各グループで準備を進める		
	予習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
	復習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
No18	ゼミ発表大会の準備	ゼミ発表大会に向けて各グループで準備を進める		
	予習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
	復習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
	ゼミ発表大会の準備	ゼミ発表大会に向けて各グループで準備を進める		
No19	予習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
	復習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
	ゼミ発表大会の準備	ゼミ発表大会に向けて各グループで準備を進める		
	予習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分

	No20	予習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
	No21	ゼミ発表大会の準備	ゼミ発表大会に向けて各グループで準備を進める		
		予習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
	No22	ゼミ発表大会の準備	ゼミ発表大会に向けて各グループで準備を進める		
		予習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
	No23	ゼミ発表大会の準備	ゼミ発表大会に向けて各グループで準備を進める		
		予習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
	No24	ゼミ発表大会の準備	ゼミ発表大会に向けて各グループで準備を進める		
		予習内容(時間)	ゼミ発表大会の準備	120	分
		復習内容(時間)	ゼミ発表大会の振り返り	120	分
	No25	研究テーマのまとめ	研究テーマのまとめを各グループで行う。		
		予習内容(時間)	研究テーマのまとめ。	120	分
		復習内容(時間)	研究テーマのまとめ。	120	分
	No26	研究テーマのまとめ	研究テーマのまとめを各グループで行う。		
		予習内容(時間)	研究テーマのまとめ。	120	分
		復習内容(時間)	研究テーマのまとめ。	120	分
	No27	研究テーマのまとめ	研究テーマのまとめを各グループで行う。		
		予習内容(時間)	研究テーマのまとめ。	120	分
		復習内容(時間)	研究テーマのまとめ。	120	分
	No28	これまでの調査・研究・活動の総括	1年間の活動を振り返り、各自でレポートをまとめる。		
		予習内容(時間)	1年間の活動を振り返り、各自でレポートをまとめる作業。	120	分
		復習内容(時間)	最終的なレポートの提出。	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	4年
講義名	専門演習Ⅱ B-光澤
講義名(英字)	Specialized Seminar II
担当教員	光澤 美芽
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	このゼミでは、財務会計をテーマに、特に現代会計の理論について研究を行う。春学期では、IFRS(国際財務報告基準)を題材にいくつかトピックを取り上げ、原文での輪読およびディスカッションを行う。秋学期では、個人研究テーマを決定し、テーマに関連する会計や経営・経済ニュースの調査などの個人研究活動とその報告を行う。また、これに並行して卒業論文の作成と報告および指導を行っていく。
	【財務会計に関する専門的な知識の修得】 ゼミで取り上げるテーマについて専門用語および基礎概念を理解している。

【到達目標】	【資料の収集・整理・分析能力およびプレゼンテーション能力の向上】 ①図書館やインターネットを利用して必要な資料を収集し、それを整理・分析することが出来る。 ②自らが調査・分析した結果を、分かりやすくまとめて他者に伝えることが出来る。 【論理的思考力の向上】 ①グループ研究活動および個人研究活動において、テーマの設定から結論に至るまでの論理展開が適切になされている。 ②文献引用が適切になされている。 ③自分の意見と異なる見解に対する反証やその論拠など論理的な思考の構築が出来ている。																																																															
【履修条件・受講推奨者】	演習に積極的に参加する学生の履修を望む。 「入門簿記Ⅰ・Ⅱ」および「会計学Ⅰ・Ⅱ」(「会计学概論」)を履修済みであること。 また、「商業簿記Ⅰ・Ⅱ」、「工業簿記Ⅰ・Ⅱ」、「財務会計Ⅰ・Ⅱ」、「管理会計Ⅰ・Ⅱ」、「財務諸表論」等、関連する専門科目を履修済みもしくは今後履修することが望ましい。																																																															
【教育方法】	＜春(前)期＞ 指定された専門書の輪読・ディスカッション。 ＜秋(後)期＞ 各自テーマごとに調査・研究とその成果報告。																																																															
【指定教科書・参考資料等】	開講時に指示する。																																																															
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力	○	主張力	○	創造力	○																																											
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																																																										
協働力	○	主張力	○	創造力	○																																																											
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	<table><tr><th colspan="2">評価項目と割合</th><th colspan="5">評価方法</th></tr><tr><td>財務会計に関する専門的な知識の修得</td><td>20%</td><td colspan="5" rowspan="4">ゼミ活動への積極的な参加(出席状況および発表・ディスカッションにおける態度)および研究成果により評価。</td></tr><tr><td>資料の収集・整理・分析能力およびプレゼンテーション能力の向上</td><td>30%</td></tr><tr><td>論理的思考力の向上</td><td>50%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合		評価方法					財務会計に関する専門的な知識の修得	20%	ゼミ活動への積極的な参加(出席状況および発表・ディスカッションにおける態度)および研究成果により評価。					資料の収集・整理・分析能力およびプレゼンテーション能力の向上	30%	論理的思考力の向上	50%	合計	100%																																					
評価項目と割合		評価方法																																																														
財務会計に関する専門的な知識の修得	20%	ゼミ活動への積極的な参加(出席状況および発表・ディスカッションにおける態度)および研究成果により評価。																																																														
資料の収集・整理・分析能力およびプレゼンテーション能力の向上	30%																																																															
論理的思考力の向上	50%																																																															
合計	100%																																																															
【その他の注意事項】	無断での欠席・遅刻は厳禁。大人の自覚をもってゼミに臨むこと。 発言・質問等、積極的・自発的に参加すること。 私語や他者への迷惑となる行為は厳禁。特に携帯電話(スマートフォン)の使用・メール等SNSの閲覧は授業の妨害とみなし、退席してもらう。																																																															
	<table><tr><td>週</td><td>テーマ</td><td>学習内容</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">No1</td><td>ガイダンス</td><td>報告担当者の割り振り、スケジュールの確認など。</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>特になし。</td><td>0</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>①指定された書籍を入手し、全体に目を通してうえて自分の担当個所を確認する。 ②次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。</td><td>240</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No2</td><td>輪読①</td><td>担当者による報告と全員でのディスカッション。</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No3</td><td>輪読②</td><td>担当者による報告と全員でのディスカッション。</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td rowspan="3">No4</td><td>輪読③</td><td>担当者による報告と全員でのディスカッション。</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予習内容(時間)</td><td>次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。</td><td>120</td><td>分</td></tr><tr><td>復習内容(時間)</td><td>報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。</td><td>120</td><td>分</td></tr></table>							週	テーマ	学習内容			No1	ガイダンス	報告担当者の割り振り、スケジュールの確認など。			予習内容(時間)	特になし。	0	分	復習内容(時間)	①指定された書籍を入手し、全体に目を通してうえて自分の担当個所を確認する。 ②次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	240	分	No2	輪読①	担当者による報告と全員でのディスカッション。			予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	120	分	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分	No3	輪読②	担当者による報告と全員でのディスカッション。			予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	120	分	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分	No4	輪読③	担当者による報告と全員でのディスカッション。			予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	120	分	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
週	テーマ	学習内容																																																														
No1	ガイダンス	報告担当者の割り振り、スケジュールの確認など。																																																														
	予習内容(時間)	特になし。	0	分																																																												
	復習内容(時間)	①指定された書籍を入手し、全体に目を通してうえて自分の担当個所を確認する。 ②次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	240	分																																																												
No2	輪読①	担当者による報告と全員でのディスカッション。																																																														
	予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	120	分																																																												
	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分																																																												
No3	輪読②	担当者による報告と全員でのディスカッション。																																																														
	予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	120	分																																																												
	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分																																																												
No4	輪読③	担当者による報告と全員でのディスカッション。																																																														
	予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	120	分																																																												
	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分																																																												

	間)			
No5	輪読④	担当者による報告と全員でのディスカッション。		
	予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	120	分
	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
No6	輪読⑤	担当者による報告と全員でのディスカッション。		
	予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	120	分
	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
No7	輪読⑥	担当者による報告と全員でのディスカッション。		
	予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	120	分
	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
No8	輪読⑦	担当者による報告と全員でのディスカッション。		
	予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	120	分
	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
No9	輪読⑧	担当者による報告と全員でのディスカッション。		
	予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	120	分
	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
No10	輪読⑨	担当者による報告と全員でのディスカッション。		
	予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	120	分
	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
No11	輪読⑩	担当者による報告と全員でのディスカッション。		
	予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	120	分
	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
No12	輪読⑪	担当者による報告と全員でのディスカッション。		
	予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	120	分
	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
No13	輪読⑫	担当者による報告と全員でのディスカッション。		
	予習内容(時間)	次回の範囲について、報告担当者は報告の準備をする。それ以外の者は不明な点など質問事項をまとめてディスカッションの準備をする。	120	分
	復習内容(時間)	報告レジュメやディスカッションの内容を参考に、理解を深めておく。	120	分
No14	まとめ	春(前)期のまとめと卒業論文研究テーマ報告。		
	予習内容(時間)	卒業論文の研究テーマを考えておく。	60	分
	復習内容(時間)	決定したテーマの資料収集を行う。夏季休暇を利用して、必要な下準備をしておく。	180	分

【授業計画】

	間)			
No15	卒論中間報告①	卒業論文の進捗状況報告(収集資料の分析、調査結果の報告、章立ての検討など)。		
	予習内容(時間)	夏季休暇中の調査結果をまとめておく。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミ内での検討を踏まえ、各自研究を進める。	120	分
No16	活動報告①	各自の卒論に関連深い会計トピックや、企業の業績に関するニュースなどを調査し、報告する。(毎回2～3名が報告担当する。)		
	予習内容(時間)	報告者は報告資料の準備をする。その他のものは自身の研究活動を行う。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミ内での検討を踏まえ、各自研究を進める。	120	分
No17	活動報告②	各自の卒論に関連深い会計トピックや、企業の業績に関するニュースなどを調査し、報告する。		
	予習内容(時間)	報告者は報告資料の準備をする。その他のものは自身の研究活動を行う。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミ内での検討を踏まえ、各自研究を進める。	120	分
No18	活動報告③	各自の卒論に関連深い会計トピックや、企業の業績に関するニュースなどを調査し、報告する。		
	予習内容(時間)	報告者は報告資料の準備をする。その他のものは自身の研究活動を行う。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミ内での検討を踏まえ、各自研究を進める。	120	分
No19	卒論中間報告②	卒業論文の進捗状況報告。		
	予習内容(時間)	各自報告資料の準備をする。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミ内での検討を踏まえ、各自研究を進める。	120	分
No20	活動報告④	各自の卒論に関連深い会計トピックや、企業の業績に関するニュースなどを調査し、報告する。		
	予習内容(時間)	報告者は報告資料の準備をする。その他のものは自身の研究活動を行う。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミ内での検討を踏まえ、各自研究を進める。	120	分
No21	活動報告⑤	各自の卒論に関連深い会計トピックや、企業の業績に関するニュースなどを調査し、報告する。		
	予習内容(時間)	報告者は報告資料の準備をする。その他のものは自身の研究活動を行う。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミ内での検討を踏まえ、各自研究を進める。	120	分
No22	活動報告⑥	各自の卒論に関連深い会計トピックや、企業の業績に関するニュースなどを調査し、報告する。		
	予習内容(時間)	報告者は報告資料の準備をする。その他のものは自身の研究活動を行う。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミ内での検討を踏まえ、各自研究を進める。	120	分
No23	卒論中間報告③	卒業論文の進捗状況報告。		
	予習内容(時間)	各自報告資料の準備をする。	120	分
	復習内容(時間)	ゼミ内での検討を踏まえ、各自研究を進める。	120	分
	活動報告⑦	各自の卒論に関連深い会計トピックや、企業の業績に関するニュースなどを調査し、報告する。		
	予習内容(時			

	No24	間)	報告者は報告資料の準備をする。その他のものは自身の研究活動を行う。	120	分
		復習内容(時間)	ゼミ内での検討を踏まえ、各自研究を進める。	120	分
	No25	活動報告⑧	各自の卒論に関連深い会計トピックや、企業の業績に関するニュースなどを調査し、報告する。		
		予習内容(時間)	報告者は報告資料の準備をする。その他のものは自身の研究活動を行う。	120	分
		復習内容(時間)	ゼミ内での検討を踏まえ、各自研究を進める。	120	分
	No26	活動報告⑨	各自の卒論に関連深い会計トピックや、企業の業績に関するニュースなどを調査し、報告する。		
		予習内容(時間)	報告者は報告資料の準備をする。その他のものは自身の研究活動を行う。	120	分
		復習内容(時間)	ゼミ内での検討を踏まえ、各自研究を進める。	120	分
	No27	卒論最終報告	卒業論文の最終報告。		
		予習内容(時間)	卒業論文の完成版を準備する。	120	分
		復習内容(時間)	ゼミ内での検討を踏まえ、修正点を反映させ卒論を完成させる。	120	分
	No28	まとめ	振り返り。ゼミの感想など。		
		予習内容(時間)	最後に挨拶をしてもらうので一言考えておく。	120	分
		復習内容(時間)	卒論の修正版の完成。	120	分

[前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	演習科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 イベントプロデュース学科(2016) 経営学部 経営心理学科(2016) 経営学部 経営学科(2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 イベントプロデュース学科(2015) 経営学部 経営心理学科(2015) 経営学部 経営学科(2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科(2014) 経営学部 経営学科(2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013) 経営学部 イベントプロデュース学科 経営学部 経営心理学科 経営学部 経営学科
配当学年(履修対象)	4年
講義名	専門演習Ⅱ B-山川
講義名(英字)	Specialized Seminar II
担当教員	山川 悟
必修/選択	選択必修
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	研究テーマ:文化創造マーケティングとデザイン思考 情報収集、分析、創出、表現、伝達の技術を磨き、プランニング(商品・広告・販促企画、新事業創出)のスキル獲得を目指します。また秋には、独自の研究設計～実践を行います。企業との連携授業や企業訪問、学外視察、卒業生との交流、外部講師の招聘なども随時行いたいと思います。 過去の研究テーマ: 「知られざるオタクの聖地とその活性化に向けての研究」「地域のキャラクターと物語の創造」「監視カメラの用途開発」「消費者がECOを実感できるプロダクト提案」「こども環境絵画を活用した環境啓発ゲームの開発」、「ボードゲームが育む社会的スキルに関する調査研究」等。
----------------------------	--

	①他者の声に耳を傾け、組織内での協調や調整を図ることができる																						
【到達目標】	②能動的に意見を発信し、建設的な議論を進めることができる																						
	③実務的な課題に対し、創造的な解決策を示すことができる																						
【履修条件・受講推奨者】	企画・創造的な仕事に携わりたい人。世の中を楽しくするアイデアを生み出したい人。																						
【教育方法】	・学生同士のディスカッションを中心としたアクティブラーニングを基本とします。 ・ブレンストーミングやプレゼンテーション、質疑応答を重視しながら進めます。																						
【指定教科書・参考資料等】	教科書は使用せず、講義資料はその都度配布、または各自ダウンロードして受講する。																						
【実務IQ修得目標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力	○	主張力	○	創造力	○		
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																	
協働力	○	主張力	○	創造力	○																		
【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合			評価方法																			
	他者の声に耳を傾け、協調や調整を図ることができる	30	およそ70%以上の出席を条件に、グループ討議(観察・ピア評価)、口頭試問等で評価																				
	能動的に意見を発信し、建設的な議論を進めることができる	30																					
	実務的な課題に対し、創造的な解決策を示すことができる	40																					
	合計	100%																					
【その他の注意事項】	ゼミは学生主体で運営するものであるため、能動的な姿勢で受講してください。																						
	週	テーマ	学習内容																				
	No1	オリエンテーション																					
		予習内容(時間)	シラバスを熟読し、エントリーシートを記入する			150	分																
		復習内容(時間)	講義で触れた創造技法について、試してみる			120	分																
	No2	相互理解プログラム																					
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる			120	分																
		復習内容(時間)	講義で実施したコミュニケーション技法について、試してみる			120	分																
	No3	ビジネスリテラシートレーニング①																					
		予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる			120	分																
		復習内容(時間)	講義で実施したフレームワークについて、試してみる			120	分																
	No4	ビジネスリテラシートレーニング②																					
		予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる			120	分																
		復習内容(時間)	講義で実施したフレームワークについて、試してみる			120	分																
	No5	ビジネスリテラシートレーニング③																					
		予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる			120	分																
		復習内容(時間)	講義で実施したフレームワークについて、試してみる			120	分																
	No6	ビジネスリテラシートレーニング④																					
予習内容(時間)		課題に取り組み、発表資料を作成してくる			120	分																	

【授業計画】

	復習内容(時間)	講義で実施したフレームワークについて、試してみる	120	分
No7	創造的思考法トレーニング①			
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた創造技法について、試してみる	120	分
No8	創造的思考法トレーニング②			
	予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた創造技法について、試してみる	120	分
No9	創造的思考法トレーニング③			
	予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた創造技法について、試してみる	120	分
No10	創造的思考法トレーニング④			
	予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた創造技法について、試してみる	120	分
No11	消費者理解トレーニング①			
	予習内容(時間)	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた消費者理解の技法について、試してみる	120	分
No12	消費者理解トレーニング②			
	予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた消費者理解の技法について、試してみる	120	分
No13	消費者理解トレーニング③			
	予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
	復習内容(時間)	講義で触れた消費者理解の技法について、試してみる	120	分
No14	消費者理解トレーニング④			
	予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
	復習内容(時間)	学期全体の講義資料に目を通し、総括を行う	180	分
No15	秋期オリエンテーション			
	予習内容(時間)	シラバスを熟読し、エントリーシートを記入する	150	分
	復習内容(時間)	講義で触れた創造技法について、試してみる	120	分
No16	秋学期研究活動の準備と議論			
	予習内容(時間)	研究テーマに関連する資料を収集してくる	120	分
	復習内容(時間)	過去の本ゼミでの研究事例について見直してみる	120	分
No17	研究方向の確認と役割分担			
	予習内容(時間)	研究テーマについての原案を作成してくる	150	分
	復習内容(時間)	他のメンバーの提案について、検討してみる	120	分
No18	個人研究と発表①			
	予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
	復習内容(時間)	他のメンバーの提案について、検討してみる	120	分
	個人研究と発表②			

	No19	予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
		復習内容(時間)	他のメンバーの提案について、検討してみる	120	分
	No20	グループワーク①			
		予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
	No21	復習内容(時間)	他のメンバーの提案について、検討してみる	120	分
		グループワーク②			
	No22	予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
		復習内容(時間)	他のメンバーの提案について、検討してみる	120	分
	No23	グループワーク③			
		予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
	No24	復習内容(時間)	他のメンバーの提案について、検討してみる	120	分
		グループワーク④			
	No25	予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
		復習内容(時間)	他のメンバーの提案について、検討してみる	120	分
	No26	グループ研究発表①			
		予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
	No27	復習内容(時間)	他のメンバーの提案について、検討してみる	120	分
		グループ研究発表②			
	No28	予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
		復習内容(時間)	他のメンバーの提案について、検討してみる	120	分
	No29	グループ研究発表③			
		予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
	No30	復習内容(時間)	他のメンバーの提案について、検討してみる	120	分
		グループ研究発表④			
	No31	予習内容(時間)	課題に取り組み、発表資料を作成してくる	120	分
		復習内容(時間)	他のメンバーの提案について、検討してみる	120	分
	No32	流通視察・ショールーム見学			
		予習内容(時間)	訪問先に対する事前調査をしてくる	120	分
	No33	復習内容(時間)	秋学期全体の講義資料に目を通し、総括を行う	180	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	入門科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	経営学 BE-A
講義名(英字)	Business Management
担当教員	円城寺 敬浩
必修/選択	必須
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	経営学には管理論、組織論、戦略論、企業論、会計学や産業心理学などの様々な領域があります。そのなかでも、管理論、組織論、戦略論、そして企業論は経営学の中核的な領域になります。したがって、これらの領域の基礎を学ぶことによって、経営学の基礎固めをすることができると同時に、経営学とはどのような学問なのか、あるいは経営学を学ぶ意義とは何か、を理解できるようになるでしょう。 経営学は他の学問(例えば哲学など)と比べてまだ歴史は浅いですが、人類のさまざまな課題を克服するうえで重要な役割を果たしていく可能性を大いに秘めている学問です。換言すれば、経営学を学ぶことによって、皆さんが将来活躍する場は無限に広がることでしょう。 本講義は入門科目ですので、経営学をより本格的に学ぶには、上記に挙げた領域の専門科目をさらに履修する必要があります。本講義の使命は、2年次以降の専門科目を学ぶための橋渡しの役割を果たすことにあります。
【到達目標】	経営学の基礎知識と理論を理解する 経営学の応用可能性を理解する 経営学とはどのような学問か理解する
【履修条件・受 講推奨者】	講義中の私語や特別な指示がない限りスマホ等の使用は禁止です。その他、担当教員の指示に従わない者は受講停止にする可能性がありますので、講義の展開の妨げになる行為をしないように注意してください。
【教育方法】	原則、パワーポイントを活用した講義を行います。また、主として、知識等の修得を促進する目的で小テストを適宜実施します。
【指定教科書・ 参考資料等】	参考書: 藤田誠著『経営学入門』中央経済社, 2015年. 塩次喜代明・小林敏男・高橋伸夫(編著)『経営管理』有斐閣アルマ, 2009.

【実務IQ修得目標】	自制力	○	思考力	○	突破力		忍耐力	○
	協働力		主張力	○	創造力	○		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法					
	中間試験	20%	本講義は通年科目ですので、最終評価は春学期の最後に実施する中間試験および秋学期の最後に実施する本試験、そして春学期及び秋学期の通年で適宜実施する小テスト等の総合評価で行います。					
	本試験	50%						
	小テスト等	30%						
	合計	100%						

【その他の注意事項】	各講義の予習・復習の内容および時間は本講義を学ぶ上での一つの参考です。講義で学んだことを確実に修得できるように各自の学習能力を踏まえて工夫をしながら学習してください。。
------------	--

週	テーマ	学習内容						
No1	イントロダクション	ガイダンスとして、通年で展開される本講義について、本講義の目標、扱う内容や講義方法、そして評価方法などを説明します。						
	予習内容(時間)	本講義のシラバスを事前に読む。					120	分
	復習内容(時間)	ガイダンスの内容を再確認する。					120	分
No2	経営学とは何か	経営学とはどのような学問なのか、他の学問との関係性も踏まえ、その概要を理解してもらいます。						
	予習内容(時間)	「学際的」とはどのような意味かを事前に調べる。					120	分
	復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。					120	分
No3	経営管理とは何か	経営管理の定義をはじめ、経営管理とは何かを学びます。						
	予習内容(時間)	経営管理がなぜ必要なのかを事前に考える。					120	分
	復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。					120	分
No4	科学的管理法とは何か	科学的管理法の誕生の背景を踏まえ、科学的管理法の体系を学びます。						
	予習内容(時間)	科学的管理法が誕生した当時のアメリカ社会について調べてくる。					120	分
	復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。					120	分
No5	フォードシステムとは何か	フォードシステムとは何か、テイラーシステムとの異同を踏まえ学びます。						
	予習内容(時間)	科学的管理法の特徴とは何かについて再確認(講義ノートを参考にして)する。					120	分
	復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。					120	分
No6	人間関係論とは何か	人間関係論とは何か、その誕生の背景を踏まえて、人間関係論から生み出された経営施策について学びます。						
	予習内容(時間)	人間観としての「機械人モデル」と「社会人モデル」の違いについて調べる。					120	分
	復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。					120	分
No7	バーナードの管理論とは何か	バーナードの管理論とは何か、経営者または管理者の役割について学びます。						
	予習内容(時間)	協働システムとは何か、事前に調べる。					120	分
	復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。					120	分

【授業計画】

No8	ファヨールの管理論とは何か	ファヨールの管理論とは何か、管理プロセスや管理技法について学びます。		
	予習内容(時間)	ファヨールの管理原則について調べる。	120	分
	復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。	120	分
No9	企業とは何か	社会には様々な事業組織が存在しています。企業もその中の一つです。今回は企業概念や企業の分類について学びます。		
	予習内容(時間)	組織とは何か、組織の概念について事前に調べる。	120	分
	復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。	120	分
No10	私企業とは何か	私企業とは何か、その基本的性格等を公企業と比較しながら学びます。		
	予習内容(時間)	私企業と公企業の概念上の決定的違いは何かを調べる。	120	分
	復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。	120	分
No11	株式会社とは何か	株式会社とは何か、その制度の基本について学びます。		
	予習内容(時間)	大企業の多くが株式会社という企業形態である理由を調べる。	120	分
	復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。	120	分
No12	企業統治とは何か	株式会社制度の基本的知識を踏まえ、企業統治とは何か、何が問題とされているのか等を学びます。		
	予習内容(時間)	企業統治が問われる理由を調べる。	120	分
	復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。	120	分
No13	CSRとは何か	CSRとは何か、何が問題とされているのか等を学びます。		
	予習内容(時間)	CSRが問われる理由を考える。	120	分
	復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。	120	分
No14	春学期総括	春学期に扱った内容の補足等をしたうえで、春学期の総括を行います。		
	予習内容(時間)	これまでの講義ノートの内容を再確認する。	120	分
	復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。	120	分
No15	経営戦略とは何か	経営戦略とは何か、経営学史を踏まえ、その基本を学びます。		
	予習内容(時間)	経営戦略がなぜ必要なのかを考える。	120	分
	復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。	120	分
No16	企業戦略とは何か①	企業戦略とは何か、企業戦略で何を考える必要があるかを学びます。		
	予習内容(時間)	経営理念とは何かを調べる。	120	分
	復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。	120	分
No17	企業戦略とは何か②	前回に続き、企業戦略で何を考える必要があるかを学びます。		
	予習内容(時間)	事業領域とは何か調べる。	120	分
	復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。	120	分
No18	事業戦略とは何か①	競争優位を獲得するためのコンセプトを学びます。		
	予習内容(時間)	関心のある業界において、その業界のトップ企業がどのように戦っているかを調べる。	120	分
	復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。	120	分

		事業戦略とは何か②	競争優位を持続させるためのコンセプトを学びます、		
	No19	予習内容(時間)	競合他社に模倣されにくい経営資源とはどのようなものかを考える。	120	分
		復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。	120	分
	No20	リーダーシップとは何か	リーダーシップとは何か、リーダーシップ研究の概要を学びます。		
		予習内容(時間)	リーダーに求められる資質とはどのようなものかを考える。	120	分
		復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。	120	分
	No21	リーダーシップの形態論とは何か	理想的なリーダーシップの形態(スタイル)とはどのようなものかを学びます。		
		予習内容(時間)	望ましくなくリーダーシップの形態とはどのようなものかを考える。	120	分
		復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。	120	分
	No22	リーダーシップの状況論とは何か	どの状況下ではどのようなリーダーシップが有効になりうるのかを学びます。		
		予習内容(時間)	形態論での理想的なリーダーシップが必ずしも有効にならない理由を考える。	120	分
		復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。	120	分
	No23	その他のリーダーシップ論	これまでのリーダーシップ論を踏まえ、その他のリーダーシップの考え方を学びます。		
		予習内容(時間)	情動的知性とはどのようなものかを調べる。	120	分
		復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。		分
	No24	動機付け理論①	モチベーションを高めるための基本的な考え方を学びます。		
		予習内容(時間)	マズローの欲求五段階説とは何かについて調べる。	120	分
		復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。	120	分
	No25	動機付け理論②	動機付け要因とは何か、動機付け要因を充足させる管理手法を学びます。		
		予習内容(時間)	職務拡大とは何かを調べる。	120	分
		復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。	120	分
	No26	企業文化とは何か①	企業文化とは何かについて、なぜ重要なのか、どのように捉えるかなど、企業文化の基本を学びます。		
		予習内容(時間)	良い企業文化が持続的競争優位を生み出す理由を考える。	120	分
		復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。	120	分
	No27	企業文化とは何か②	企業文化のマネジメントを学ぶ。		
		予習内容(時間)	シンボリック・マネジャーとは何か調べる。	120	分
		復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。	120	分
	No28	秋学期総括	秋学期に扱った内容の補足等をしうえて、通年科目としての本講義の総括を行います。		
		予習内容(時間)	秋学期の講義ノートの内容を再確認する。	120	分
		復習内容(時間)	本日の講義内容が理解できたかを講義ノートを中心に確認し、関心を持った部分について更に自分で調べる。	120	分

[前画面へ戻る](#)

分野系列	入門科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	経営学 BE-B
講義名(英字)	Business Management
担当教員	小川 達也
必修/選択	必須
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	企業経営に関する基礎的理論と実践的知識を修得してもらうと同時に、現代企業が直面している諸課題についての洞察力を養います。 授業では、国内外の時事問題や事例研究を通して企業経営の実態を把握し、有用かつ広範な経営理論をわかりやすく解説します。 第1回目の授業は、ガイダンスを行います。この科目の学び方や評価方法、注意事項など重要な内容を説明しますので、必ず出席してください。 刻一刻と変化する企業・産業界の動向に関心を持ち、日頃から経済新聞や経済雑誌をよく読み、時事問題やトレンドの把握に努めましょう。
【到達目標】	用語の定義や概念を把握し、他の用語と混同しないように説明できること 経営学の基礎的理論の定義や概念、課題・問題点などを把握し、正しく説明できること 企業経営の実践的知識の概念や背景、課題・問題点などを把握し、正しく説明できること
【履修条件・受 講推奨者】	この授業は、これから学ぶ経営学関連の科目を理解するのに必要な基礎的知識を養う目的があります。 多少難しいと感じても、常に向上心を抱いて授業に臨んでください。
【教育方法】	授業は、パワーポイントを中心にプリントを併用しながら丁寧に進めます。 また、受講生一人ひとりの疑問や質問に向き合い、創造的でインタラクティブな授業を目指します。
【指定教科書・ 参考資料等】	教科書: 使用せず 参考書: 片岡信之、齊藤毅憲、佐々木恒男、高橋由明、渡辺峻(著)『はじめて学ぶ人のための経営学入門[バージョン2]』文真堂ブックス、2018年

【実務IQ修得目標】	自制力		思考力		○	突破力		忍耐力	
	協働力		主張力		○	創造力		○	

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合				評価方法			
	受講態度及び授業毎の課題コメントの提出			40%	成績は、受講態度及び課題コメント40%、本試験60%を目安に決定します。			
	専門用語を正しく理解し、事例を用いて説明できること			20%				
	経営学の理論と知識を広く理解し、応用して説明できること			40%				
	合計			100%				

【その他の注意事項】	授業中にスマートフォンやタブレットなどの電子デバイス類を授業目的外で使用することは、禁止します。指示に従わない場合には、減点の上、欠席扱いとします。					
------------	--	--	--	--	--	--

週	テーマ	学習内容				
No1	【重要】ガイダンス	授業の概要と評価方法、学び方について				
	予習内容(時間)	時事問題やトレンドの把握(経済新聞・経済雑誌)			120	分
	復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握(辞典・辞書)			120	分
No2	経営学への招待①	経営学はおもしろい！				
	予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握			120	分
	復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握			120	分
No3	経営学への招待②	経営学で何を学ぶのか				
	予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握			120	分
	復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握			120	分
No4	経営学への招待③	経営学のルーツを探る				
	予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握			120	分
	復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握			120	分
No5	経営学への招待④	経営学の父を知る				
	予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握			120	分
	復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握			120	分
No6	企業・会社の概念①	企業・会社とは何か				
	予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握			120	分
	復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握			120	分
No7	企業・会社の概念②	会社法と会社形態				
	予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握			120	分
	復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握			120	分
No8	企業・会社の概念③	株式会社の特徴と役割				
	予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握			120	分
	復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握			120	分
No9	株式会社の類型①	監査役設置会社				
	予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握			120	分

【授業計画】

	復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
No10	株式会社の類型②	指名委員会等設置会社		
	予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
	復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
No11	株式会社の類型③	監査等委員会設置会社		
	予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
	復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
No12	経営管理の体系①	全体管理と個別管理		
	予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
	復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
No13	経営管理の体系②	マネジャーの職位		
	予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
	復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
No14	経営管理の体系③	経営者と階層型組織		
	予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
	復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
No15	日本型経営①	日本人の価値観と企業経営		
	予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
	復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
No16	日本型経営②	日本的雇用慣行の合理性		
	予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
	復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
No17	企業の役割①	企業の存在意義と役割		
	予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
	復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
No18	企業の役割②	企業活動のマイナスの側面		
	予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
	復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握		分
No19	企業の社会的責任①	社会的責任の本質		
	予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
	復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
No20	企業の社会的責任②	その内容と優先順位		
	予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
	復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
No21	企業の社会的責任③	フィランソロピーとメセナ		
	予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
	復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
	企業の社会的責任④	企業の反倫理的行動		

	No22	予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
	No23	企業の社会的責任⑤	コンプライアンス経営		
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
	No24	企業価値創造①	ステークホルダーと企業		
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
	No25	企業価値創造②	2つの企業価値創造経営		
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
	No26	企業価値創造③	米国型経営の教訓		
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
	No27	企業価値創造④	企業価値創造経営の枠組み		
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分
	No28	企業価値創造⑤	企業価値創造経営の実践		
		予習内容(時間)	プリントの専門用語・外来語の把握及び時事問題やトレンドの把握	120	分
		復習内容(時間)	授業で取り上げた理論や専門用語・外来語の把握	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	入門科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	経営学 BE-D
講義名(英字)	Business Management
担当教員	高田 真也
必修/選択	必須
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	本講義を通じて、経営学の理論の基礎を学び、現実の事例に適用できるようになるとともに、日本企業の課題について問題意識を持てるようになることを目的とする。講義では多くの事例を紹介し、理論を自分のものとしてできるように工夫する。また、経営学の対象範囲は広く、学習内容が多岐にわたるために、学習を通じて基礎を理解するとともに、単元ごとのつながりを意識し、経営学の全体像をつかめるような配慮を心掛ける。							
【到達目標】	経営学の理論を学び、講義で解説した理論を現実に応用できるようになるか。 企業を取り巻く制度を理解し、日本企業が抱える課題について問題意識を持てるようになるか。							
【履修条件・受講推奨者】	特に前提知識は問わない。							
【教育方法】	Powerpoint資料を用いて講義を行う。							
【指定教科書・参考資料等】	教科書：加護野・吉村、「1からの経営学」(第三版)、中央経済社 参考文献：適時指示する。							
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力	
	協働力		主張力	○	創造力	○		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	期末試験	60%	期末試験、レポート、平常点で評価する。		
	レポート	20%			
	平常点	20%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	講義回数の3分の1以上の欠席をした場合は、単位を認めない。また授業目的以外でのスマートフォン、タブレットなどの電子機器の使用を禁止する。				
	週	テーマ	学習内容		
	No1	ガイダンス	講義の流れと履修上の注意について講義する。		
		予習内容(時間)	質疑に応えられるように、企業情報や新聞記事を読むようにする。	120	分
		復習内容(時間)	該当範囲(2章)の教科書を読む。	120	分
	No2	企業経営の全体像	顧客の創造や、企業とインプット市場など基本について理解する。		
		予習内容(時間)	該当範囲(第一章)の教科書を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No3	株式会社の歴史と仕組み	株式会社の歴史と仕組みについて理解する。		
		予習内容(時間)	該当範囲(第三章p44～p51)の教科書を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No4	株式会社と機関	株主総会や、取締役会など会社の機関について理解する。		
		予習内容(時間)	該当範囲(第三章p52～p59)の教科書を読む	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No5	企業と金融資本市場の関わり	企業と金融資本市場との関わりについて理解する。		
		予習内容(時間)	該当範囲(第四章p.62～p73)の教科書を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No6	企業と金融資本市場の関わり2	クラウドファンディングや、社会インパクト投資など特にベンチャー企業の資金調達について学習する。		
		予習内容(時間)	配布する練習問題を解く。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No7	企業と労働市場の関わり	採用、配置・転換、仕事の評価など企業と労働市場の関わりについて学習する。		
		予習内容(時間)	該当範囲(第四章p74～p.81)の教科書を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No8	全社戦略と事業戦略	全社戦略と事業戦略について理解する。		
		予習内容(時間)	該当範囲(第五章)の教科書を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No9	競争戦略とマネジメント	競争戦略とマネジメントについて基本を理解する。		
		予習内容(時間)	該当範囲(第六章)の教科書を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No10	競争戦略の3つの基本戦略	競争戦略の3つの基本戦略について理解する。		
		予習内容(時間)	該当範囲(第七章)の教科書を読む。	120	分

【授業計画】

	復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
No11	演習:企業とドメイン	富士フィルムの戦略とドメインについて演習を通じて学習する。		
	予習内容(時間)	配布する練習問題を解く。	120	分
	復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
No12	多角化戦略	多角化の定義と目的について理解する。		
	予習内容(時間)	該当範囲(第八章p136～p143)の教科書を読む。	120	分
	復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
No13	M&Aと戦略的提携	M&Aと戦略的提携について理解する。		
	予習内容(時間)	該当範囲(第八章p144～p151)の教科書を読む。	120	分
	復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
No14	国際化の進展	国際化やグローバル化の進展について理解する。		
	予習内容(時間)	該当範囲(第九章)の教科書を読む。	120	分
	復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
No15	国際化のマネジメント	子会社管理など国際化のマネジメントについて理解する。		
	予習内容(時間)	配布する練習問題を解く。	120	分
	復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
No16	組織構造の基本	事業部制や職能別組織など組織構造の基本について理解する。		
	予習内容(時間)	該当範囲(第十章p182～p186)の教科書を読む。	120	分
	復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
No17	イノベーションを生み出す組織づくり	イノベーションを生み出す組織づくりについて考える。		
	予習内容(時間)	該当範囲(第十章p176～p181、p187～p191)の教科書を読む。	120	分
	復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
No18	インセンティブの設計	インセンティブの組み合わせや分配について理解する。		
	予習内容(時間)	該当範囲(第十一章p194～p203)の教科書を読む。	120	分
	復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
No19	リーダーシップ	リーダーシップのスタイルや、源泉について学習する。		
	予習内容(時間)	該当範囲(第十一章p204～p209)の教科書を読む。	120	分
	復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
No20	キャリアとキャリアデザイン	キャリアデザインの基礎を学習する。		
	予習内容(時間)	該当範囲(第十二章p212～p220)の教科書を読む。	120	分
	復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
No21	キャリアデザイン	キャリアデザインにおける選択と、そこで考慮される要素について学習する。		
	予習内容(時間)	該当範囲(第十二章p221～p231)の教科書を読む。	120	分
	復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
No22	ファミリービジネス	ファミリービジネスの経営の特徴と、強みについて学習する。		
	予習内容(時間)	該当範囲(第十三章)の教科書を読む。	120	分
	復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	リスクマネジメント	企業のリスクマネジメントについて学習する。		

	No23	予習内容(時間)	配布された練習問題を解く。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No24	病院経営	病院の組織管理について学習する。		
		予習内容(時間)	該当範囲(第十四章)の教科書を読む	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No25	企業と社会的責任	企業の社会的責任が主張されるようになった背景や、その内容について理解する。		
		予習内容(時間)	指定された参考文献を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No26	企業の社会貢献活動	企業の社会貢献活動と戦略的社会貢献活動、CSVについて理解する。		
		予習内容(時間)	指定された参考文献を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No27	企業とステークホルダー	企業環境とステークホルダー・アプローチについて理解する。		
		予習内容(時間)	指定された参考文献を読む。	120	分
		復習内容(時間)	スライドを見返して、復習する。	120	分
	No28	全体の振り返りとさらなる勉強を進めるためのガイダンス	講義全体を振り返り、まとめを行うとともにさらなる学習を進めていくためのガイダンスを行う。		
		予習内容(時間)	配布された練習問題を解く。	120	分
		復習内容(時間)	講義全体を振り返り、わからない部分の教科書などを読み返す	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	入門科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 イベント(2023) 経営学部 経営学科(2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 イベント(2022) 経営学部 経営学科(2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 イベント(2021) 経営学部 経営学科(2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 イベント(2020) 経営学部 経営学科(2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 イベント(2019) 経営学部 経営学科(2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 イベント(2018) 経営学部 経営学科(2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 イベント(2017) 経営学部 経営学科(2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	経営学 BE-E
講義名(英字)	Business Management
担当教員	藤森 大祐
必修/選択	必須
開講期	通年
単位数	4

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	初めて学ぶ者にとって、「経営学」というものは何かとつきにくい難しいもののように感じるかもしれません。学問である以上、そこで展開される学術的な議論は難解なものがあることも当然です。しかし、経営学は私たちにとって大変身近なことを学ぶものであり、また実際に役に立つものです。さらに、経営学は経営者のための学問であるだけでなく、広く「働く人」のための学問です。この講義では、経営学というものをなるべくわかりやすく学んでいくとともに、経営学に興味を持つきっかけとなることを第一の目標にしています。履修する皆さんにとって、この講義が経営学より専門的な分野の扉を開ききっかけとなれば嬉しく思います。						
【到達目標】	会社制度の仕組みを理解し、その問題点や課題を考える基礎を養う。 経営戦略やマーケティングの代表的な理論を理解し、現実の企業活動を説明する力を養う。 組織や管理の代表的な理論を理解し、専門科目を学ぶための基礎力を身につける。						
【履修条件・受 講推奨者】	経営や経営学に関心を持ち、学ぶ意欲を持っている者に受講していただきたい。						
【教育方法】	講義形式。毎回の講義で課題を出します。						
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。講義の中で必要に応じて推薦します。						
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力	○	主張力	○	創造力		

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

評価項目と割合		評価方法
会社制度の仕組みを理解し、その問題点や課題を指摘できる。	20%	学期末の筆記試験50%。各期のレポート30%。平常点20%。平常点は毎回の講義の課題や質問、および受講態度で評価する。
経営戦略やマーケティングの代表的な理論を理解し、現実の企業活動を説明することができる。	40%	
組織や管理の代表的な理論を理解し、経営学の専門科目を学ぶための基礎ができている。	40%	
合計	100%	

【その他の注意事項】

特になし。

週	テーマ	学習内容		
No1	ガイダンス	講義の進め方、評価方法、毎回の課題の提出方法などについて周知する。経営学の基本的な考え方について解説する。		
	予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分
No2	企業の仕組みについて理解する①	株式会社を含む会社というものについて大枠で理解する。前回の課題のフィードバックを行う。		
	予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分
No3	企業の仕組みについて理解する②	株式会社の特徴について理解する。前回の課題のフィードバックを行う。		
	予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分
No4	企業の仕組みについて理解する③	企業の社会的責任について、コーポレートガバナンスについて解説する。		
	予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分
No5	企業の仕組みについて理解する④	ステークホルダーマネジメントについて解説する。		
	予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分
No6	経営戦略について理解する①	経営戦略の定義について解説する。		
	予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分
No7	経営戦略について理解する②	経営戦略と経営理念の関係について解説する。		
	予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分
No8	経営戦略について理解する③	経営戦略の策定プロセスについて解説する。		
	予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分

【授業計画】

	復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分
No9	経営戦略について理解する④	アンソフの戦略理論について解説する。		
	予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分
No10	経営戦略について理解する⑤	PPM、経験曲線、プロダクトライフサイクルについて解説する。		
	予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分
No11	経営戦略について理解する⑥	ポーターの競争戦略について解説する。		
	予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分
No12	経営戦略について理解する⑦	ブルーオーシャン戦略について解説する。		
	予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分
No13	イノベーションについて理解する①	シュンペーターのイノベーション論について解説する。		
	予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分
No14	イノベーションについて理解する②	ドラッカーのイノベーション論について解説する。		
	予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。学期末試験の準備をする。	120	分
No15	伝統的な管理の学説を理解する①	テイラーの科学的管理法について解説する。		
	予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分
No16	伝統的な管理の学説を理解する②	フォードの経営について解説する。		
	予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分
No17	伝統的な管理の学説を理解する③	人間関係論について解説する。		
	予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分
No18	伝統的な管理の学説を理解する④	伝統的な組織原則について解説する。		
	予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
	復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分

	No19	代表的なモチベーション論を理解する①	マズローの欲求階層説について解説する。		
		予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分
	No20	代表的なモチベーション論を理解する②	マグレガーの理論について解説する。		
		予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分
	No21	代表的なモチベーション論を理解する③	アージリス の理論について解説する。		
		予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分
	No22	代表的なモチベーション論を理解する④	ハーズバーグの理論について解説する。		
		予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分
	No23	代表的なモチベーション論を理解する⑤	モチベーションの過程理論について解説する。		
		予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分
	No24	代表的なリーダーシップ論を理解する。①	リーダーシップの特性理論について解説する。		
		予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分
	No25	代表的なモチベーション論を理解する②	リーダーシップの行動理論について解説する。		
		予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分
	No26	代表的なモチベーション論を理解する③	リーダーシップの条件適合理論について理解する。		
		予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分
	No27	マーケティングの基礎を理解する。①	マーケティング戦略の概要を解説する。		
		予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。	120	分
	No28	マーケティングの基礎を理解する。②	マーケティングの4Pについて解説する。		
		予習内容(時間)	事前に講義資料をチェックし、わからないところを調べておく。	120	分
		復習内容(時間)	講義内容を振り返り課題を行う。わからなかったところ、疑問に思うことなども課題として提出する。学期末試験の準備をする。	120	分

